

与論町

こども未来推進ニーズ調査

結果報告書

【目次】

I 調査の概要

1 調査の目的	p.2
2 調査地域	p.2
3 調査対象者	p.2
4 調査期間	p.2
5 調査方法	p.2
6 回収状況	p.2
7 本書を読むにあたっての注意点	p.2

II 集計結果

1 居住している地域	p.3
2 子どもと家族の状況	p.3
3 子どもの育ちをめぐる環境	p.8
4 保護者の就労状況	p.11
5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	p.19
6 地域の子育て支援事業の利用状況	p.23
7 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望	p.28
8 子どもが病気の際の対応	p.31
9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	p.39
10 小学校就労後の放課後の過ごし方	p.49
11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	p.56
12 子育て環境の満足度について	p.66

III 自由記述

I 調査の概要

1 調査の目的

子ども・子育て支援法（平成24年8月22日法律第65号）第61条第5項の規定に基づく、「第3期与論町子ども・子育て支援事業計画」を策定するために、その基礎資料として、子育て世帯の生活実態や支援サービスの利用状況といった実態を把握することを目的とする。

2 調査地域

与論町全域

3 調査対象者

就学前児童および小学生の子どもをもつ保護者329名

4 調査期間

令和6年8月から9月

5 調査方法

- ・郵送および電子方式による配布・回収
- ・認定こども園を通じた配布・回収

6 回答状況

- 配布件数…329件
- 有効回答数…152件

7 本書を読むにあたっての注意事項

- 回答結果の割合「%」は、有効回答数に対し、それぞれの割合を小数点以下第2位で四捨五入したものである。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の場合、設問の有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を示す。
- 本文中の選択肢について、長文の場合はレイアウトの都合上、簡略化したり省略して記載したりする場合がある。このことは、本書内の分析文およびグラフにおいても同様とする。
- 各設問における見出しの表示方法は以下の通りである。

問 **
単数回答

→全員に対する設問

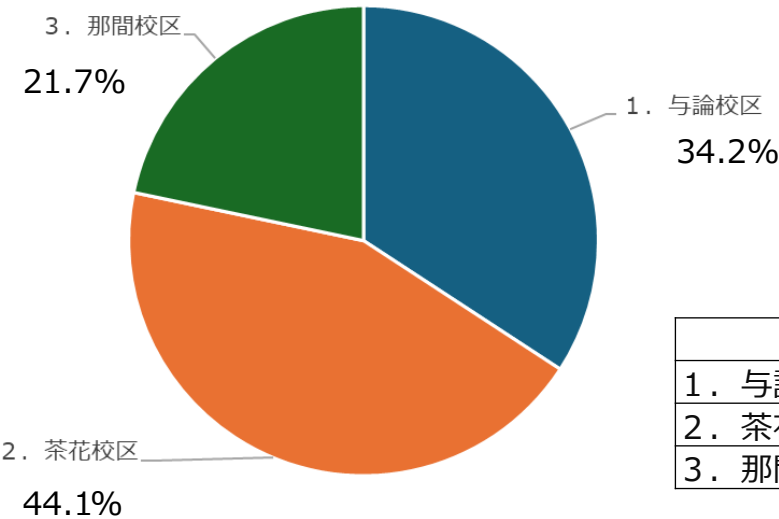
問 **
単数回答

→回答者が限定される設問

Ⅱ 集計結果

1 居住している地域

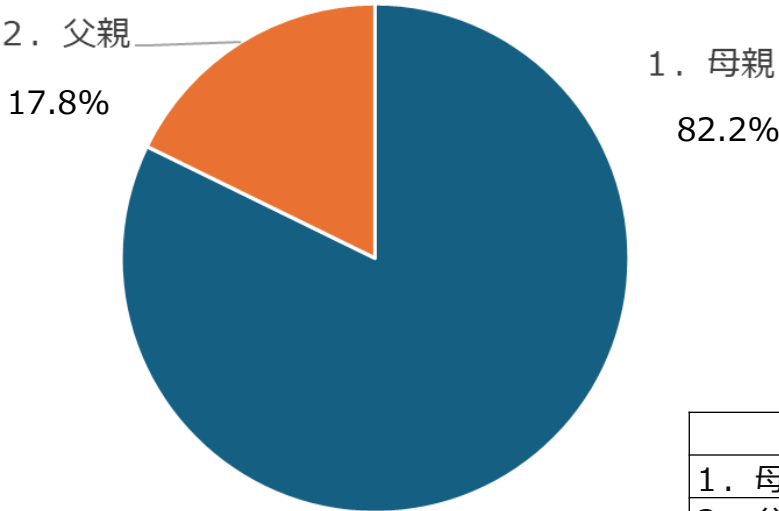
問 1	居住している地域
単数回答	



	回答数	割合
1. 与論校区	52	34.2%
2. 茶花校区	67	44.1%
3. 那間校区	33	21.7%
計	152	100.0%

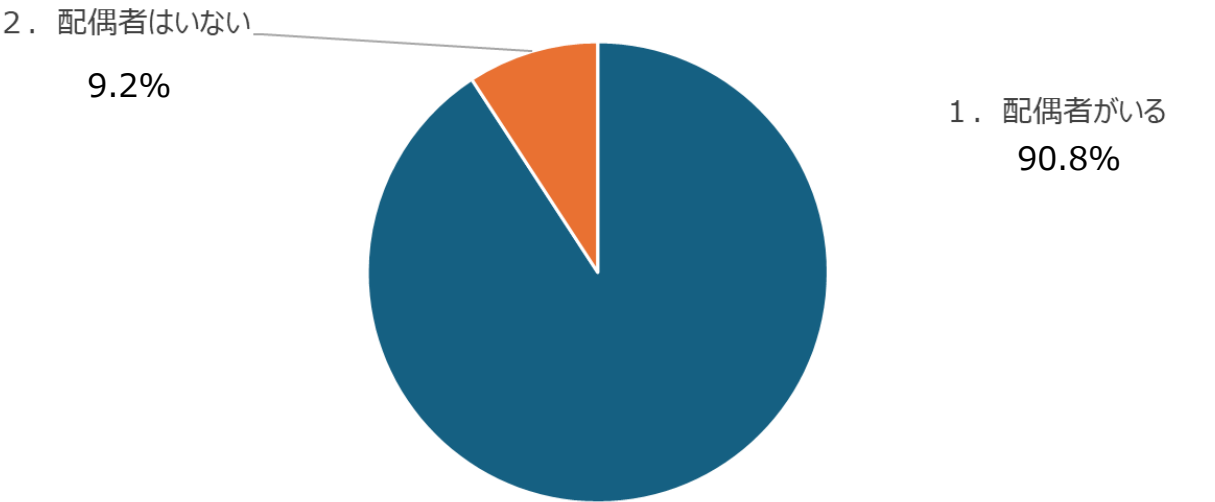
2 子どもと家族の状況

問 2	本調査の回答者
単数回答	



	回答数	割合
1. 母親	125	82.2%
2. 父親	27	17.8%
計	152	100.0%

問 3（1）	回答者の配偶関係
単数回答	

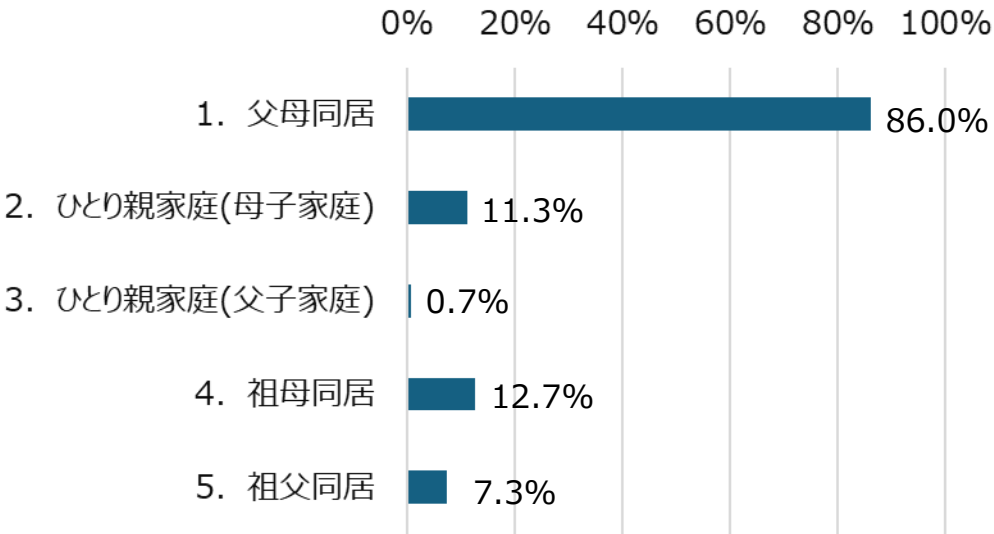


	回答数	割合
1. 配偶者がいる	138	90.8%
2. 配偶者はいない	14	9.2%
計	152	100.0%

問 3（2）	同居の状況
複数回答	

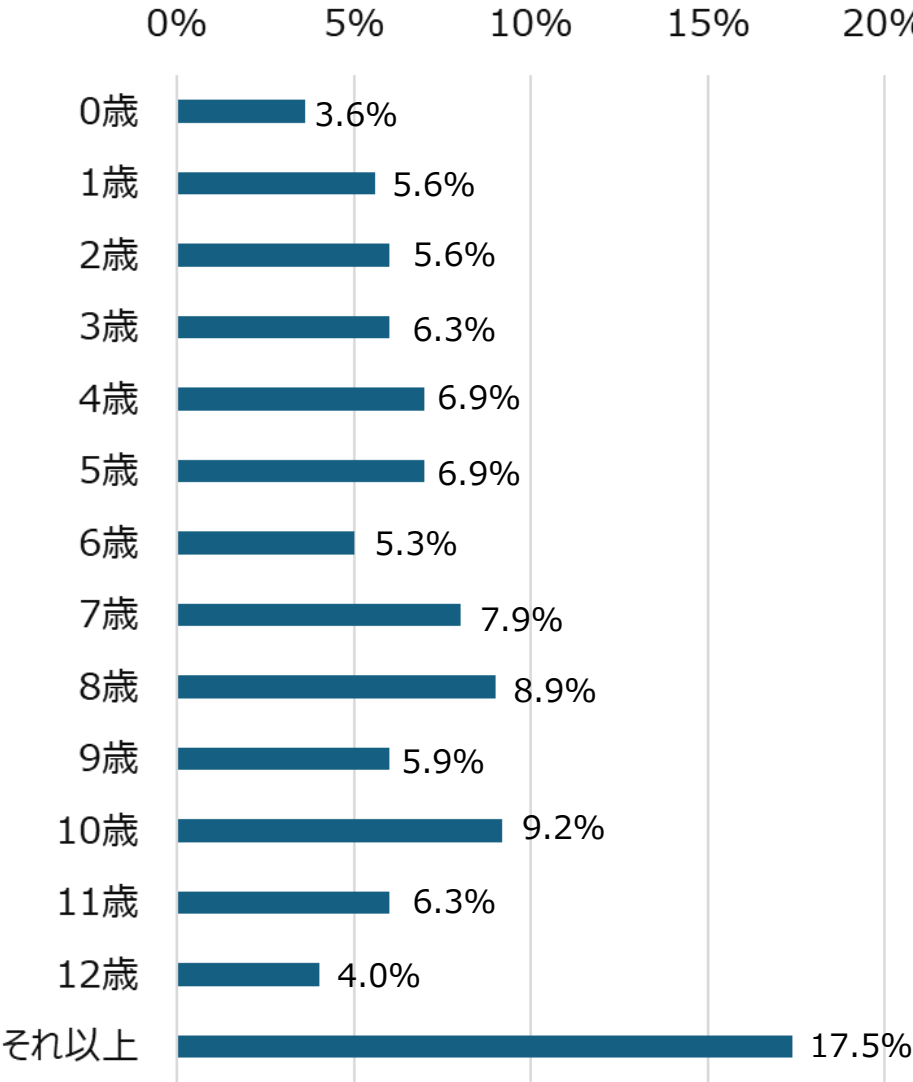
(n=150)

	回答数	割合
1. 父母同居	129	86.0%
2. ひとり親家庭(母子家庭)	17	11.3%
3. ひとり親家庭(父子家庭)	1	0.7%
4. 祖母同居	19	12.7%
5. 祖父同居	11	7.3%



問 4 (1)	子供の年齢
複数回答	

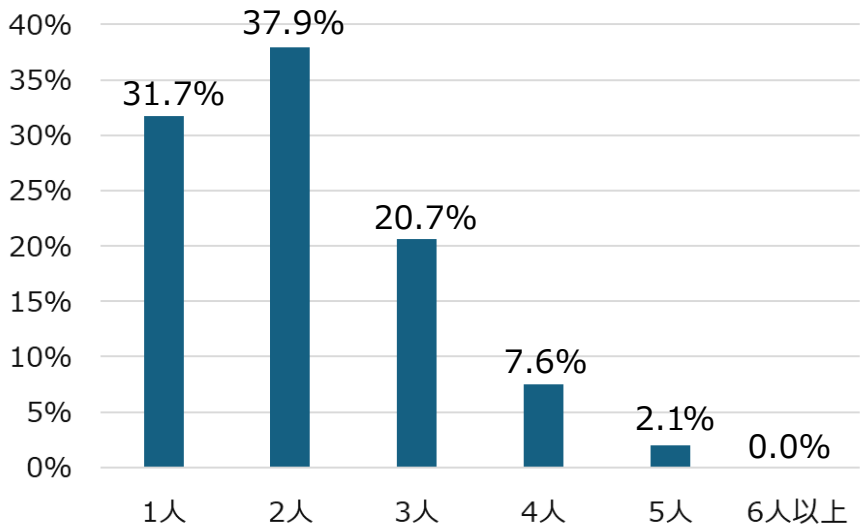
(n=145)							
	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目	回答数	割合
0歳	4	5	2	0	0	11	3.6%
1歳	7	4	4	2	0	17	5.6%
2歳	11	4	2	0	0	17	5.6%
3歳	5	12	2	0	0	19	6.3%
4歳	6	9	4	2	0	21	6.9%
5歳	10	8	2	1	0	21	6.9%
6歳	8	5	3	0	0	16	5.3%
7歳	8	7	7	0	2	24	7.9%
8歳	15	5	3	4	0	27	8.9%
9歳	9	5	2	1	1	18	5.9%
10歳	15	9	3	1	0	28	9.2%
11歳	10	4	3	2	0	19	6.3%
12歳	8	5	4	0	0	12	4.0%
それ以上	29	18	5	1	0	53	17.5%
計						303	100.0%



問 4（1）	子供の年齢
複数回答	

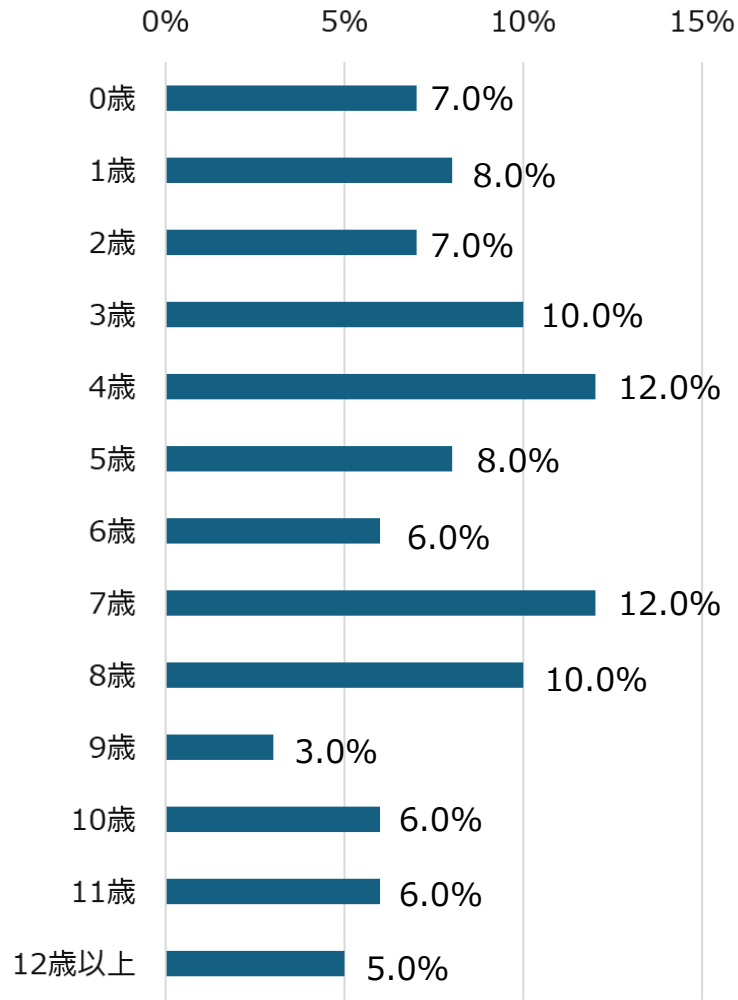
子どもの数

	回答数	割合
1 人	46	31.7%
2 人	55	37.9%
3 人	30	20.7%
4 人	11	7.6%
5 人	3	2.1%
6 人以上	0	0.0%
計	145	100.0%

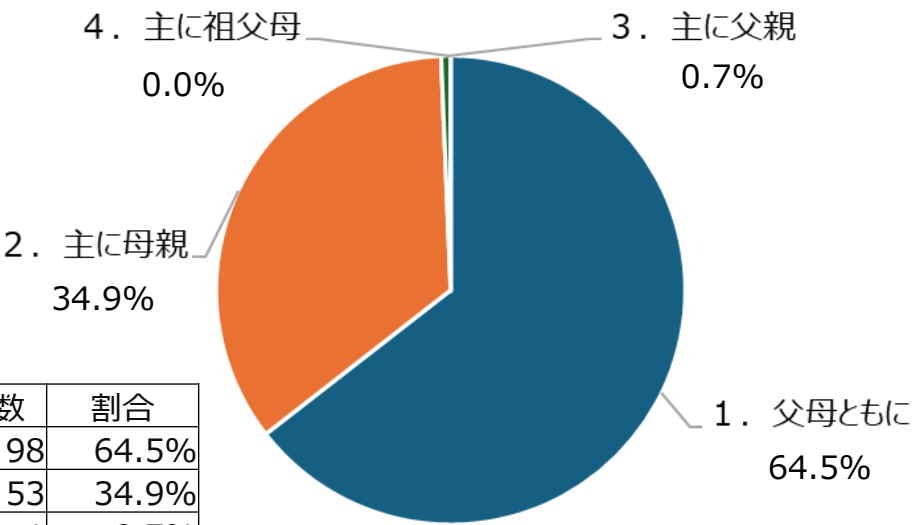


末子の年齢

	回答数	割合
0 歳	7	7.0%
1 歳	8	8.0%
2 歳	7	7.0%
3 歳	10	10.0%
4 歳	12	12.0%
5 歳	8	8.0%
6 歳	6	6.0%
7 歳	12	12.0%
8 歳	10	10.0%
9 歳	3	3.0%
10歳	6	6.0%
11歳	6	6.0%
12歳以上	5	5.0%
計	100	100.0%



問5	子育て（教育含む）を主に行っている方
単数回答	

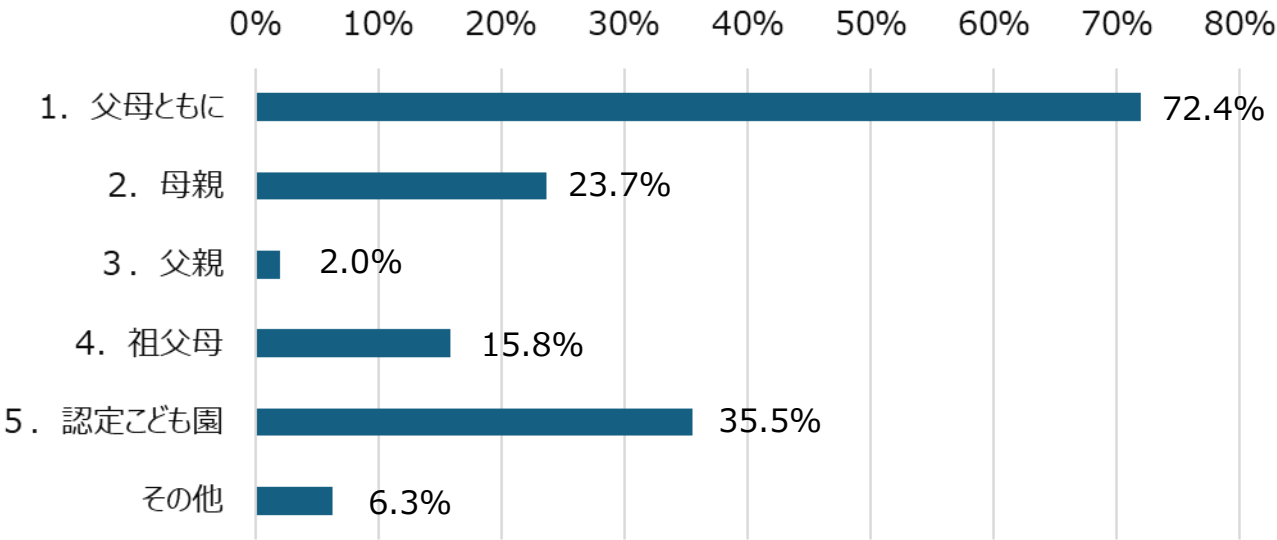


	回答数	割合
1. 父母ともに	98	64.5%
2. 主に母親	53	34.9%
3. 主に父親	1	0.7%
4. 主に祖父母	0	0.0%
計	152	100.0%

問6	子育て（教育含む）に日常的に関わっている方（施設）
複数回答	

(n=152)

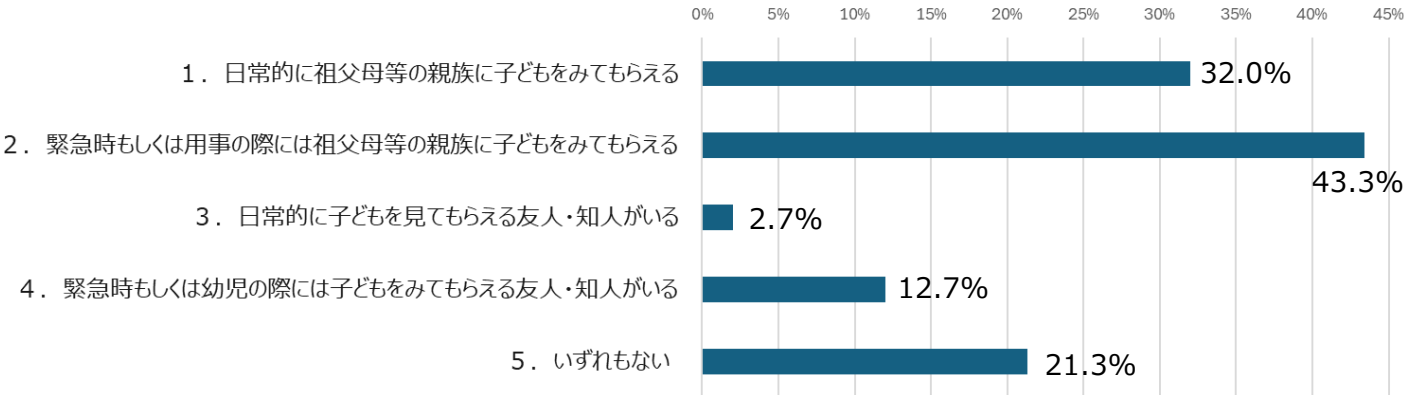
	回答数	割合
1. 父母ともに	110	72.4%
2. 母親	36	23.7%
3. 父親	3	2.0%
4. 祖父母	24	15.8%
5. 認定こども園	54	35.5%
その他	9	6.3%



3 子どもの育ちをめぐる環境

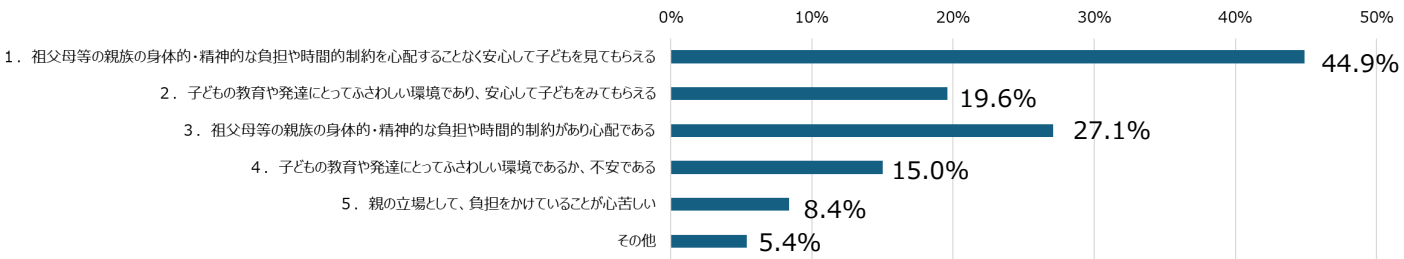
問7	日頃子どもを見てもらえる親族・知人がいるか
複数回答	

(n=150)		
	回答数	割合
1. 日常的に祖父母等の親族に子どもをみてもらえる	48	32.0%
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に子どもをみてもらえる	65	43.3%
3. 日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる	4	2.7%
4. 緊急時もしくは幼児の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	19	12.7%
5. いずれもない	32	21.3%



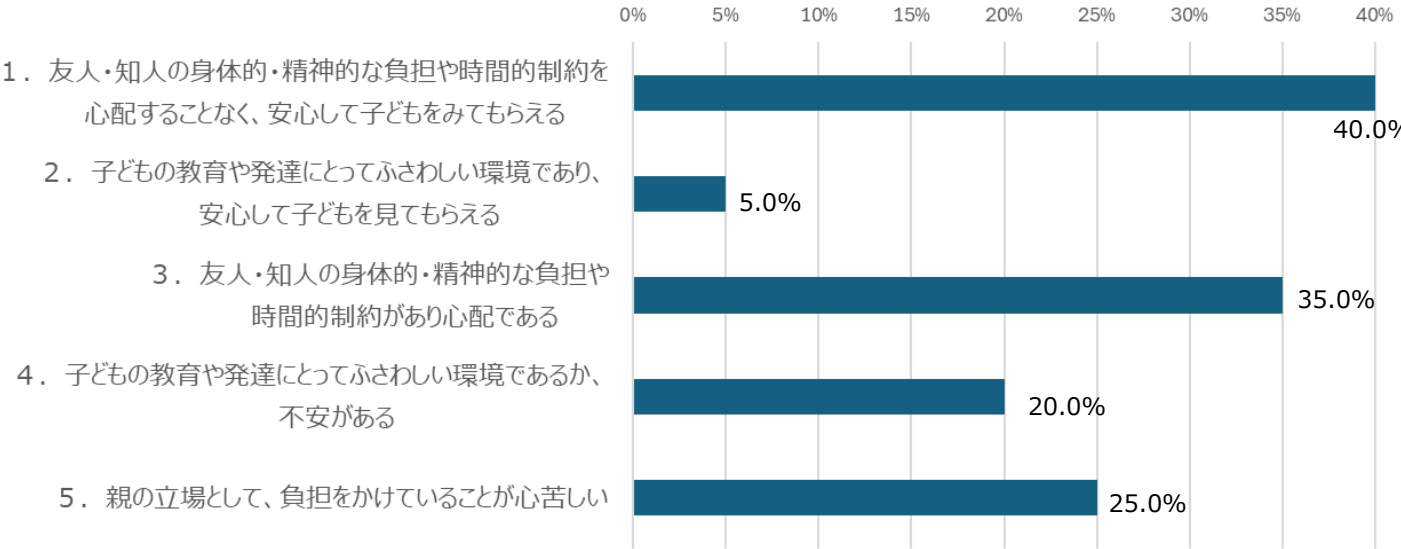
問7-1	祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について
複数回答	

(n=107)		
	回答数	割合
1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく安心して子どもを見てもらえる	48	44.9%
2. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であり、安心して子どもをみてもらえる	21	19.6%
3. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約があり心配である	29	27.1%
4. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、不安である	16	15.0%
5. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	9	8.4%
その他	6	5.4%

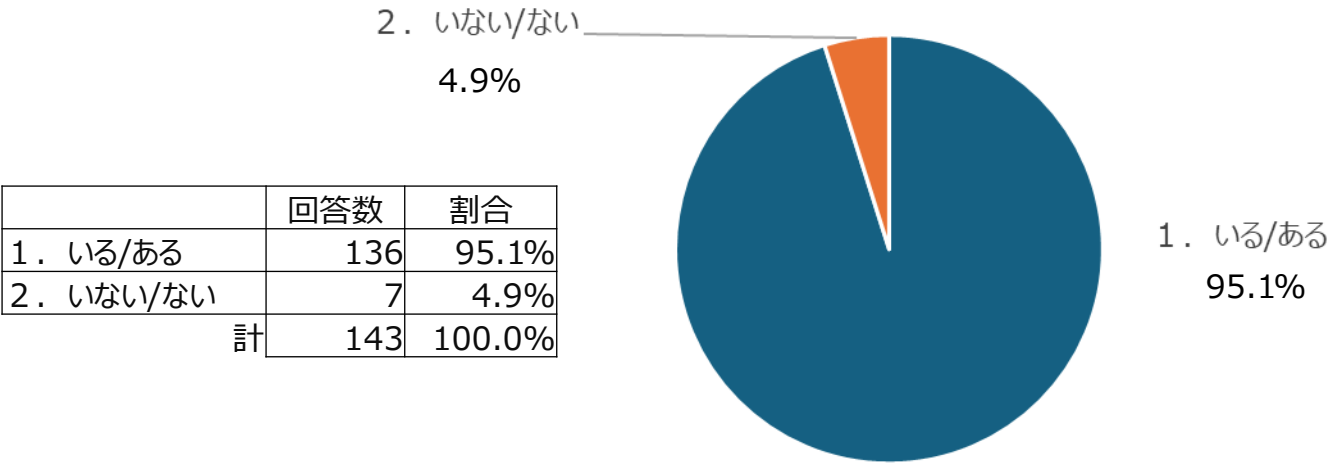


問7-2	友人・知人に子どもをみてもらっている状況について
複数回答	

	回答数	割合
1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	8	40.0%
2. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であり、安心して子どもを見てもらえる	1	5.0%
3. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約があり心配である	7	35.0%
4. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、不安がある	4	20.0%
5. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	5	25.0%



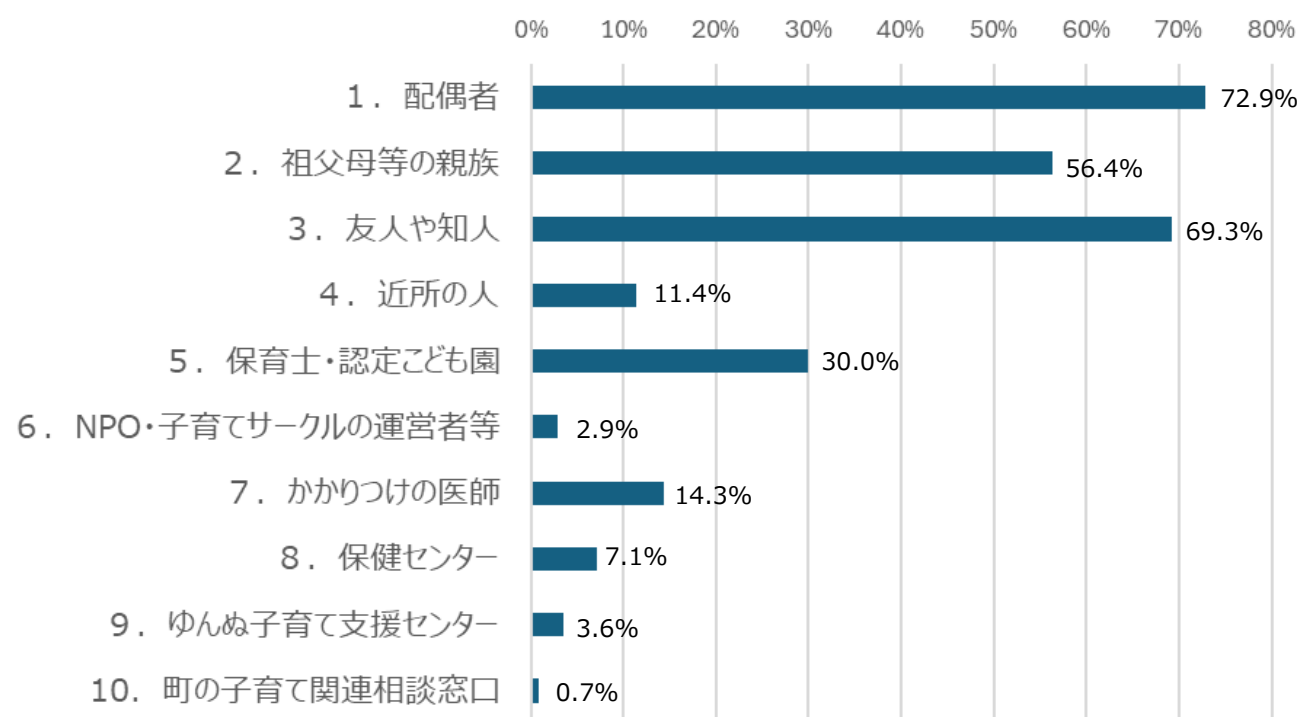
問8	子育てをする上で気軽に相談できる人・場所があるか
単数回答	



問 8-1	子育てに関して相談する先（人・施設）
複数回答	

(n=140)

	回答数	割合
1. 配偶者	102	72.9%
2. 祖父母等の親族	79	56.4%
3. 友人や知人	97	69.3%
4. 近所の人	16	11.4%
5. 保育士・認定こども園	42	30.0%
6. NPO・子育てサークルの運営者等(あしびー等)	4	2.9%
7. かかりつけの医師	20	14.3%
8. 保健センター	10	7.1%
9. ゆんぬ子育て支援センター	5	3.6%
10. 町の子育て関連相談窓口	1	0.7%



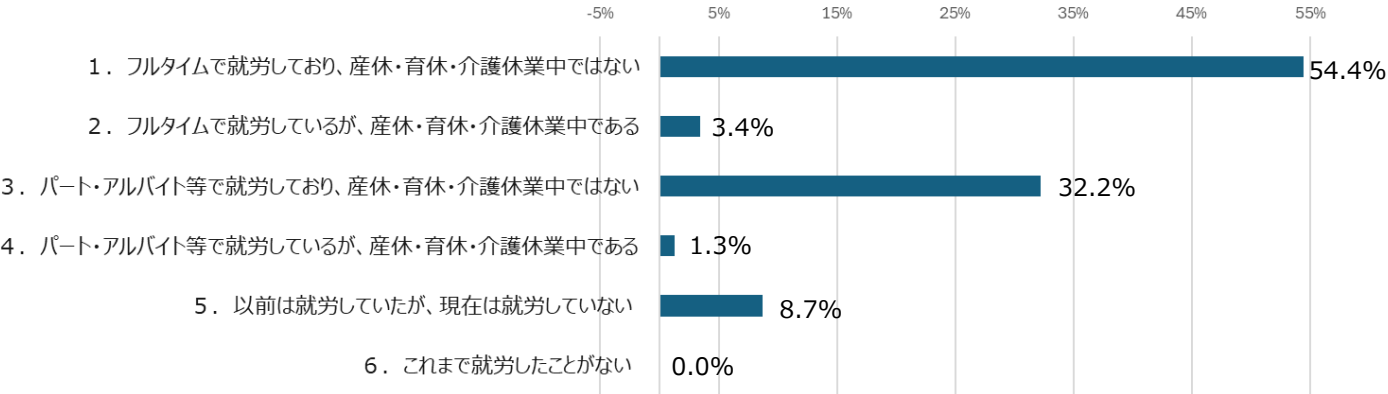
問 9	子育て（教育）をする上で、周囲（身近な人・行政担当者など）からどのようなサポートがあれば良いと考えるか ※記入式回答の為、後述
記入式回答	

4 保護者の就労状況

問 1 0 （ 1 ）	母親の就労状況
単数回答	

問10(1)-1	母親の現在の就労状況
単数回答	

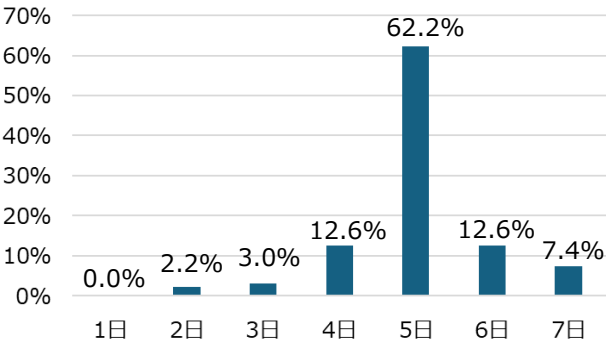
	回答数	割合
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	81	54.4%
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	5	3.4%
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	48	32.2%
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	1.3%
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない →【問 8 - 5】へ	13	8.7%
6. これまで就労したことがない	0	0.0%
計	149	100.0%



問10(1)-2	① 1 週間当たりの就労日数 ② 1 日あたりの就労時間（残業時間を含む）
単数回答	

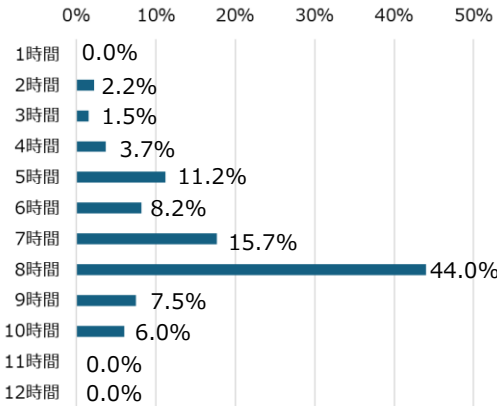
① 1 週間当たりの就労日数

	回答数	割合
1 日	0	0.0%
2 日	3	2.2%
3 日	4	3.0%
4 日	17	12.6%
5 日	84	62.2%
6 日	17	12.6%
7 日	10	7.4%
計	135	100.0%



② 1 日あたりの就労時間

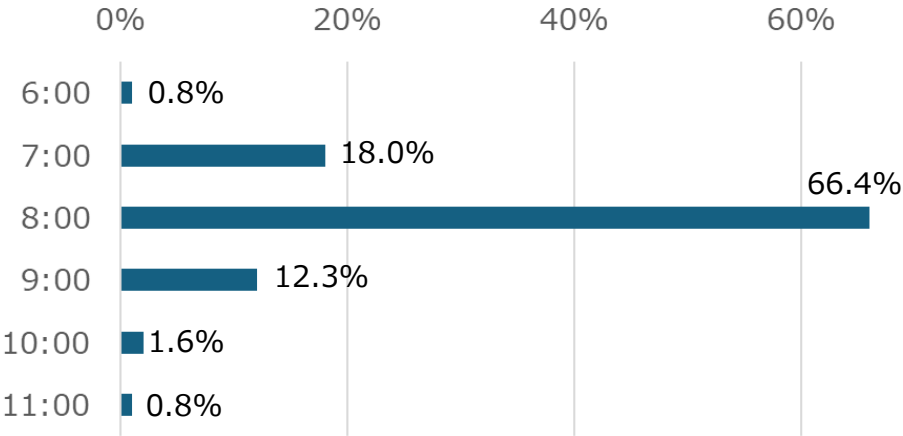
	回答数	割合
1 時間	0	0.0%
2 時間	3	2.2%
3 時間	2	1.5%
4 時間	5	3.7%
5 時間	15	11.2%
6 時間	11	8.2%
7 時間	21	15.7%
8 時間	59	44.0%
9 時間	10	7.5%
10 時間	8	6.0%
11 時間	0	0.0%
12 時間	0	0.0%
計	134	100.0%



問10(1)-3	① 家を出る時刻
単数回答	② 帰宅時刻

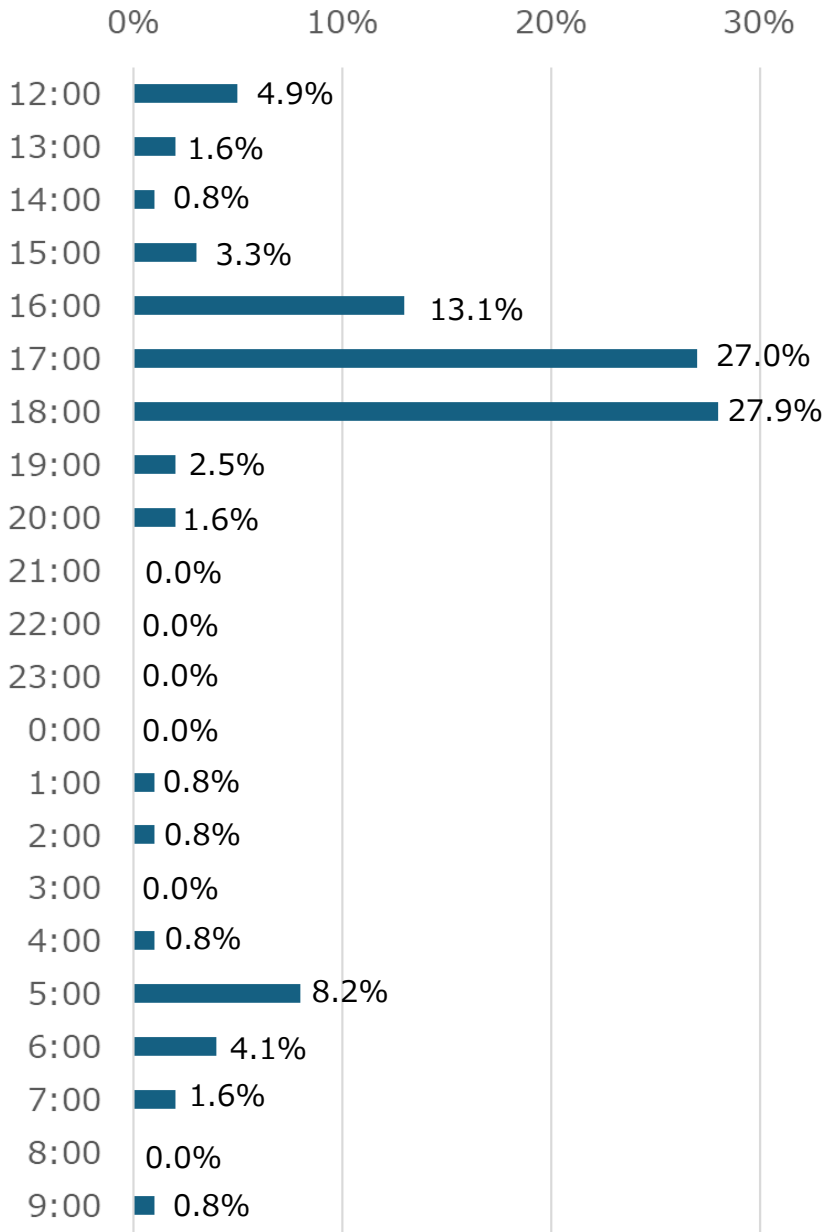
① 家を出る時刻

	回答数	割合
6:00	1	0.8%
7:00	22	18.0%
8:00	81	66.4%
9:00	15	12.3%
10:00	2	1.6%
11:00	1	0.8%
計	122	100.0%



② 帰宅時刻

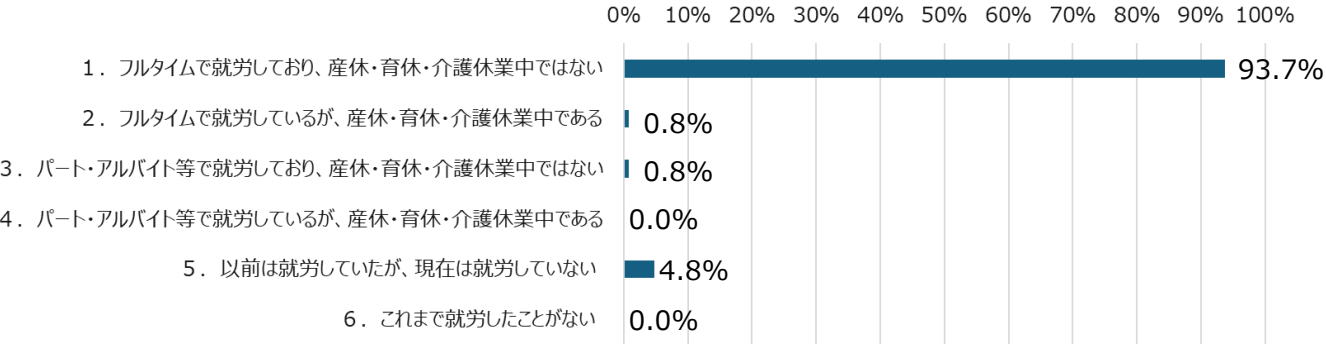
	回答数	割合
12:00	6	4.9%
13:00	2	1.6%
14:00	1	0.8%
15:00	4	3.3%
16:00	16	13.1%
17:00	33	27.0%
18:00	34	27.9%
19:00	3	2.5%
20:00	2	1.6%
21:00	0	0.0%
22:00	0	0.0%
23:00	0	0.0%
0:00	0	0.0%
1:00	1	0.8%
2:00	1	0.8%
3:00	0	0.0%
4:00	1	0.8%
5:00	10	8.2%
6:00	5	4.1%
7:00	2	1.6%
8:00	0	0.0%
9:00	1	0.8%
計	122	100.0%



問10（2）	父親の就労状況
単数回答	

問10(2)-1	父親の現在の就労状況
単数回答	

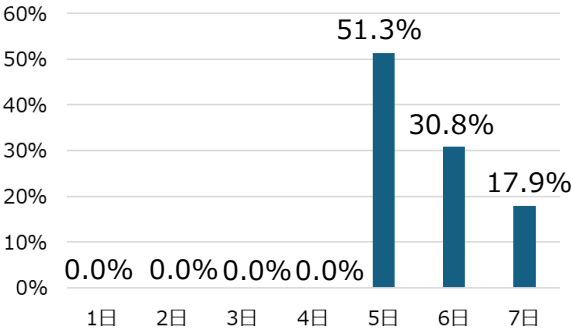
	回答数	割合
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	118	93.7%
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1	0.8%
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	0.8%
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	6	4.8%
6. これまで就労したことがない	0	0.0%
計	126	100.0%



問10(2)-2	① 1週間当たりの就労日数
単数回答	② 1日あたりの就労時間（残業時間を含む）

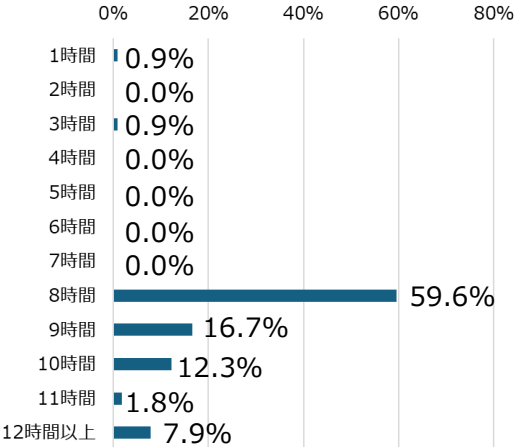
① 1週間当たりの就労日数

	回答数	割合
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	60	51.3%
6日	36	30.8%
7日	21	17.9%
計	117	100.0%



② 1日あたりの就労時間

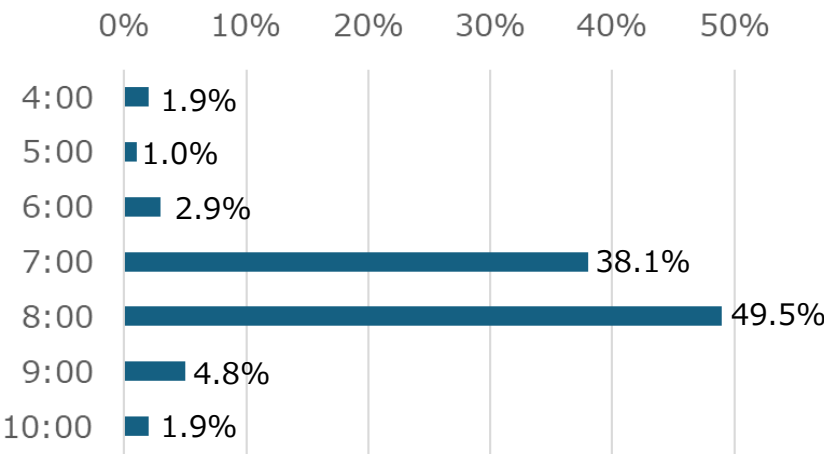
	回答数	割合
1時間	1	0.9%
2時間	0	0.0%
3時間	1	0.9%
4時間	0	0.0%
5時間	0	0.0%
6時間	0	0.0%
7時間	0	0.0%
8時間	68	59.6%
9時間	19	16.7%
10時間	14	12.3%
11時間	2	1.8%
12時間以上	9	7.9%
計	114	100.0%



問10(2)-3	① 家を出る時刻
単数回答	② 帰宅時刻

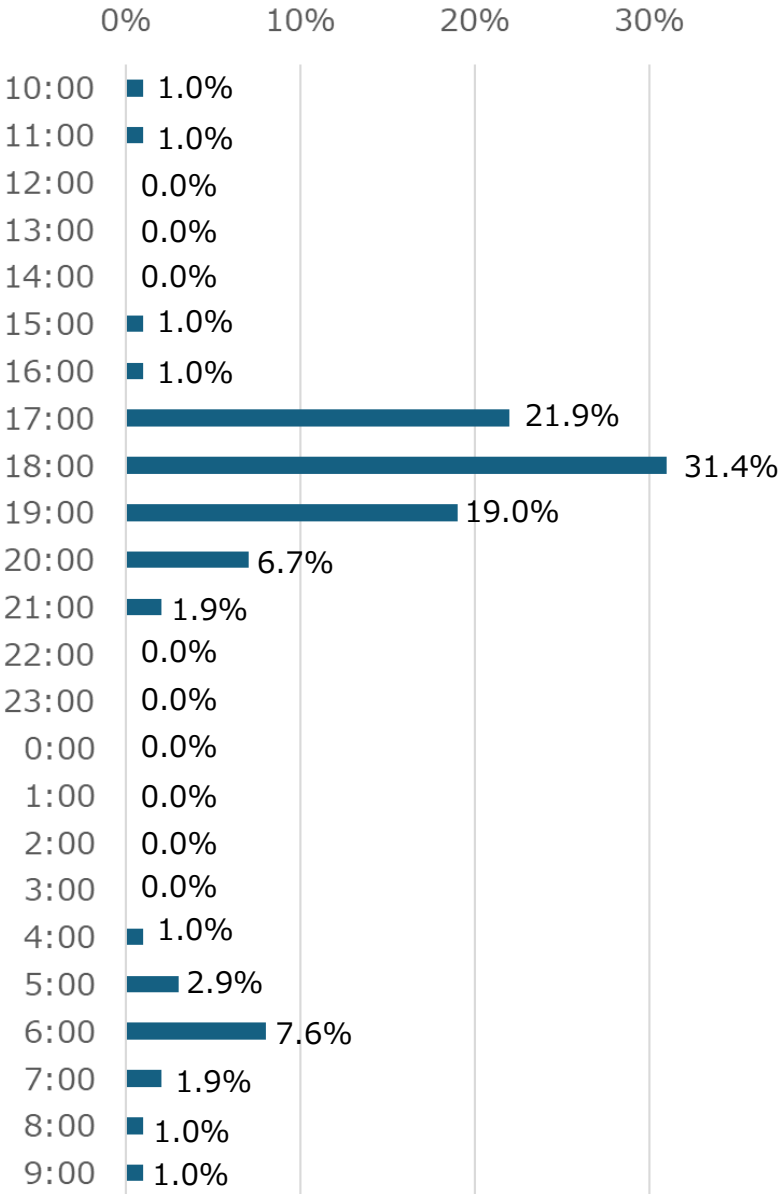
① 家を出る時刻

	回答数	割合
4:00	2	1.9%
5:00	1	1.0%
6:00	3	2.9%
7:00	40	38.1%
8:00	52	49.5%
9:00	5	4.8%
10:00	2	1.9%
計	105	100.0%



② 帰宅時刻

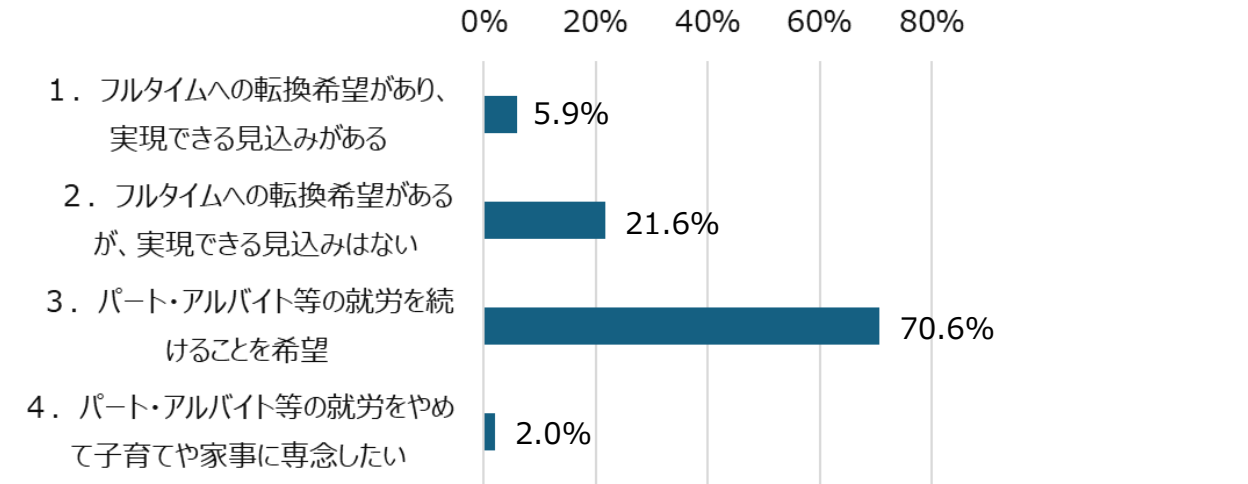
	回答数	割合
10:00	1	1.0%
11:00	1	1.0%
12:00	0	0.0%
13:00	0	0.0%
14:00	0	0.0%
15:00	1	1.0%
16:00	1	1.0%
17:00	23	21.9%
18:00	33	31.4%
19:00	20	19.0%
20:00	7	6.7%
21:00	2	1.9%
22:00	0	0.0%
23:00	0	0.0%
0:00	0	0.0%
1:00	0	0.0%
2:00	0	0.0%
3:00	0	0.0%
4:00	1	1.0%
5:00	3	2.9%
6:00	8	7.6%
7:00	2	1.9%
8:00	1	1.0%
9:00	1	1.0%
計	105	100.0%



問11	フルタイムへの転換希望
単数回答	

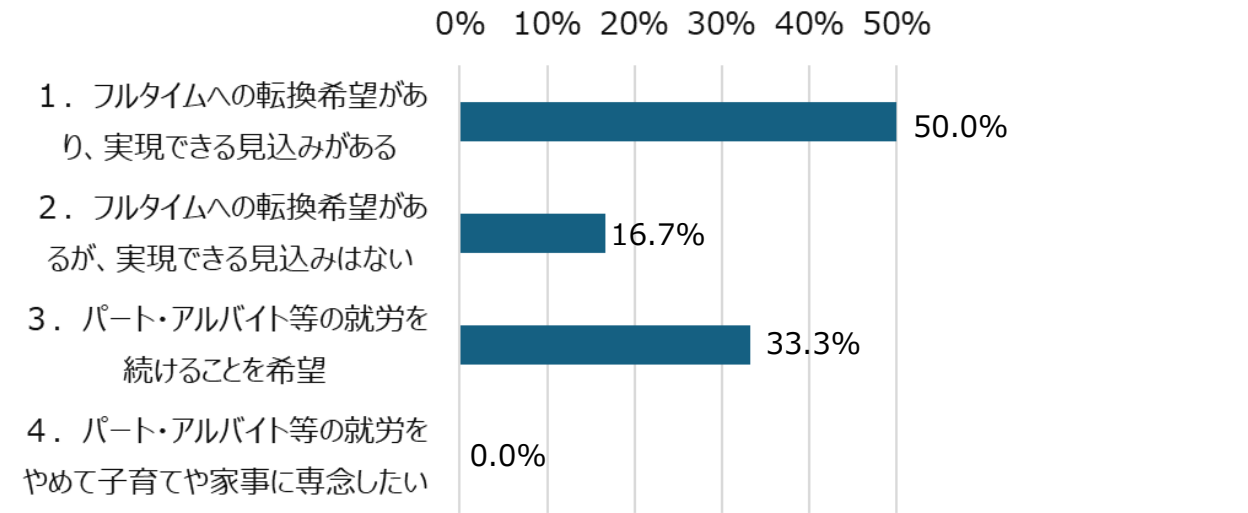
問11(1)	問10(1)-1で「パート・アルバイト等で就労している」と選択した母親の、フルタイムへの転換希望
単数回答	

	回答数	割合
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	3	5.9%
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みはない	11	21.6%
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	36	70.6%
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労をやめて子育てや家事に専念したい	1	2.0%
計	51	100.0%



問11(2)	問10(1)-1で「パート・アルバイト等で就労している」と選択した父親の、フルタイムへの転換希望
単数回答	

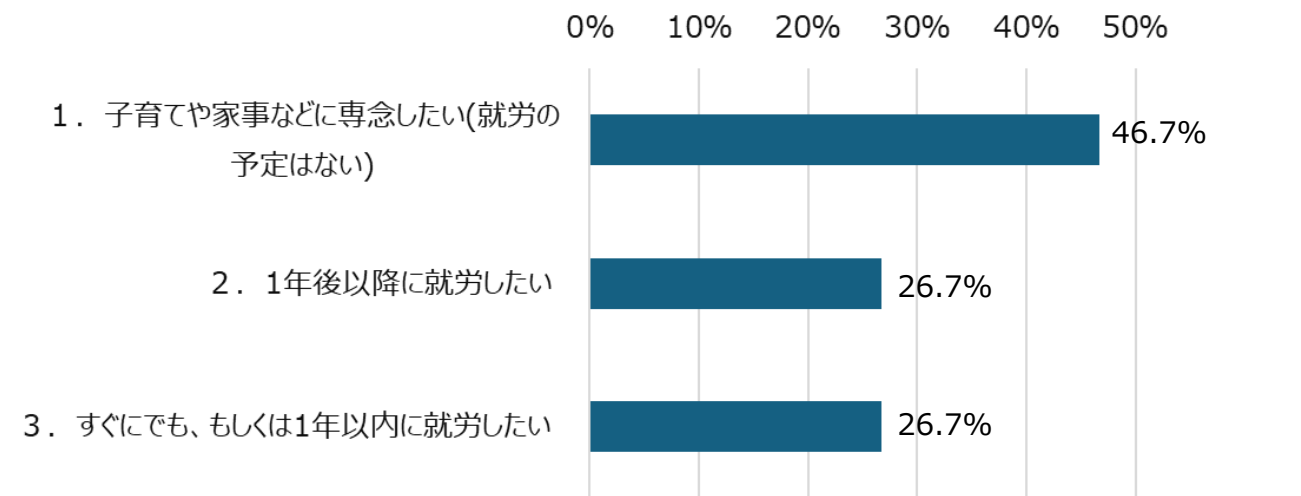
	回答数	割合
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	3	50.0%
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みはない	1	16.7%
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	2	33.3%
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
計	6	100.0%



問12(1)	母親の就労希望について
単数回答	

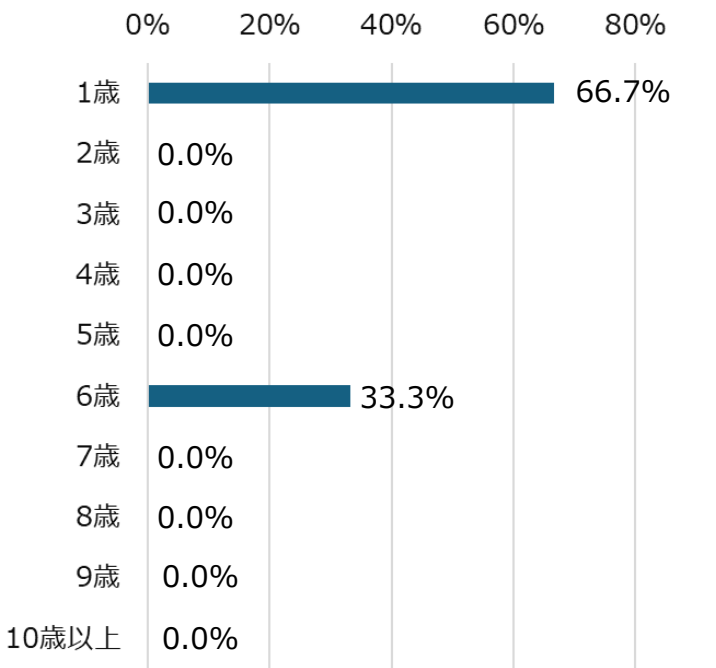
問12(1)	問10(1)-1で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまでに就労したことがない」と選択した母親の就労希望
単数回答	

	回答数	割合
1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	7	46.7%
2. 1年後以降に就労したい	4	26.7%
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	4	26.7%
計	15	100.0%



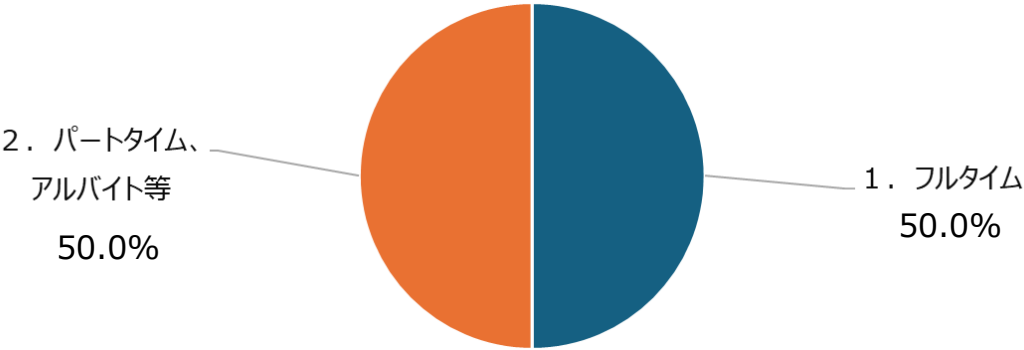
問12(1)-1	問12(1)で「2. 1年後以降に就労したい」を選択した母親 一番下の子供が「何歳」になった頃に就労したいか
単数回答	

	回答数	割合
1 歳	2	66.7%
2 歳	0	0.0%
3 歳	0	0.0%
4 歳	0	0.0%
5 歳	0	0.0%
6 歳	1	33.3%
7 歳	0	0.0%
8 歳	0	0.0%
9 歳	0	0.0%
10歳以上	0	0.0%
計	3	100.0%



問12(1)-2	問12(1)で「3.すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と選択した母親の、希望する就労形態
単数回答	

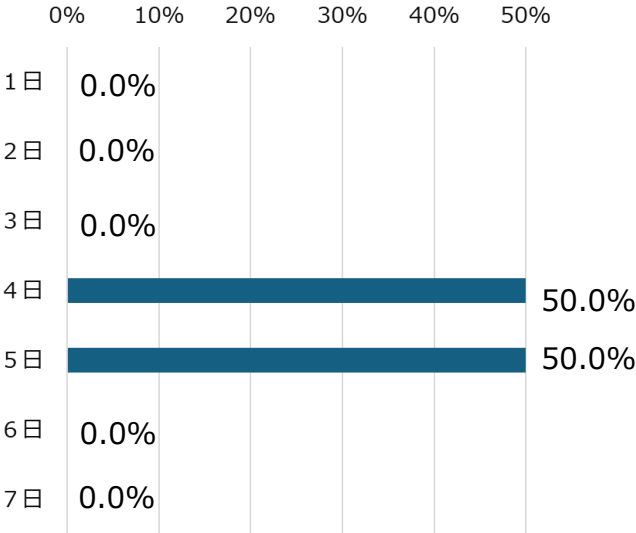
	回答数	割合
1. フルタイム	2	50.0%
2. パートタイム、アルバイト等	2	50.0%
計	4	100.0%



問12(1)-3	問12(1)-2で「2.パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」を選択した母親 ① 1週間当たり何日就労したいか ② 1日あたり何時間就労したいか
単数回答	

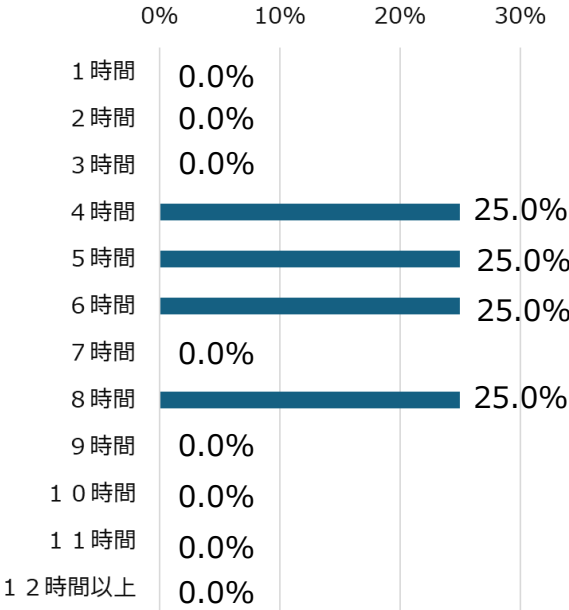
① 1週間当たりの希望就労日数

	回答数	割合
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	0	0.0%
4日	2	50.0%
5日	2	50.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
計	4	100.0%



② 1日当たりの希望就労時間

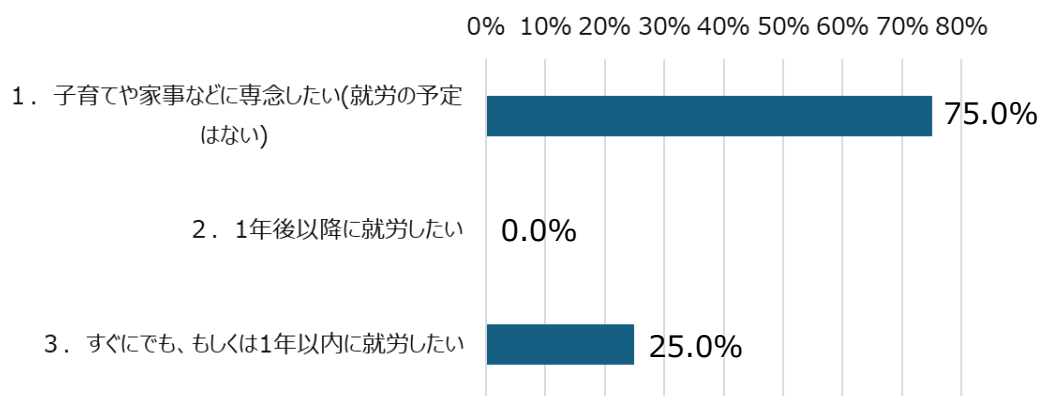
	回答数	割合
1時間	0	0.0%
2時間	0	0.0%
3時間	0	0.0%
4時間	1	25.0%
5時間	1	25.0%
6時間	1	25.0%
7時間	0	0.0%
8時間	1	25.0%
9時間	0	0.0%
10時間	0	0.0%
11時間	0	0.0%
12時間以上	0	0.0%
計	4	100.0%



問12(2)	父親の就労希望について
単数回答	

問12(2)	問10(2)-1で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまでに就労したことがない」と選択した父親の就労希望
単数回答	

	回答数	割合
1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	3	75.0%
2. 1年後以降に就労したい	0	0.0%
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	1	25.0%
計	4	100.0%

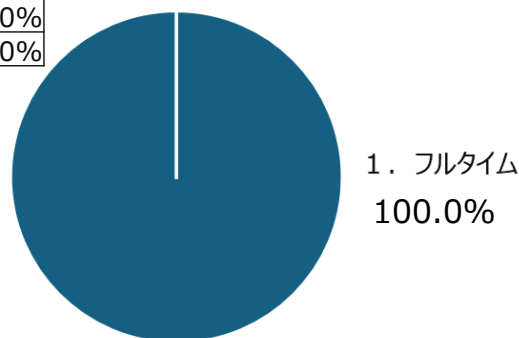


問12(2)-1	問12(2)で「2. 1年後以降に就労したい」を選択した母親 一番下の子供が「何歳」になった頃に就労したいか
単数回答	

※回答なし

問12(2)-2	問12(2)で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と選択した父親の、 希望する就労形態
単数回答	

	回答数	割合
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	1	100.0%
2. パートタイム、アルバイト等(フルタイム以外)	0	0.0%
計	1	100.0%



問12(2)-3	問12(1)-2で「2. パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」を選択した父親 ① 1週間当たり何日就労したいか ② 1日あたり何時間就労したいか
単数回答	

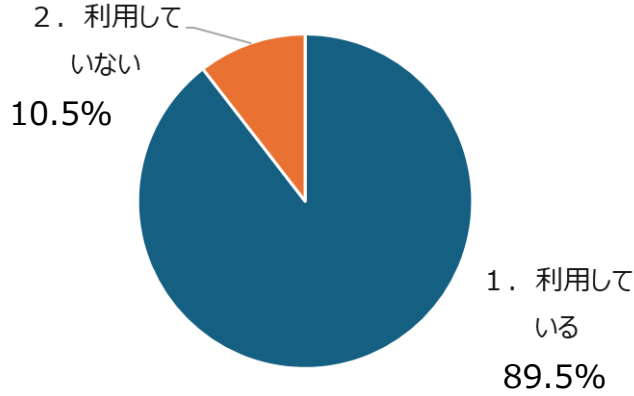
① 1週間当たりの希望就労日数
→回答なし

② 1日当たりの希望就労時間
→回答なし

5 平日の日常的な教育・保育事業の利用状況

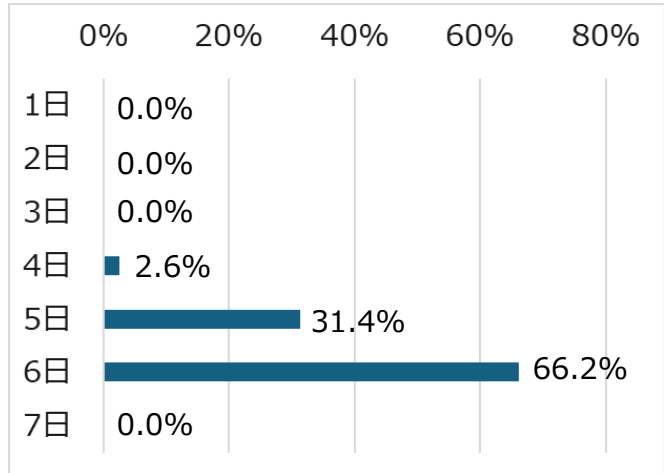
問13	平日定期的に認定こども園（以下、こども園という）を利用しているか
単数回答	

	回答数	割合
1. 利用している	77	89.5%
2. 利用していない	9	10.5%
計	86	100.0%



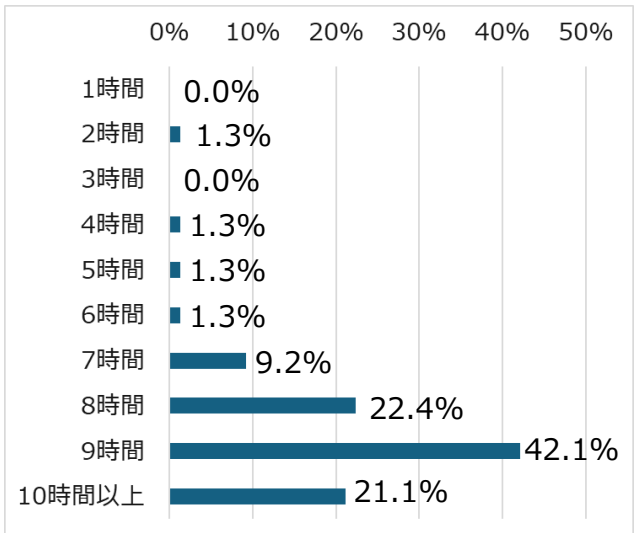
問13(1)-1	平日利用しているこども園について、1週間あたり何日利用しているか
単数回答	

	回答数	割合
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	0	0.0%
4日	2	2.6%
5日	24	31.4%
6日	51	66.2%
7日	0	0.0%
計	77	100.0%



問13(1)-2	平日利用しているこども園について、1日あたり何時間利用しているか
単数回答	

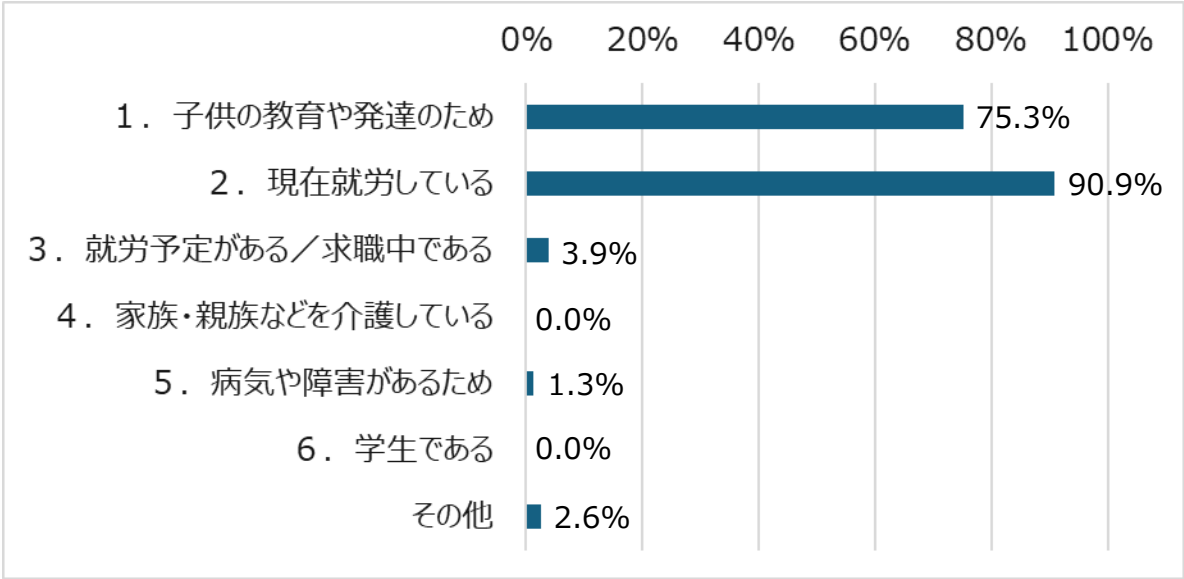
	回答数	割合
1時間	0	0.0%
2時間	1	1.3%
3時間	0	0.0%
4時間	1	1.3%
5時間	1	1.3%
6時間	1	1.3%
7時間	7	9.2%
8時間	17	22.4%
9時間	32	42.1%
10時間以上	16	21.1%
計	76	100.0%



問13-2	こども園を利用する理由
複数回答	

(n=77)

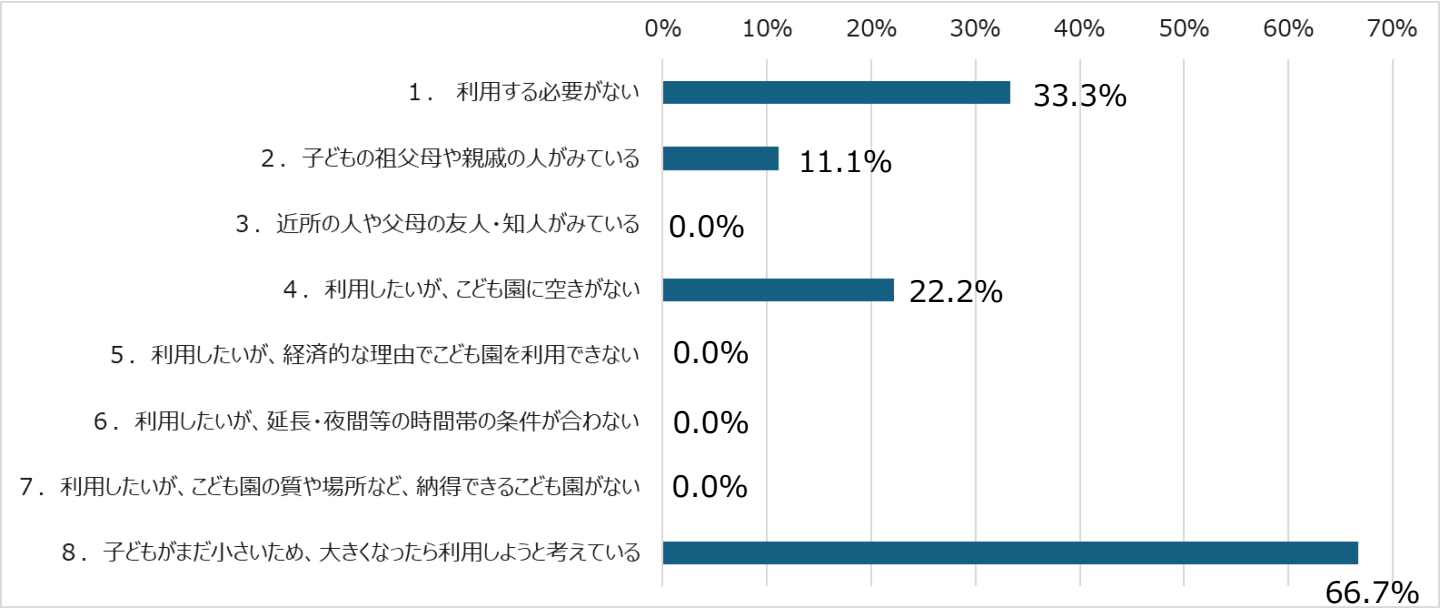
	回答数	割合
1. 子供の教育や発達のため	58	75.3%
2. 現在就労している	70	90.9%
3. 就労予定がある／求職中である	3	3.9%
4. 家族・親族などを介護している	0	0.0%
5. 病気や障害があるため	1	1.3%
6. 学生である	0	0.0%
その他	2	2.6%



問13-3	こども園を利用しない理由
複数回答	「8.子どもがまだ小さいため、大きくなったら利用しようと考えている」と選択した方は、子どもが何歳になったら利用したいか

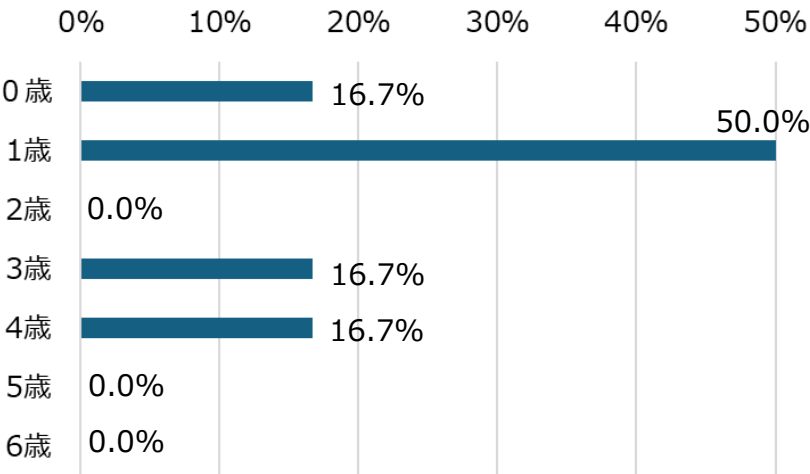
①こども園を利用しない理由 (n=9)

	回答数	割合
1. 利用する必要がない	3	33.3%
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている	1	11.1%
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0%
4. 利用したいが、こども園に空きがない	2	22.2%
5. 利用したいが、経済的な理由でこども園を利用できない	0	0.0%
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	0	0.0%
7. 利用したいが、こども園の質や場所など、納得できるこども園がない	0	0.0%
8. 子どもがまだ小さいため、大きくなったら利用しようと考えている	6	66.7%



②子どもが何歳になったら利用したいか

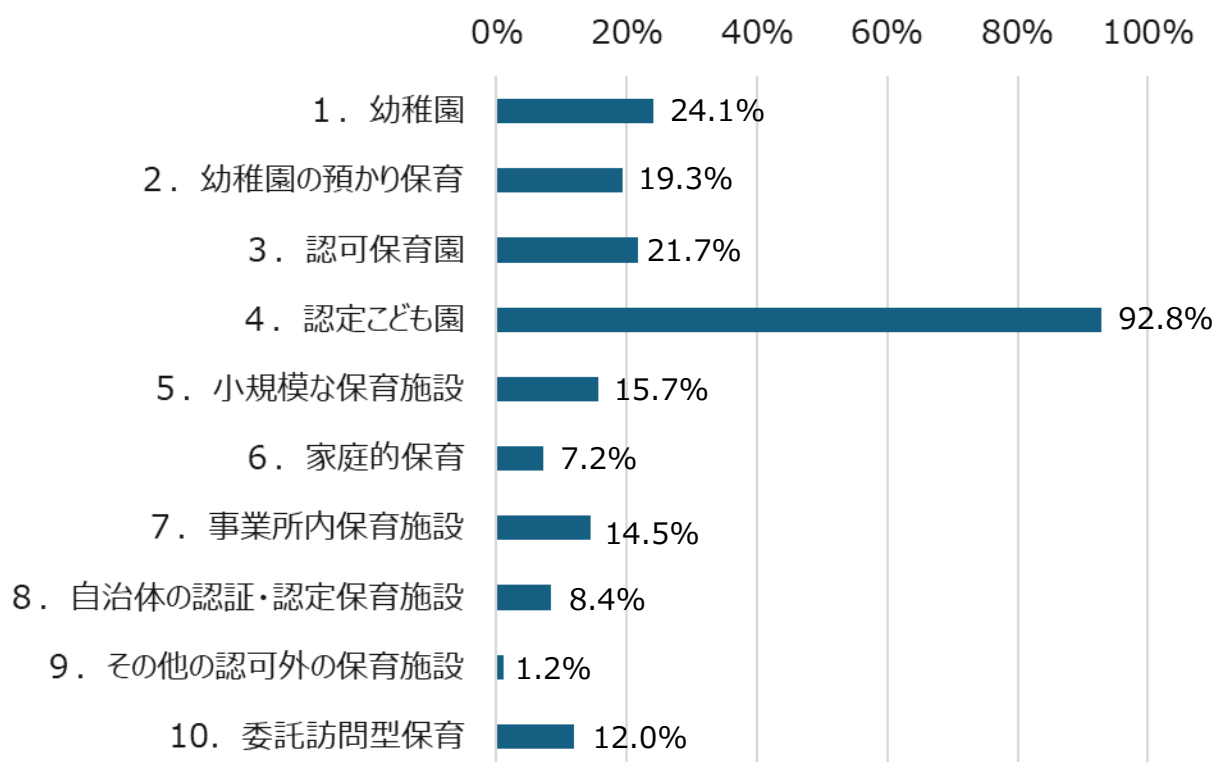
	回答数	割合
0 歳	1	16.7%
1 歳	3	50.0%
2 歳	0	0.0%
3 歳	1	16.7%
4 歳	1	16.7%
5 歳	0	0.0%
6 歳	0	0.0%
計	6	100.0%



問14	現在利用している・していないにかかわらず、子どもの平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業
複数回答	

(n=83)

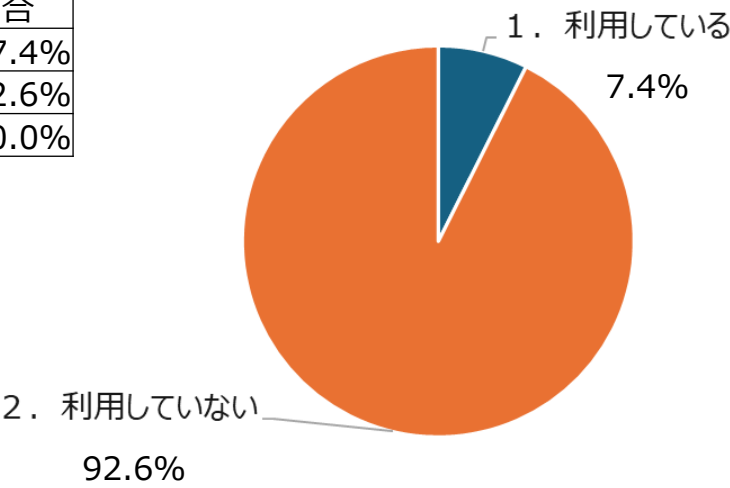
	回答数	割合
1. 幼稚園	20	24.1%
2. 幼稚園の預かり保育	16	19.3%
3. 認可保育園	18	21.7%
4. 認定こども園	77	92.8%
5. 小規模な保育施設	13	15.7%
6. 家庭的保育	6	7.2%
7. 事業所内保育施設	12	14.5%
8. 自治体の認証・認定保育施設	7	8.4%
9. その他の認可外の保育施設	1	1.2%
10. 委託訪問型保育	10	12.0%



6 地域の子育て支援事業の利用状況

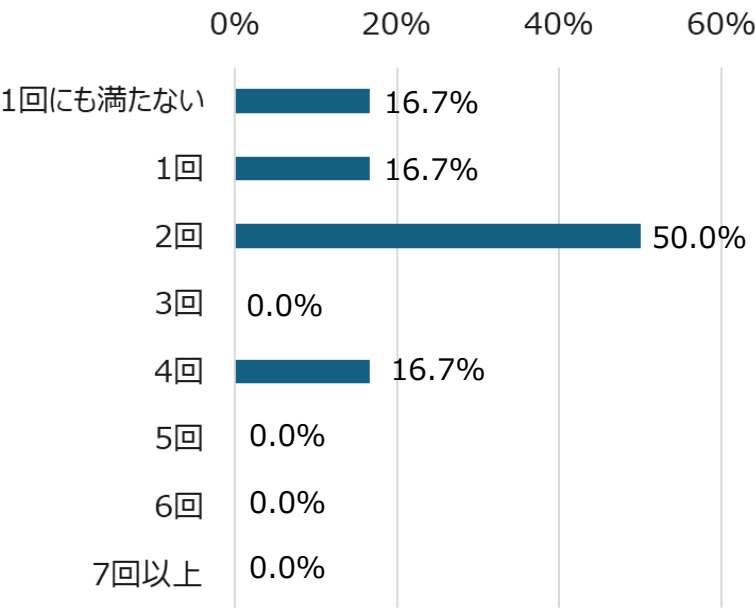
問15	「ゆんぬ子育て支援センター」を利用しているか ※ゆんぬ子育て支援センターとは、子ども同士のふれあいの場として、また、子育て中の方との出会いの場として、0歳から3歳未満の親子を中心に利用できる施設（ハレルヤ認定こども園に併設）
単数回答	

	回答数	割合
1. 利用している	6	7.4%
2. 利用していない	75	92.6%
計	81	100.0%



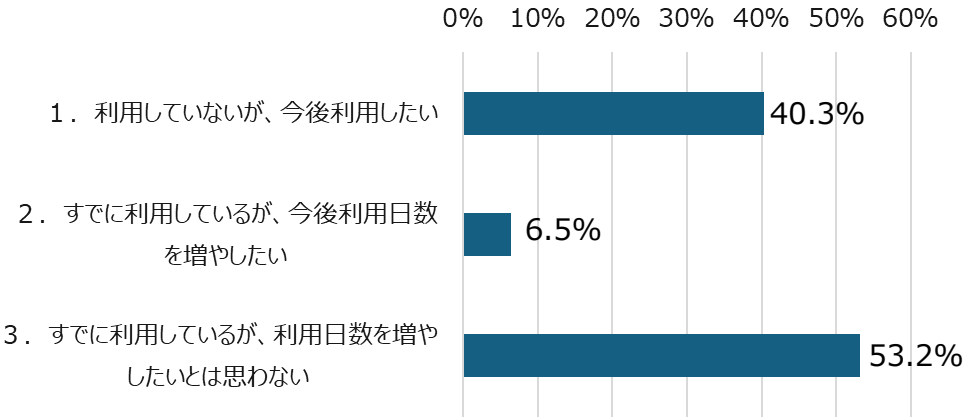
「1.利用している」を選択した回答者の、1週間あたりの利用回数

	回答数	割合
1 回にも満たない	1	16.7%
1 回	1	16.7%
2 回	3	50.0%
3 回	0	0.0%
4 回	1	16.7%
5 回	0	0.0%
6 回	0	0.0%
7 回以上	0	0.0%
計	6	100.0%



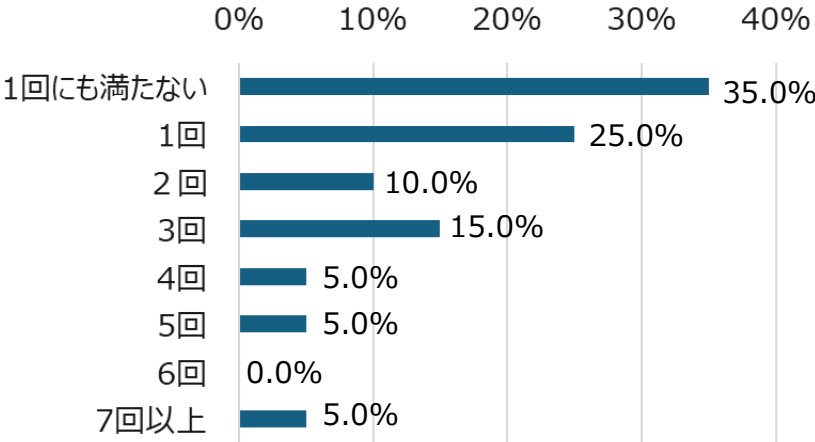
問16	「ゆんぬ子育て支援センター」について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思うか
単数回答	

	回答数	割合
1. 利用していないが、今後利用したい	25	40.3%
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	4	6.5%
3. すでに利用しているが、利用日数を増やしたいとは思わない	33	53.2%
計	62	100.0%



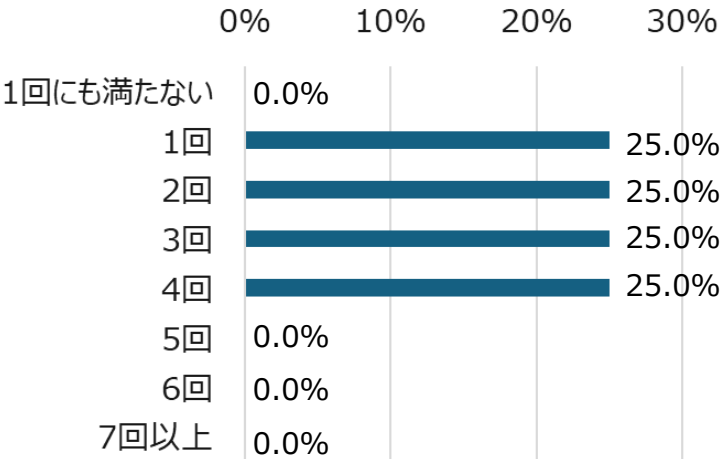
「2.すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選択した回答者の、1週間あたりの希望増加日数

	回答数	割合
1. 1回にも満たない	7	35.0%
2. 1回	5	25.0%
3. 2回	2	10.0%
4. 3回	3	15.0%
5. 4回	1	5.0%
6. 5回	1	5.0%
7. 6回	0	0.0%
8. 7回以上	1	5.0%
計	20	100.0%



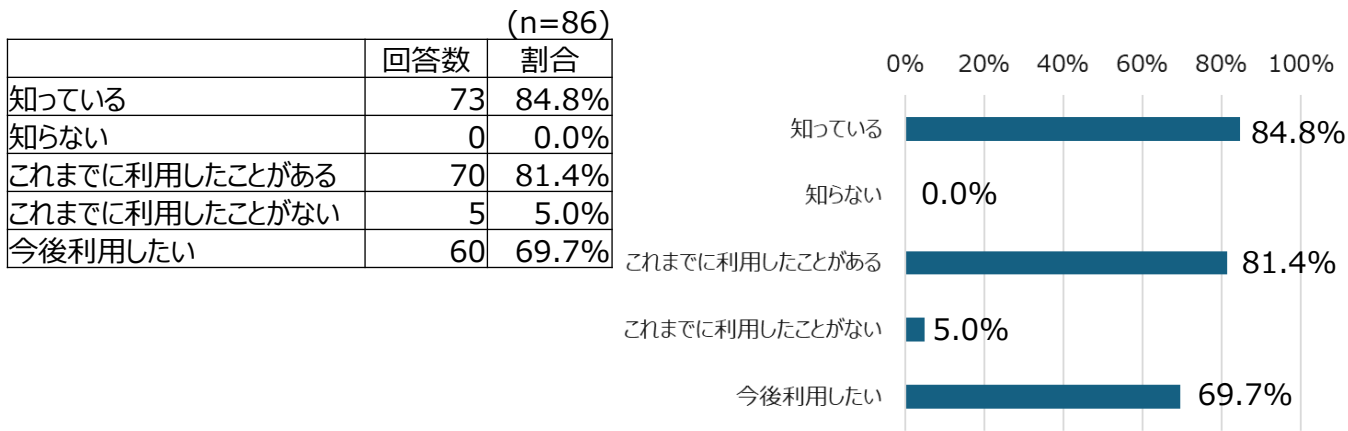
「1.利用していないが、今後利用したい」を選択した回答者の、1週間あたりの希望日数

	回答数	割合
1. 1回にも満たない	0	0.0%
2. 1回	1	25.0%
3. 2回	1	25.0%
4. 3回	1	25.0%
5. 4回	1	25.0%
6. 5回	0	0.0%
7. 6回	0	0.0%
8. 7回以上	0	0.0%
計	4	100.0%

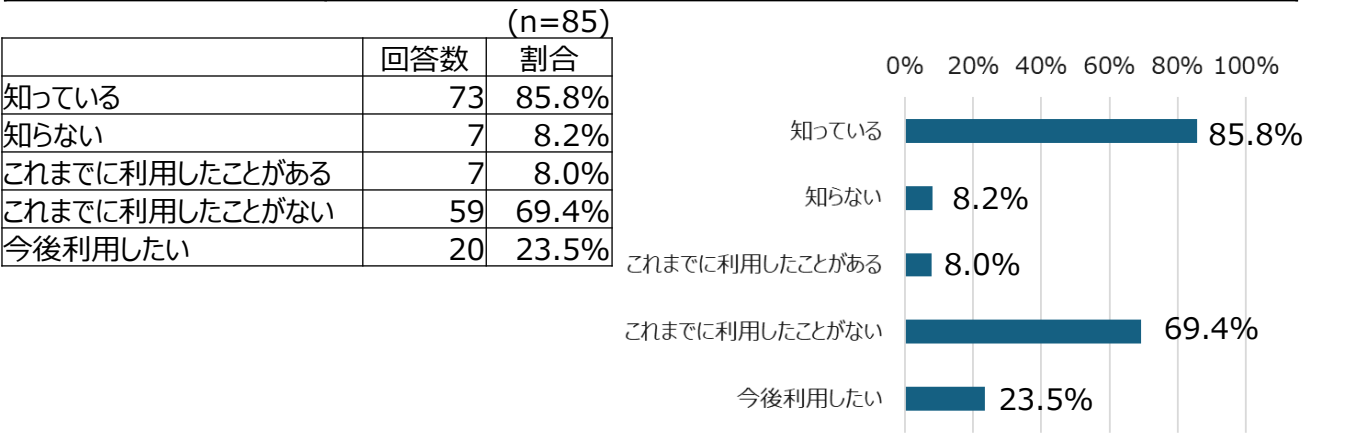


問17	知っている/これまでに利用したことがある/今後利用したいと思う事業
複数回答	

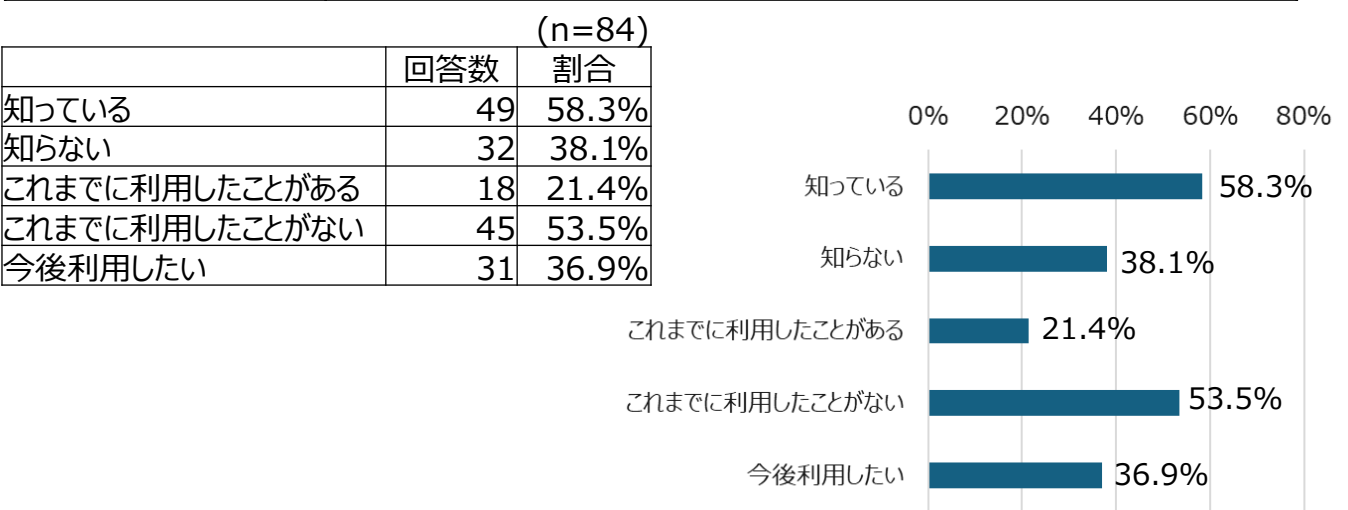
問17(1)	認定こども園（茶花こども園・与論こども園・ハレルヤこども園）
複数回答	



問17(2)	児童発達支援センターほのぼの
複数回答	



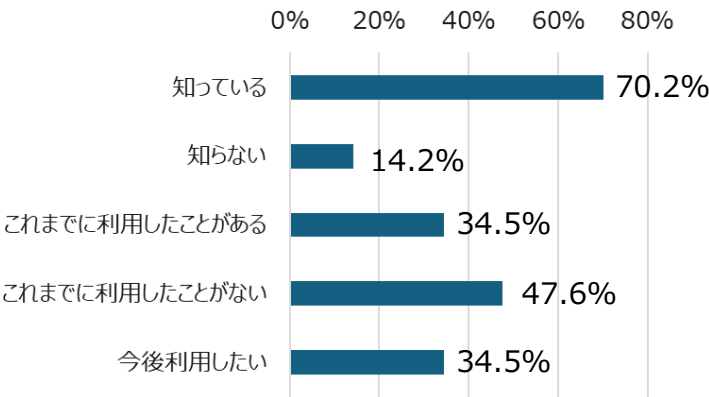
問17(3)	子育て包括支援センター
複数回答	



問17(4)	ゆんぬ子育て支援センター
複数回答	

(n=84)

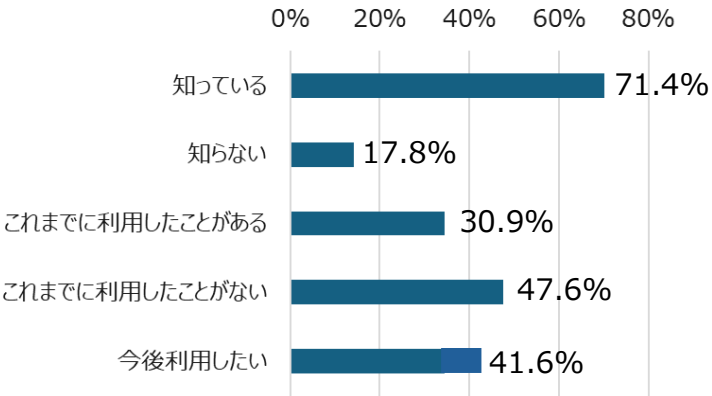
	回答数	割合
知っている	59	70.2%
知らない	12	14.2%
これまでに利用したことがある	29	34.5%
これまでに利用したことがない	40	47.6%
今後利用したい	29	34.5%



問17(5)	AsiBee（あしびー）
複数回答	

(n=84)

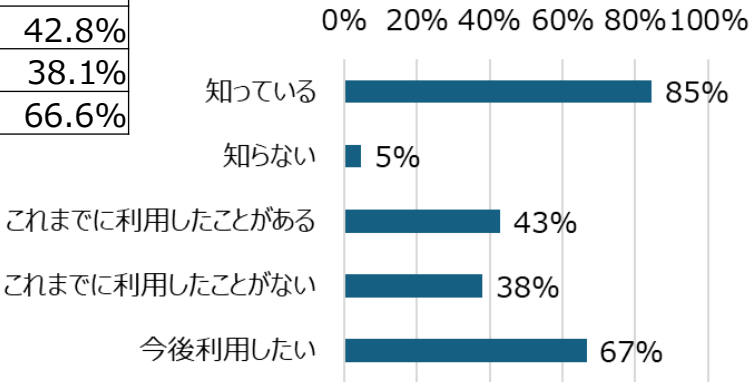
	回答数	割合
知っている	60	71.4%
知らない	15	17.8%
これまでに利用したことがある	26	30.9%
これまでに利用したことがない	40	47.6%
今後利用したい	35	41.6%



問17(6)	こども食堂
複数回答	

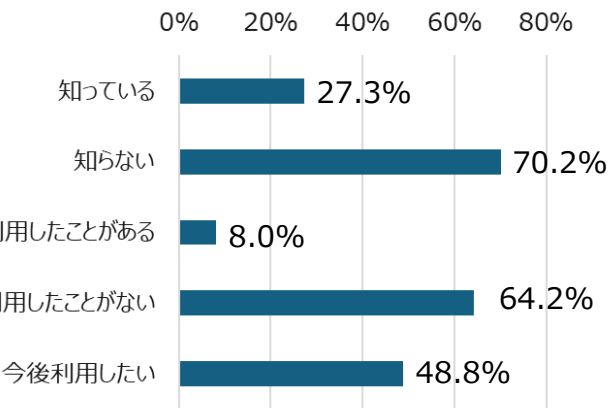
(n=84)

	回答数	割合
知っている	71	84.5%
知らない	4	4.7%
これまでに利用したことがある	36	42.8%
これまでに利用したことがない	32	38.1%
今後利用したい	56	66.6%



問17(7)	よろん子育て応援サイト
複数回答	

	(n=84)	
	回答数	割合
知っている	23	27.3%
知らない	59	70.2%
これまでに利用したことがある	7	8.0%
これまでに利用したことがない	54	64.2%
今後利用したい	41	48.8%

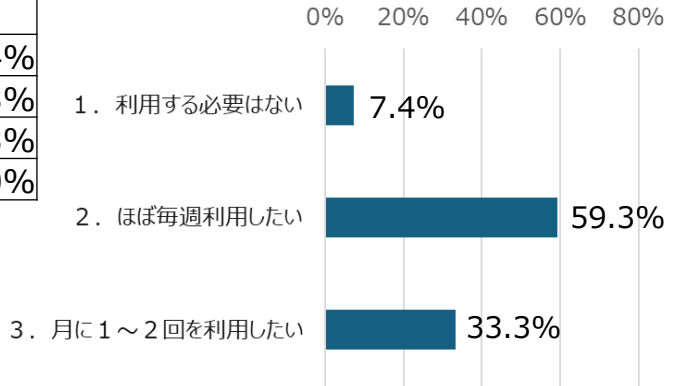


7 土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望

問18	土曜日・日曜日・祝日や長期休暇中の「定期的」なこども園の利用希望
単数回答	

問18(1)	土曜日の定期的なこども園の利用希望はあるか
単数回答	

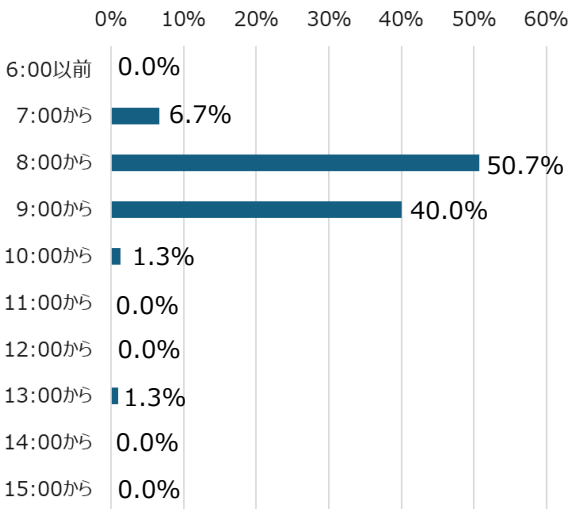
	回答数	割合
1. 利用する必要はない	6	7.4%
2. ほぼ毎週利用したい	48	59.3%
3. 月に1～2回を利用したい	27	33.3%
計	81	100.0%



「2.ほぼ毎週利用したい」、「3. 月に1～2回利用したい」を選択した回答者の希望利用時間

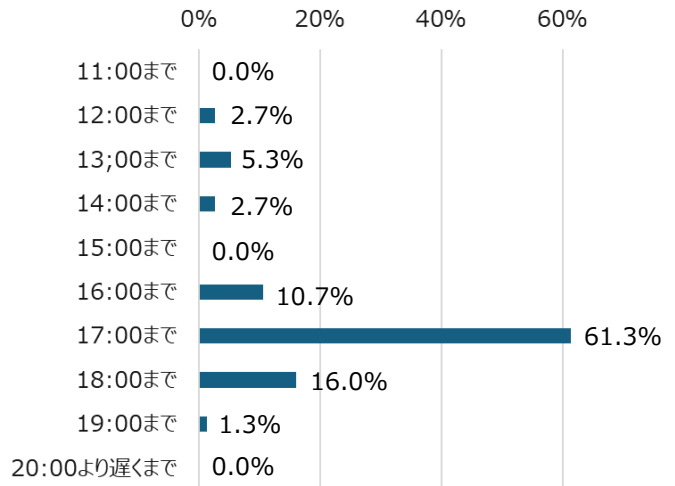
何時から

	回答数	割合
6:00以前	0	0.0%
7:00から	5	6.7%
8:00から	38	50.7%
9:00から	30	40.0%
10:00から	1	1.3%
11:00から	0	0.0%
12:00から	0	0.0%
13:00から	1	1.3%
14:00から	0	0.0%
15:00から	0	0.0%
計	75	100.0%



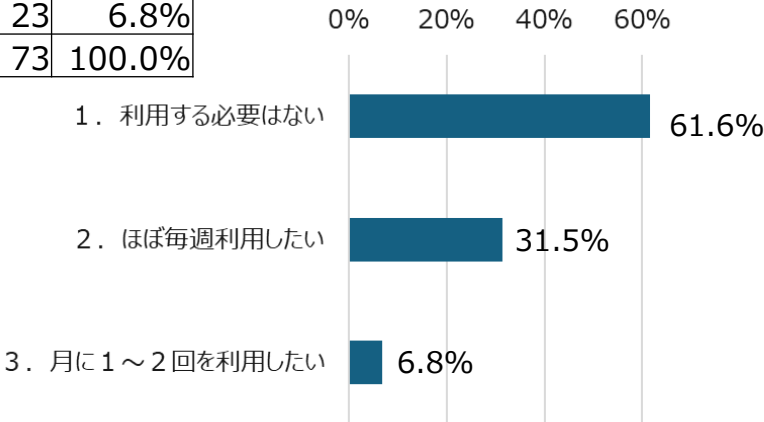
何時まで

	回答数	割合
11:00まで	0	0.0%
12:00まで	2	2.7%
13:00まで	4	5.3%
14:00まで	2	2.7%
15:00まで	0	0.0%
16:00まで	8	10.7%
17:00まで	46	61.3%
18:00まで	12	16.0%
19:00まで	1	1.3%
20:00より遅くまで	0	0.0%
計	75	100.0%



問18(2)	日曜日・祝日に定期的なこども園の利用希望はあるか
単数回答	

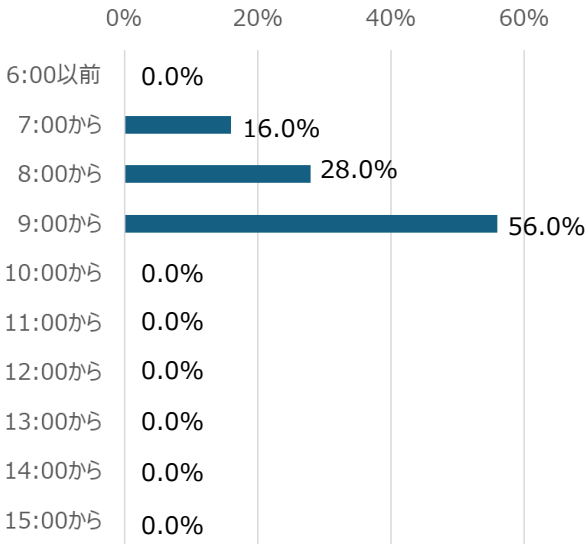
	回答数	割合
1. 利用する必要はない	45	61.6%
2. ほぼ毎週利用したい	5	31.5%
3. 月に1～2回を利用したい	23	6.8%
計	73	100.0%



「2.ほぼ毎週利用したい」、「3. 月に1～2回利用したい」を選択した回答者の希望利用時間

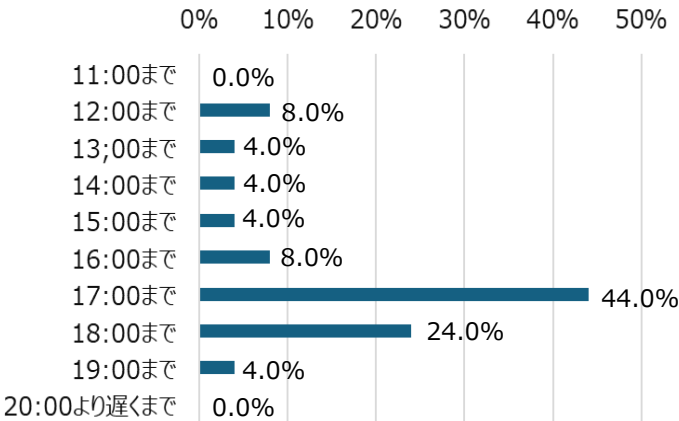
何時から

	回答数	割合
6:00以前	0	0.0%
7:00から	4	16.0%
8:00から	7	28.0%
9:00から	14	56.0%
10:00から	0	0.0%
11:00から	0	0.0%
12:00から	0	0.0%
13:00から	0	0.0%
14:00から	0	0.0%
15:00から	0	0.0%
計	25	100.0%

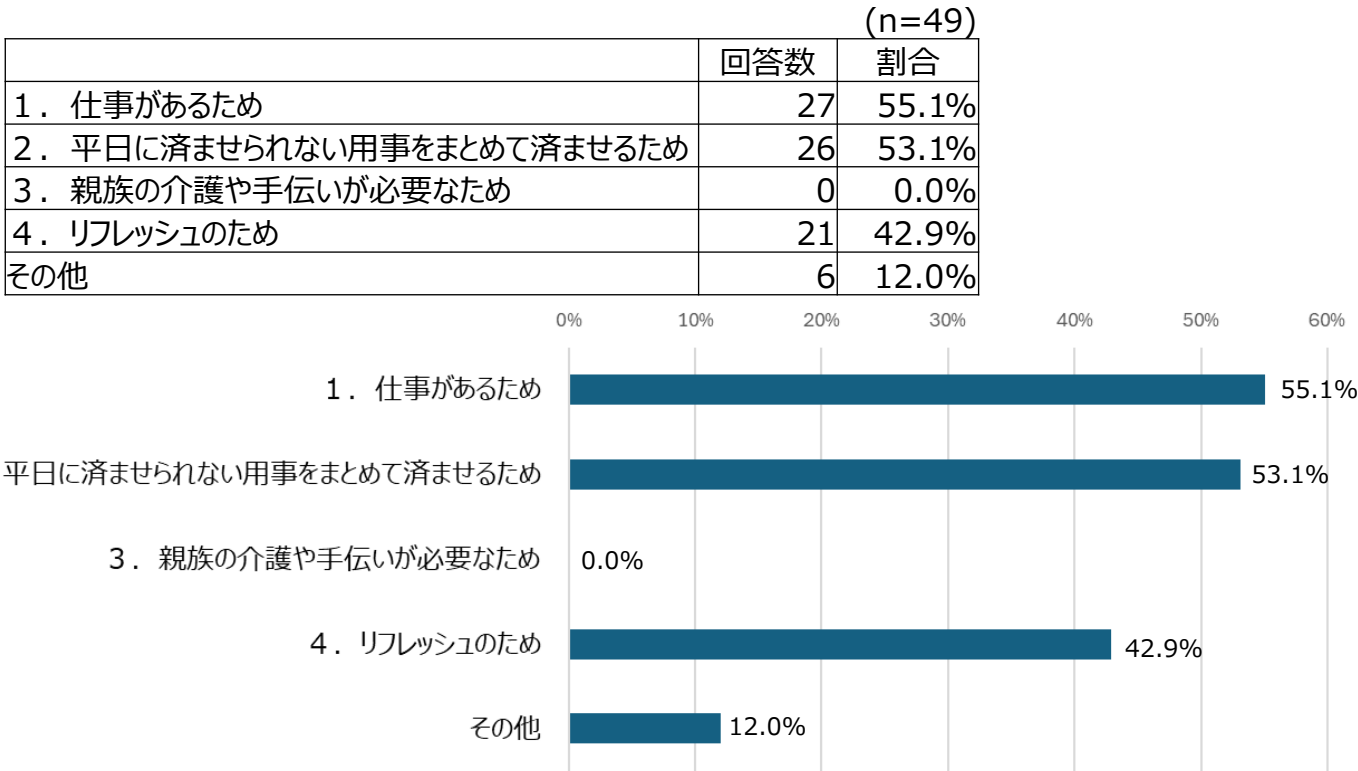


何時まで

	回答数	割合
11:00まで	0	0.0%
12:00まで	2	8.0%
13:00まで	1	4.0%
14:00まで	1	4.0%
15:00まで	1	4.0%
16:00まで	2	8.0%
17:00まで	11	44.0%
18:00まで	6	24.0%
19:00まで	1	4.0%
20:00より遅くまで	0	0.0%
計	25	100.0%



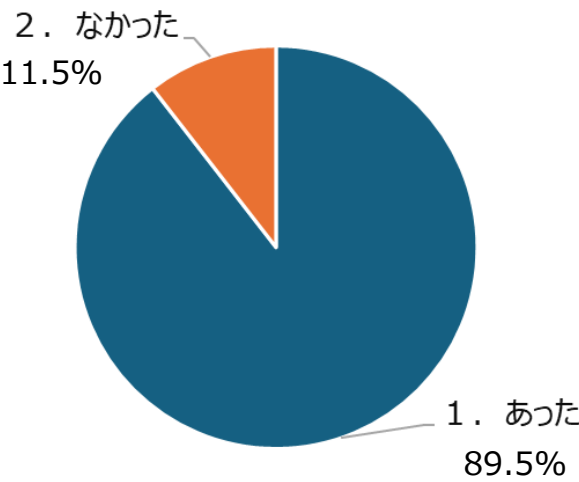
問18(3)	土曜日・日曜日・祝日に、定期的にこども園を利用したい理由
複数回答	



8 子どもが病気の際の対応

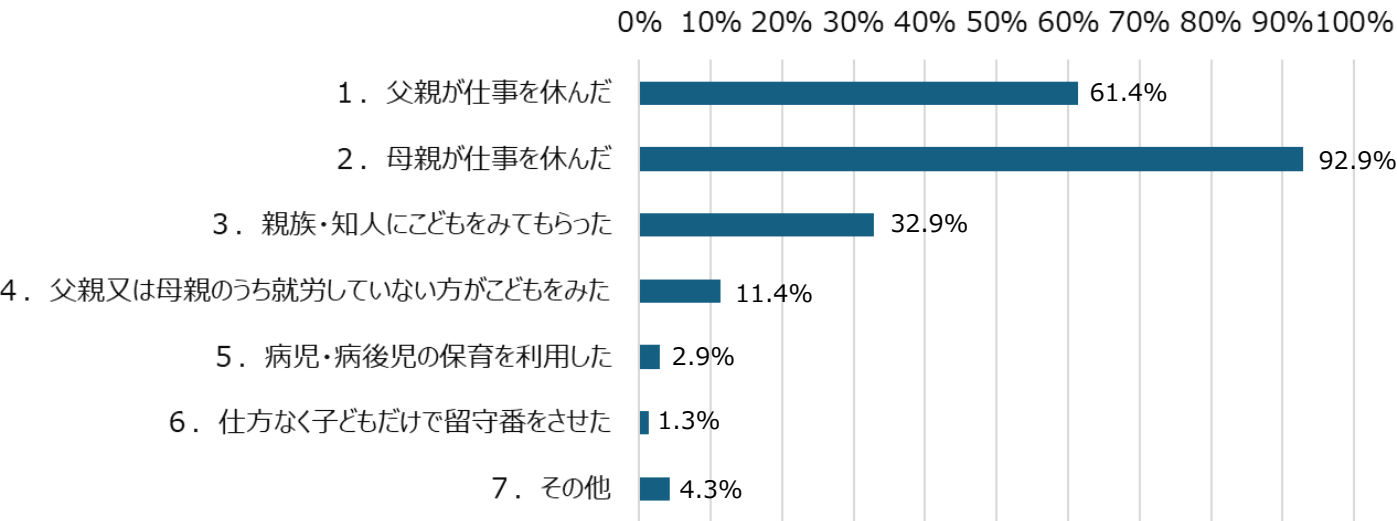
問19	この1年間に子どもの病気やけがで普段利用しているこども園が利用できなかったことはあるか
単数回答	

	回答数	割合
1. あった	68	89.5%
2. なかった	8	11.5%
計	76	100.0%



問19(1)	こども園を利用できなかったときの対処法
複数回答	

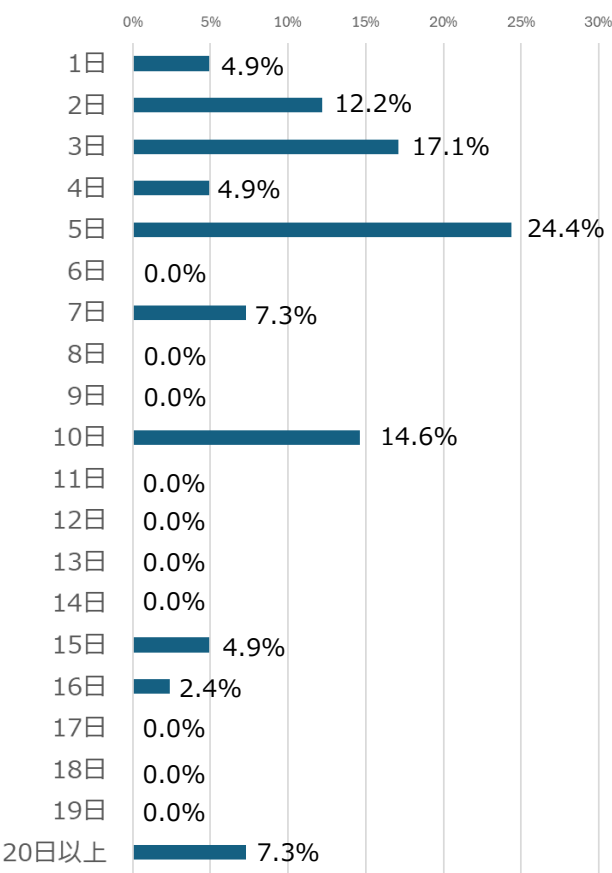
(n=70)		
	回答数	割合
1. 父親が仕事を休んだ	43	61.4%
2. 母親が仕事を休んだ	65	92.9%
3. (同居者を含む) 親族・知人にこどもをみてもらった	23	32.9%
4. 父親又は母親のうち就労していない方がこどもをみた	8	11.4%
5. 病児・病後児の保育を利用した	2	2.9%
6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	1.4%
7. その他	3	4.3%



各選択肢において、対処にかかった日数

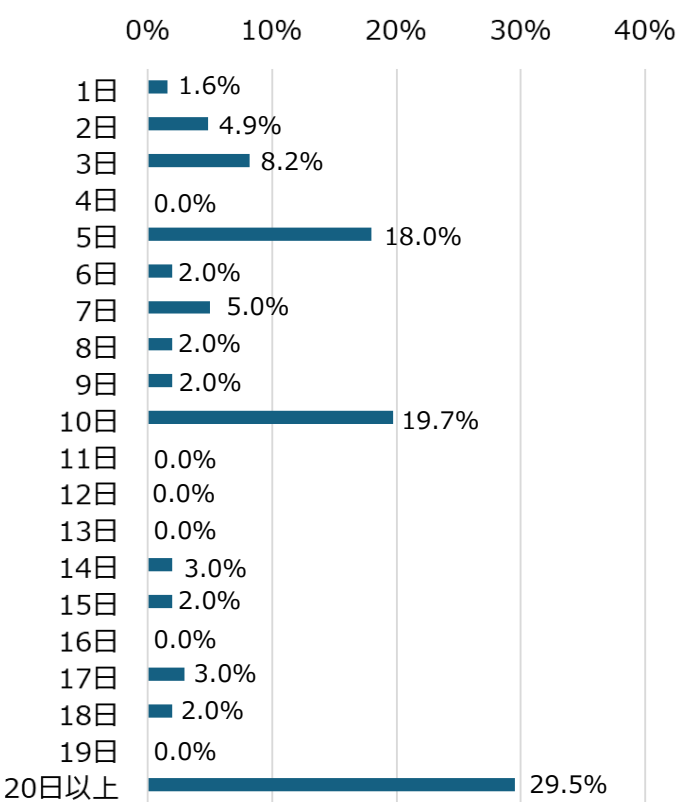
1. 父親が仕事を休んだ

	回答数	割合
1日	2	4.9%
2日	5	12.2%
3日	7	17.1%
4日	2	4.9%
5日	10	24.4%
6日	0	0.0%
7日	3	7.3%
8日	0	0.0%
9日	0	0.0%
10日	6	14.6%
11日	0	0.0%
12日	0	0.0%
13日	0	0.0%
14日	0	0.0%
15日	2	4.9%
16日	1	2.4%
17日	0	0.0%
18日	0	0.0%
19日	0	0.0%
20日以上	3	7.3%
計	41	100.0%



2. 母親が仕事を休んだ

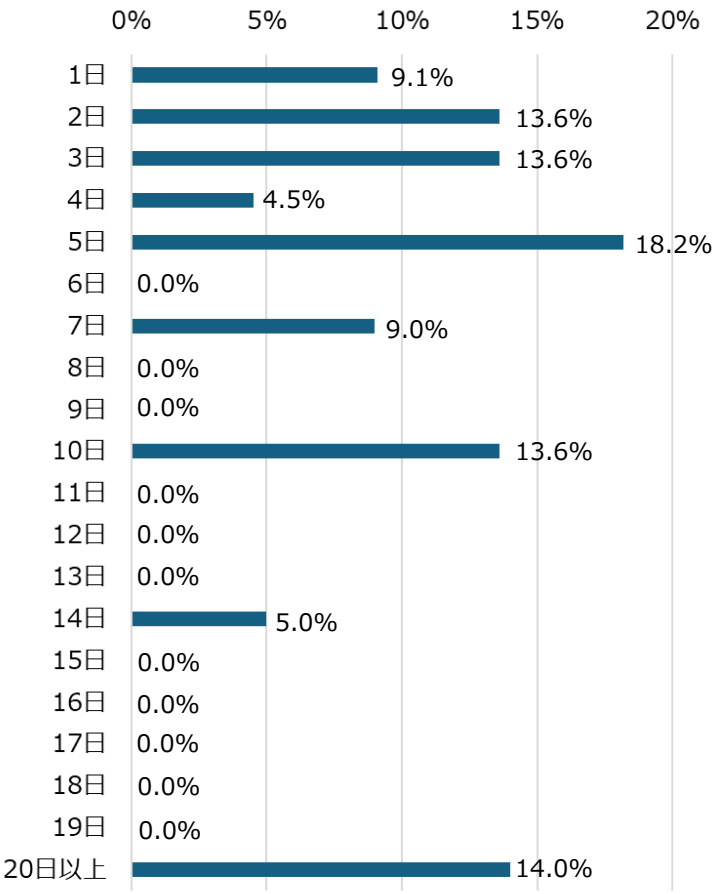
	回答数	割合
1日	1	1.6%
2日	3	4.9%
3日	5	8.2%
4日	0	0.0%
5日	11	18.0%
6日	1	2.0%
7日	3	5.0%
8日	1	2.0%
9日	1	2.0%
10日	12	19.7%
11日	0	0.0%
12日	0	0.0%
13日	0	0.0%
14日	1	2.0%
15日	1	2.0%
16日	0	0.0%
17日	2	3.0%
18日	1	2.0%
19日	0	0.0%
20日以上	18	29.5%
計	61	100.0%



各選択肢において、対処にかかった日数

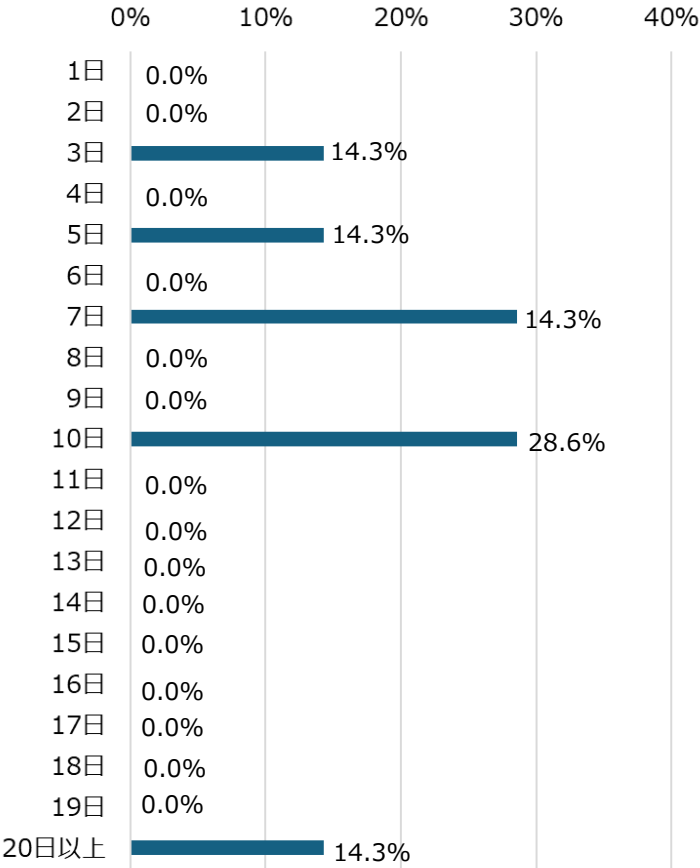
3. 親族・知人に子どもをみてもらった

	回答数	割合
1日	2	9.1%
2日	3	13.6%
3日	3	13.6%
4日	1	4.5%
5日	4	18.2%
6日	0	0.0%
7日	2	9.0%
8日	0	0.0%
9日	0	0.0%
10日	3	13.6%
11日	0	0.0%
12日	0	0.0%
13日	0	0.0%
14日	1	5.0%
15日	0	0.0%
16日	0	0.0%
17日	0	0.0%
18日	0	0.0%
19日	0	0.0%
20日以上	3	14.0%
計	22	100.0%



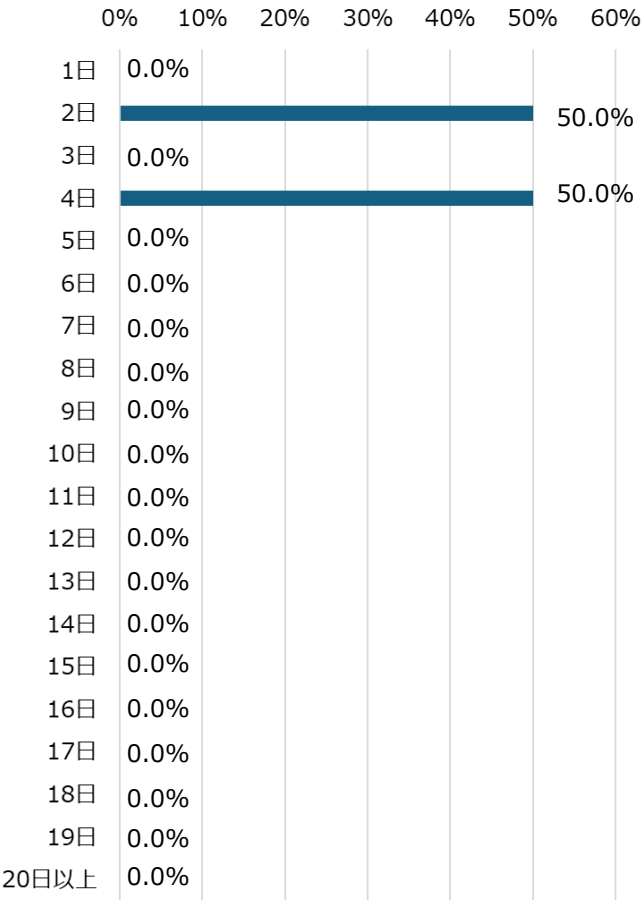
4. 病児、病後児の保育を利用した

	回答数	割合
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	1	14.3%
4日	0	0.0%
5日	1	14.3%
6日	0	0.0%
7日	2	28.6%
8日	0	0.0%
9日	0	0.0%
10日	2	28.6%
11日	0	0.0%
12日	0	0.0%
13日	0	0.0%
14日	0	0.0%
15日	0	0.0%
16日	0	0.0%
17日	0	0.0%
18日	0	0.0%
19日	0	0.0%
20日以上	1	14.3%
計	7	100.0%



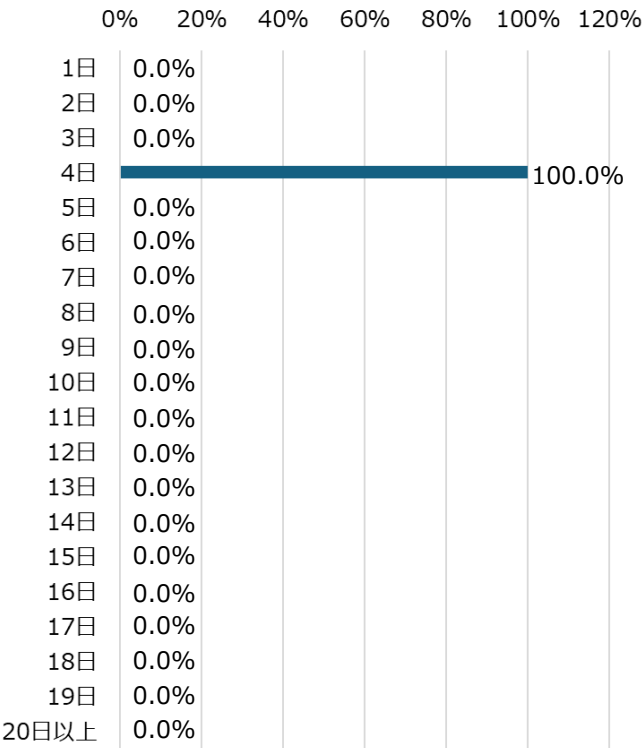
5. 病児・病後児の保育を利用した

	回答数	割合
1日	0	0.0%
2日	1	50.0%
3日	0	0.0%
4日	1	50.0%
5日	0	0.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
8日	0	0.0%
9日	0	0.0%
10日	0	0.0%
11日	0	0.0%
12日	0	0.0%
13日	0	0.0%
14日	0	0.0%
15日	0	0.0%
16日	0	0.0%
17日	0	0.0%
18日	0	0.0%
19日	0	0.0%
20日以上	0	0.0%
計	2	100.0%



6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

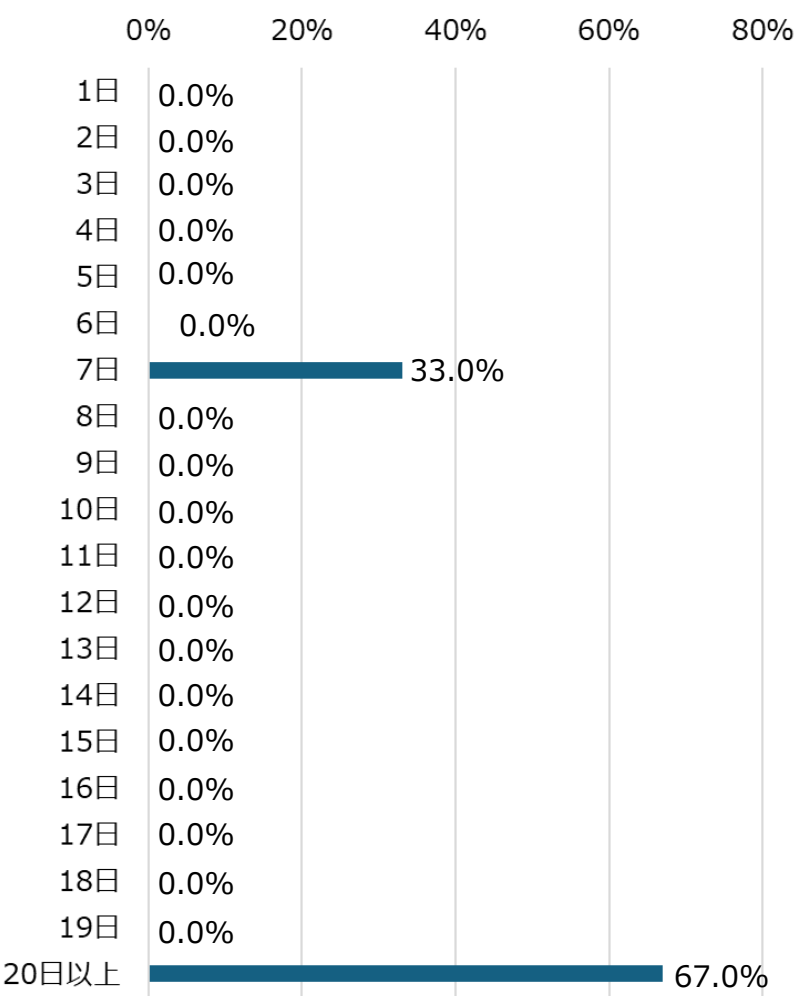
	回答数	割合
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	0	0.0%
4日	1	100.0%
5日	0	0.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
8日	0	0.0%
9日	0	0.0%
10日	0	0.0%
11日	0	0.0%
12日	0	0.0%
13日	0	0.0%
14日	0	0.0%
15日	0	0.0%
16日	0	0.0%
17日	0	0.0%
18日	0	0.0%
19日	0	0.0%
20日以上	0	0.0%
計	1	100.0%



各選択肢において、対処にかかった日数

7. その他

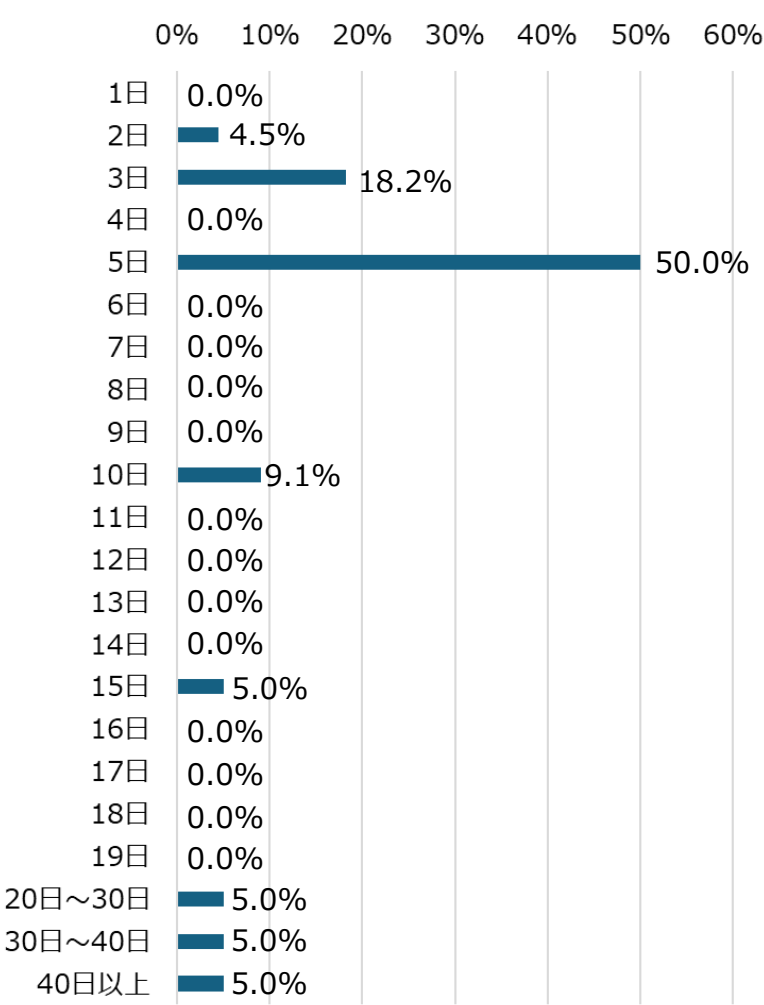
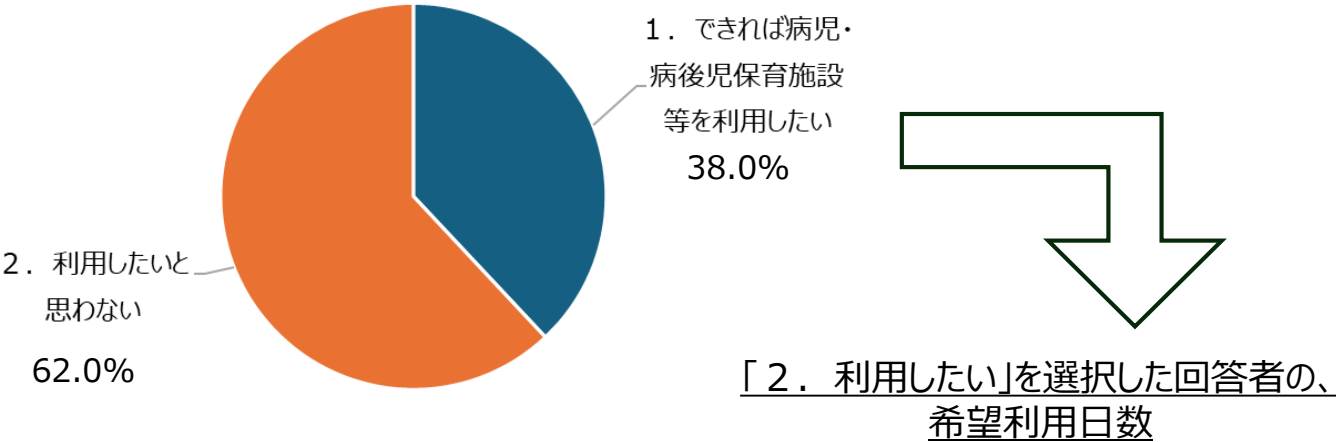
	回答数	割合
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	0	0.0%
6日	0	0.0%
7日	1	33.0%
8日	0	0.0%
9日	0	0.0%
10日	0	0.0%
11日	0	0.0%
12日	0	0.0%
13日	0	0.0%
14日	0	0.0%
15日	0	0.0%
16日	0	0.0%
17日	0	0.0%
18日	0	0.0%
19日	0	0.0%
20日以上	2	67.0%
計	3	100.0%



- ・在宅勤務のため、仕事しながら母親が子供を見ていた。通院時には仕事は時間休を取得した
- ・自営業なので、子供を見ながら仕事をした

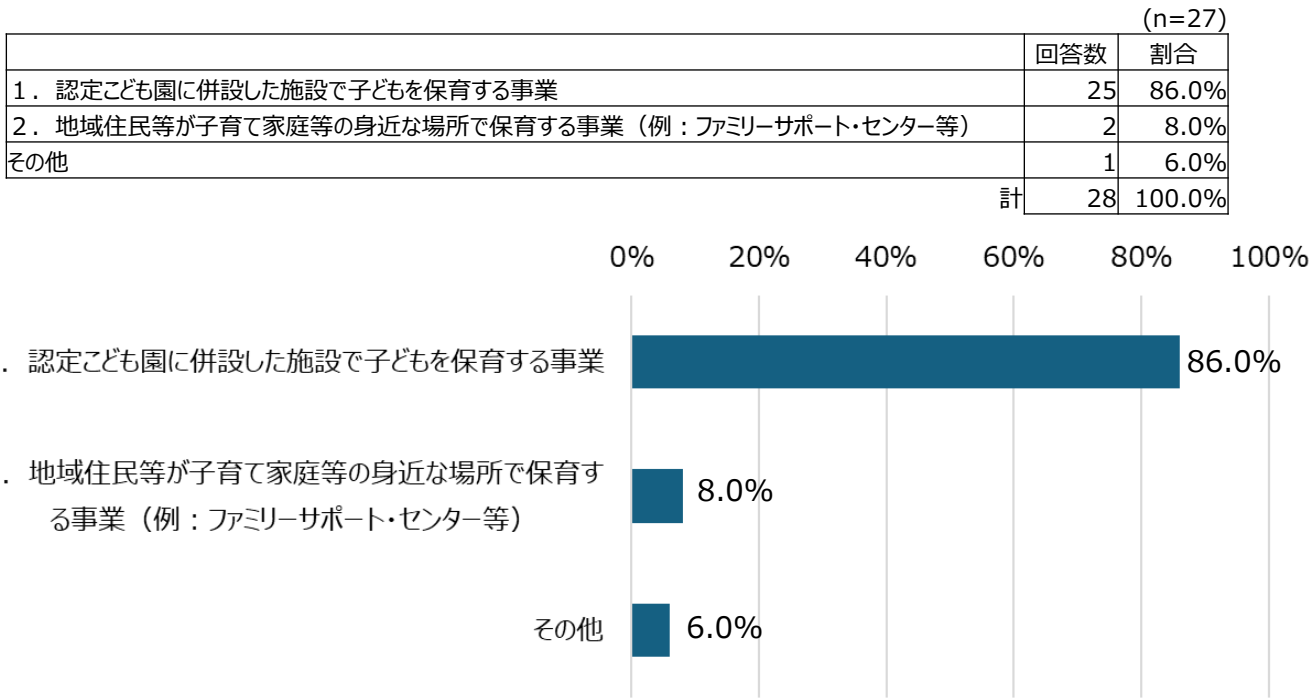
問19(2)	「できれば病児・病後児のための保育事業を利用したい」と思ったか
単数回答	

	回答数	割合
1．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	26	38.0%
2．利用したいと思わない	42	62.0%
計	68	100.0%

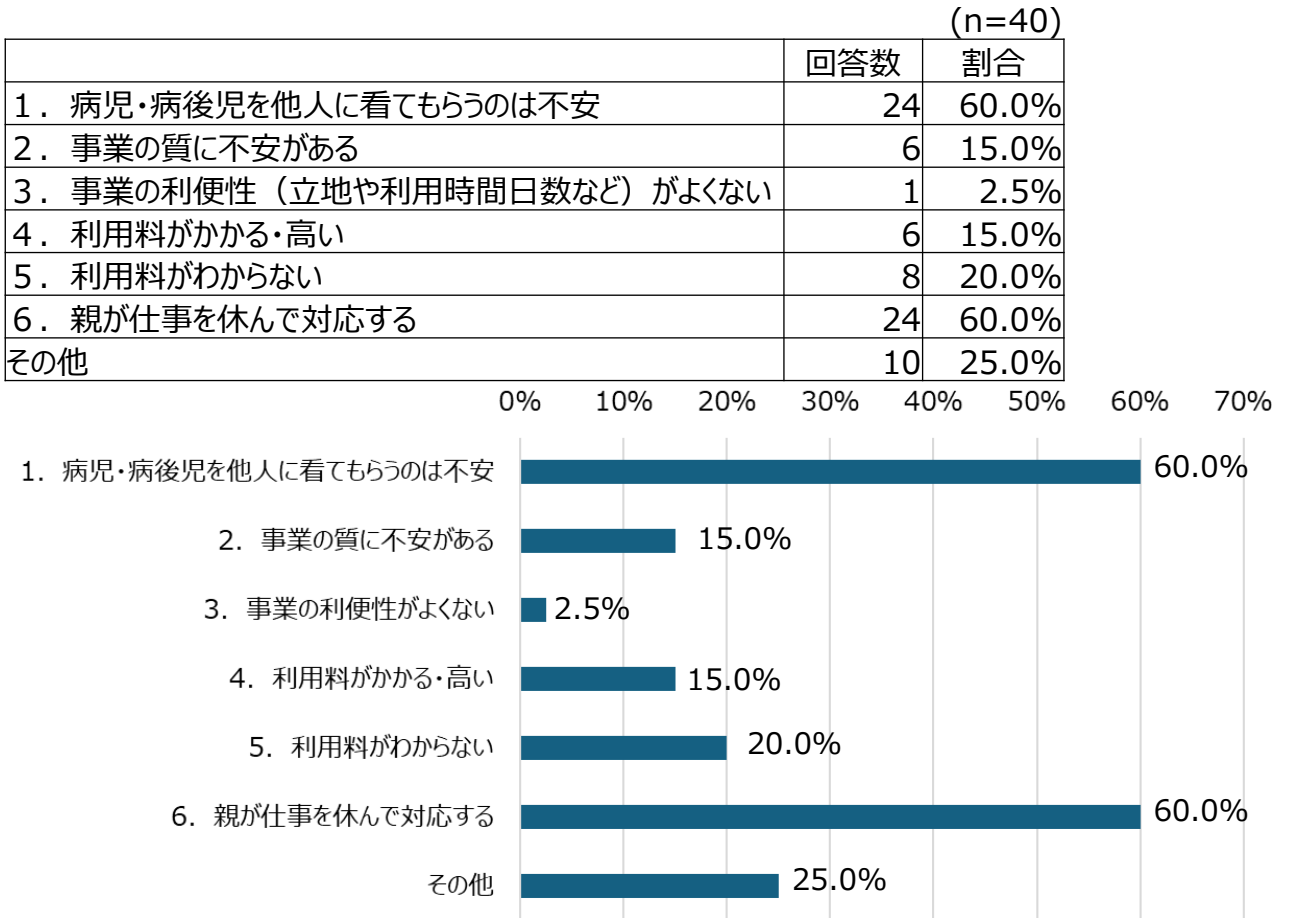


	回答数	割合
1日	0	0.0%
2日	1	4.5%
3日	4	18.2%
4日	0	0.0%
5日	11	50.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
8日	0	0.0%
9日	0	0.0%
10日	2	9.1%
11日	0	0.0%
12日	0	0.0%
13日	0	0.0%
14日	0	0.0%
15日	1	5.0%
16日	0	0.0%
17日	0	0.0%
18日	0	0.0%
19日	0	0.0%
20日～30日	1	5.0%
30日～40日	1	5.0%
40日以上	1	5.0%
計	22	100.0%

問19(3)	病児・病後児の目的で子どもを預かる場合、どの事業形態が望ましいと思うか
複数回答	

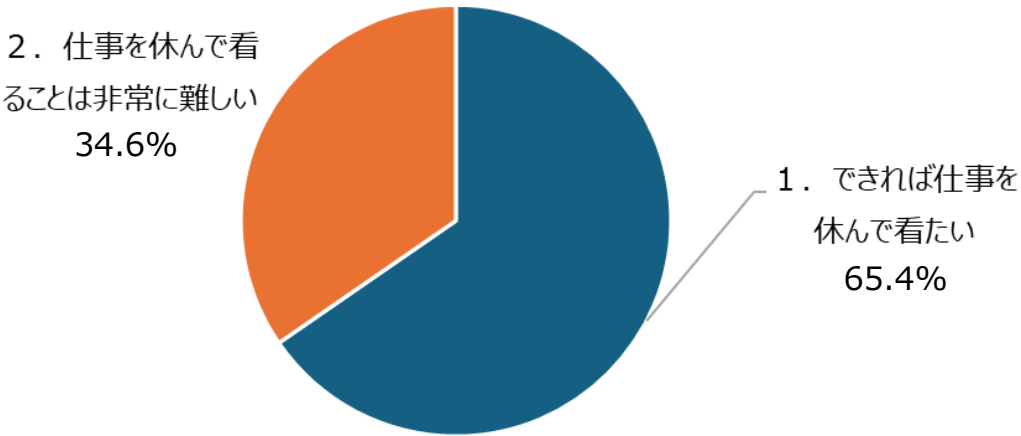


問19(4)	病児、病後児保育を利用したいと思わない理由
複数回答	



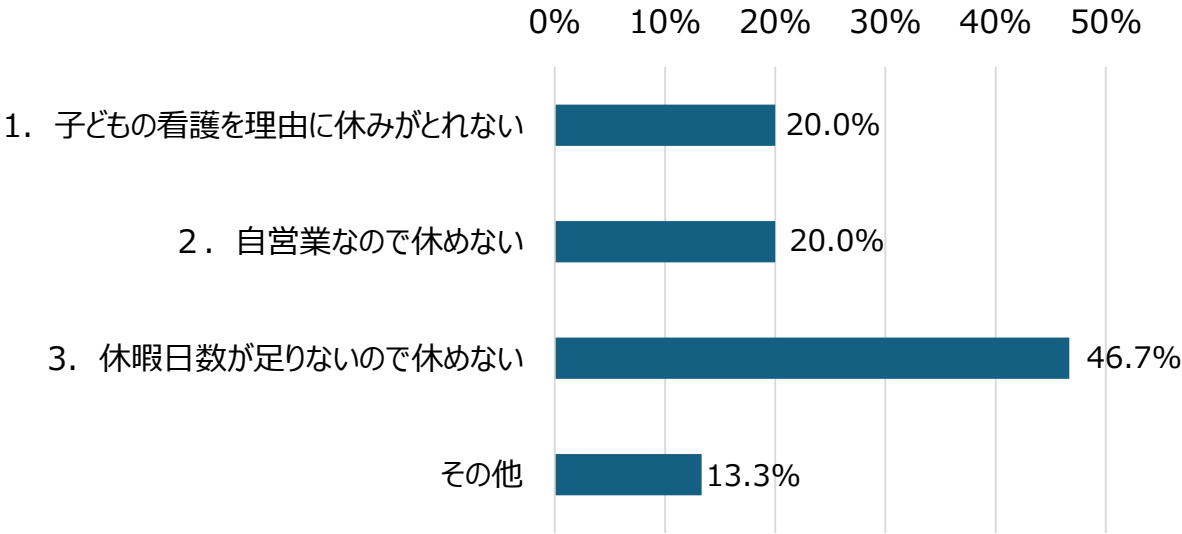
問19(5)	「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか
単数回答	

	回答数	割合
1. できれば仕事を休んで看たい	17	65.4%
2. 仕事を休んで看することは非常に難しい	9	34.6%
計	26	100.0%



問19(6)	「2.休んで看することは非常に難しい」と思う理由
複数回答	

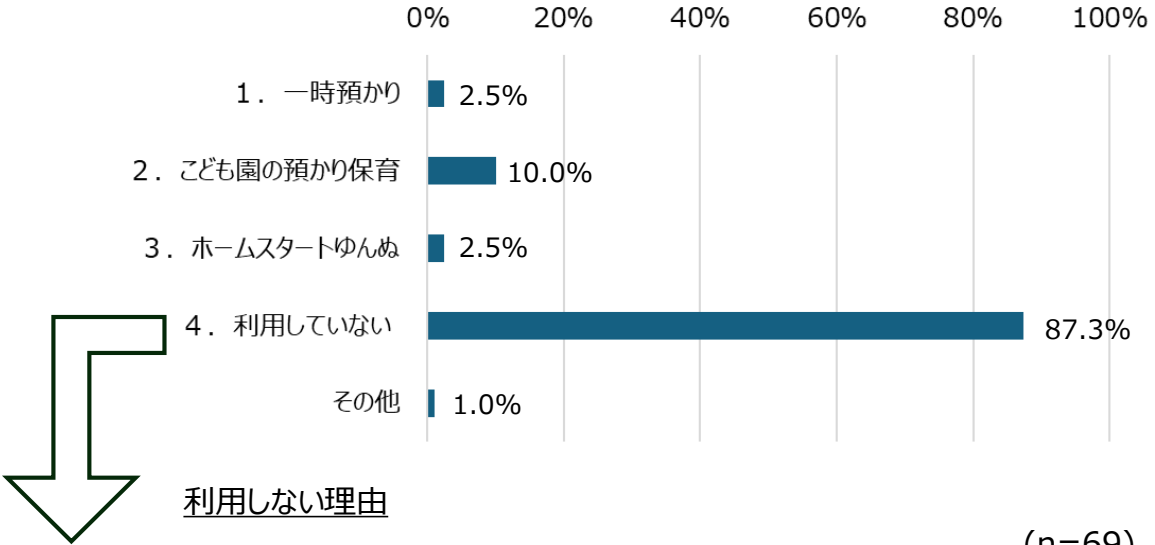
	回答数	割合
1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	3	20.0%
2. 自営業なので休めない	3	20.0%
3. 休暇日数が足りないので休めない	7	46.7%
その他	2	13.3%



9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用

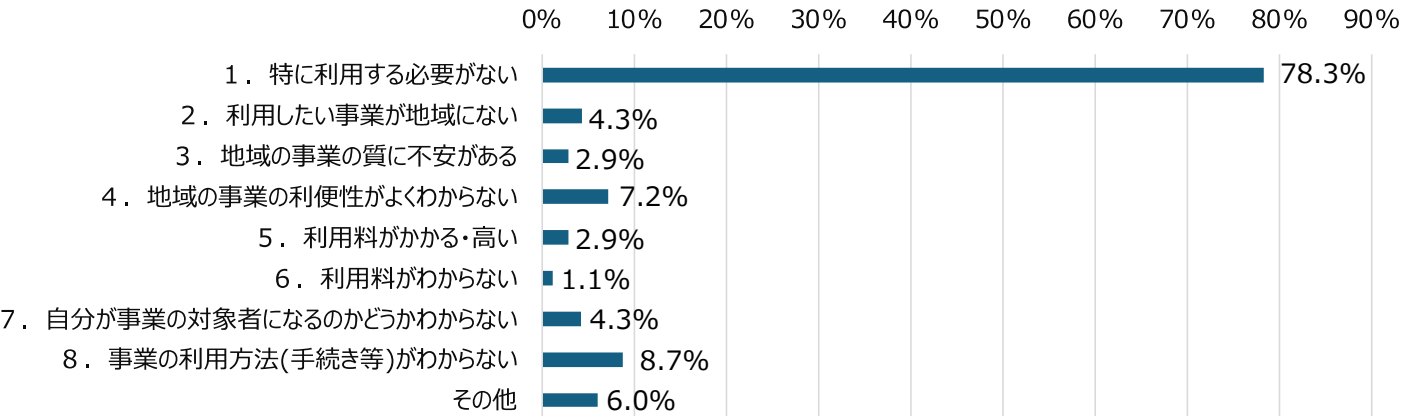
問20	私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はあるか
単数回答	

	回答数	割合
1. 一時預かり（使用など理由を問わずにこども園などで一時的に子どもを保育する事業）	2	2.5%
2. こども園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	8	10.0%
3. ホームスタートゆんぬ（家庭訪問型のサポート事業）	2	2.5%
4. 利用していない	68	87.3%
その他	1	1.0%



(n=69)

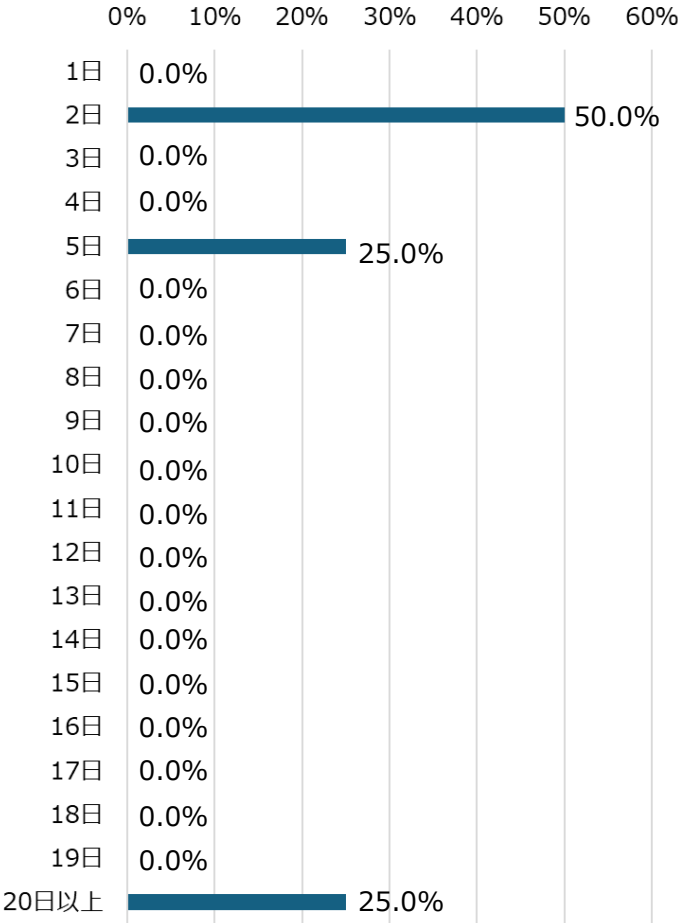
	回答数	割合
1. 特に利用する必要がない	54	78.3%
2. 利用したい事業が地域にない	3	4.3%
3. 地域の事業の質に不安がある	2	2.9%
4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくわからない	5	7.2%
5. 利用料がかかる・高い	2	2.9%
6. 利用料がわからない	6	1.1%
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない	12	4.3%
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない	6	8.7%
その他	5	6.0%



各選択肢において、1年間あたりの利用日数

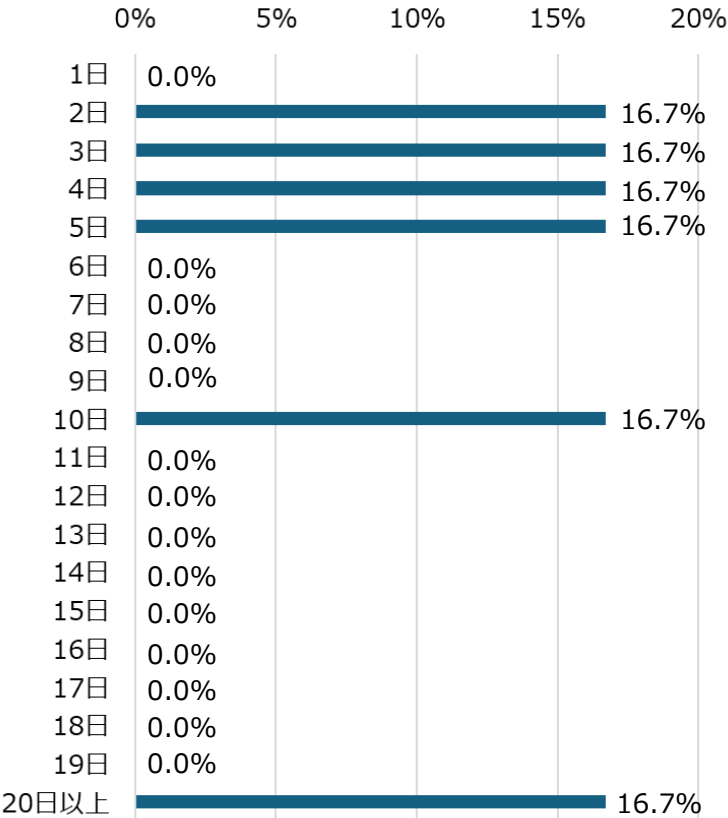
1. 一時預かり

	回答数	割合
1日	0	0.0%
2日	2	50.0%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	1	25.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
8日	0	0.0%
9日	0	0.0%
10日	0	0.0%
11日	0	0.0%
12日	0	0.0%
13日	0	0.0%
14日	0	0.0%
15日	0	0.0%
16日	0	0.0%
17日	0	0.0%
18日	0	0.0%
19日	0	0.0%
20日以上	1	25.0%
計	4	100.0%



2. こども園の預かり保育

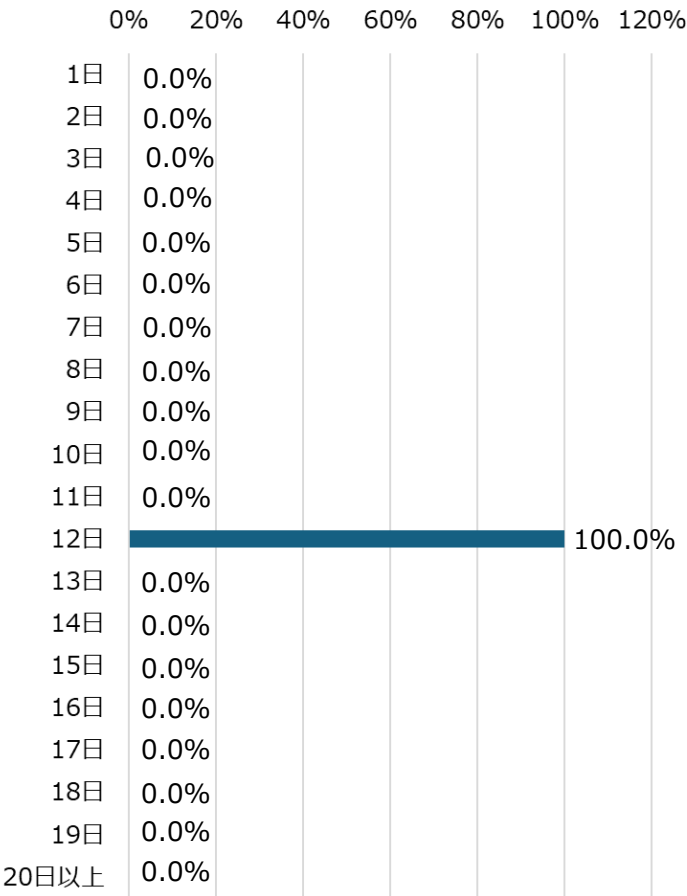
	回答数	割合
1日	0	0.0%
2日	1	16.7%
3日	1	16.7%
4日	1	16.7%
5日	1	16.7%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
8日	0	0.0%
9日	0	0.0%
10日	1	16.7%
11日	0	0.0%
12日	0	0.0%
13日	0	0.0%
14日	0	0.0%
15日	0	0.0%
16日	0	0.0%
17日	0	0.0%
18日	0	0.0%
19日	0	0.0%
20日以上	1	16.7%
計	6	100.0%



各選択肢において、1年間あたりの利用日数

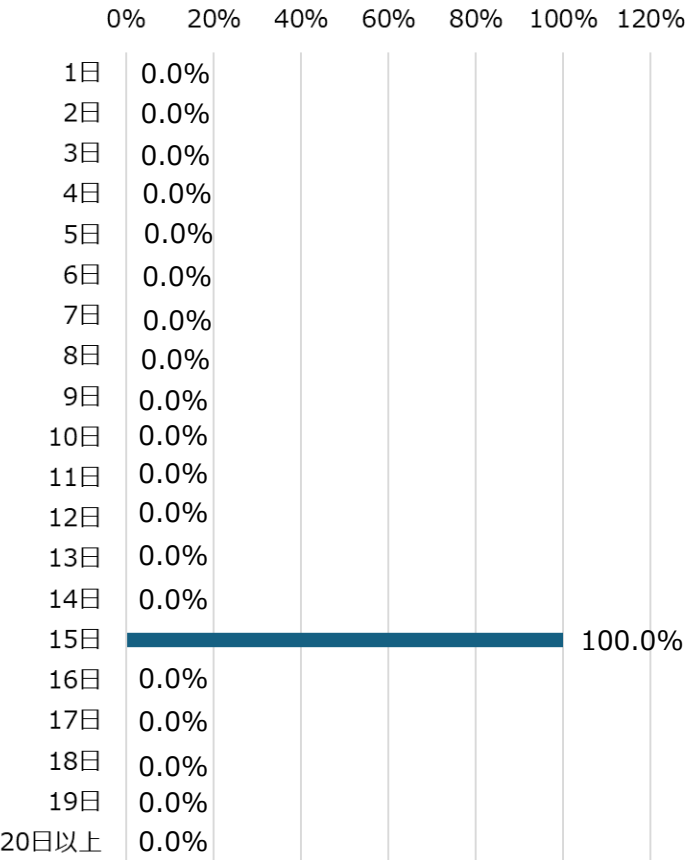
3. ホームスタートゆんめ

	回答数	割合
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	0	0.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
8日	0	0.0%
9日	0	0.0%
10日	0	0.0%
11日	0	0.0%
12日	1	100.0%
13日	0	0.0%
14日	0	0.0%
15日	0	0.0%
16日	0	0.0%
17日	0	0.0%
18日	0	0.0%
19日	0	0.0%
20日以上	0	0.0%
計	1	100.0%



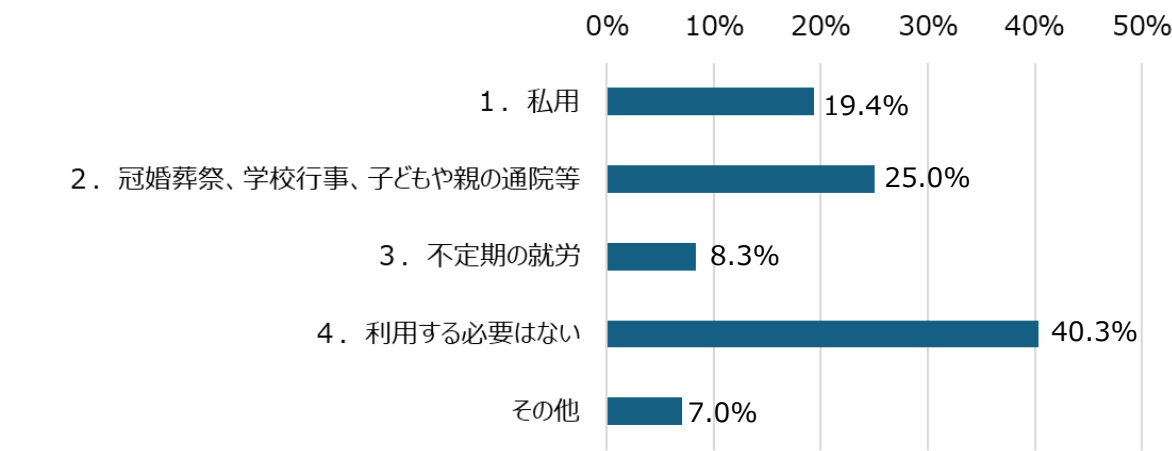
4. その他

	回答数	割合
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	0	0.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
8日	0	0.0%
9日	0	0.0%
10日	0	0.0%
11日	0	0.0%
12日	0	0.0%
13日	0	0.0%
14日	0	0.0%
15日	1	100.0%
16日	0	0.0%
17日	0	0.0%
18日	0	0.0%
19日	0	0.0%
20日以上	0	0.0%
計	1	100.0%



問21	どのような目的で利用する必要があると思うか
複数回答	

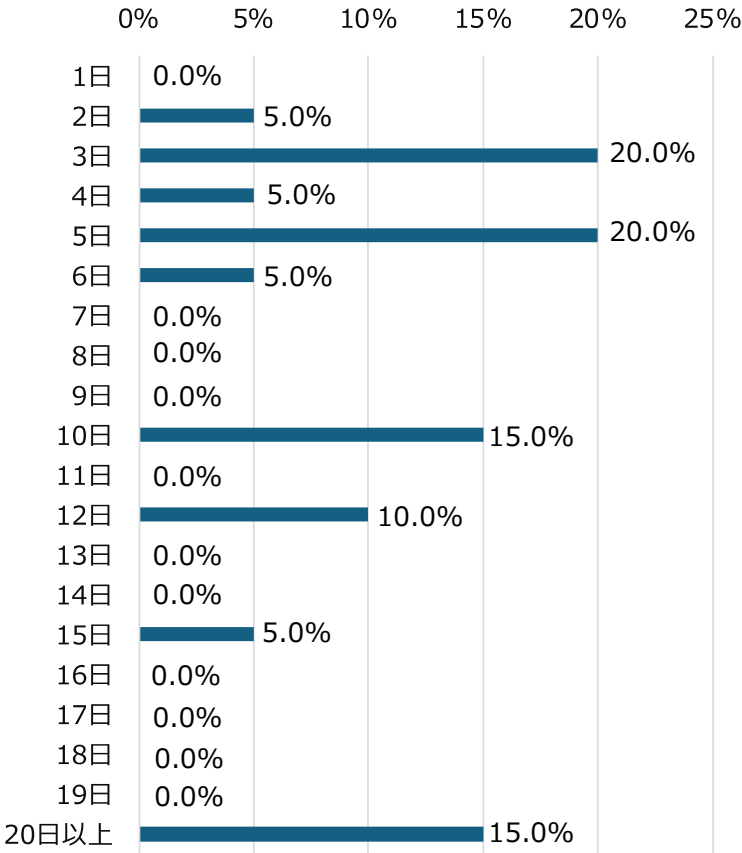
(n=70)		
	回答数	割合
1. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）	14	19.4%
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	18	25.0%
3. 不定期の就労	6	8.3%
4. 利用する必要はない	29	40.3%
その他	5	7.0%
計	72	100.0%



各選択肢において、利用する日数

1. 私用

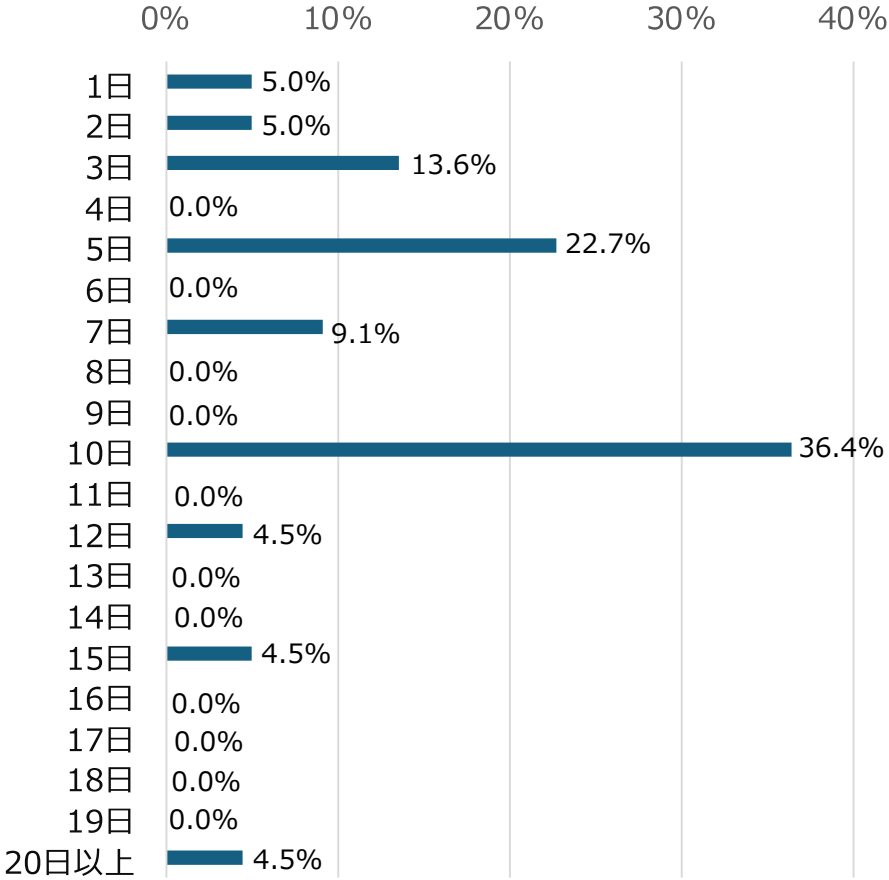
	回答数	割合
1日	0	0.0%
2日	1	5.0%
3日	4	20.0%
4日	1	5.0%
5日	4	20.0%
6日	1	5.0%
7日	0	0.0%
8日	0	0.0%
9日	0	0.0%
10日	3	15.0%
11日	0	0.0%
12日	2	10.0%
13日	0	0.0%
14日	0	0.0%
15日	1	5.0%
16日	0	0.0%
17日	0	0.0%
18日	0	0.0%
19日	0	0.0%
20日以上	3	15.0%
計	20	100.0%



各選択肢において、利用する日数

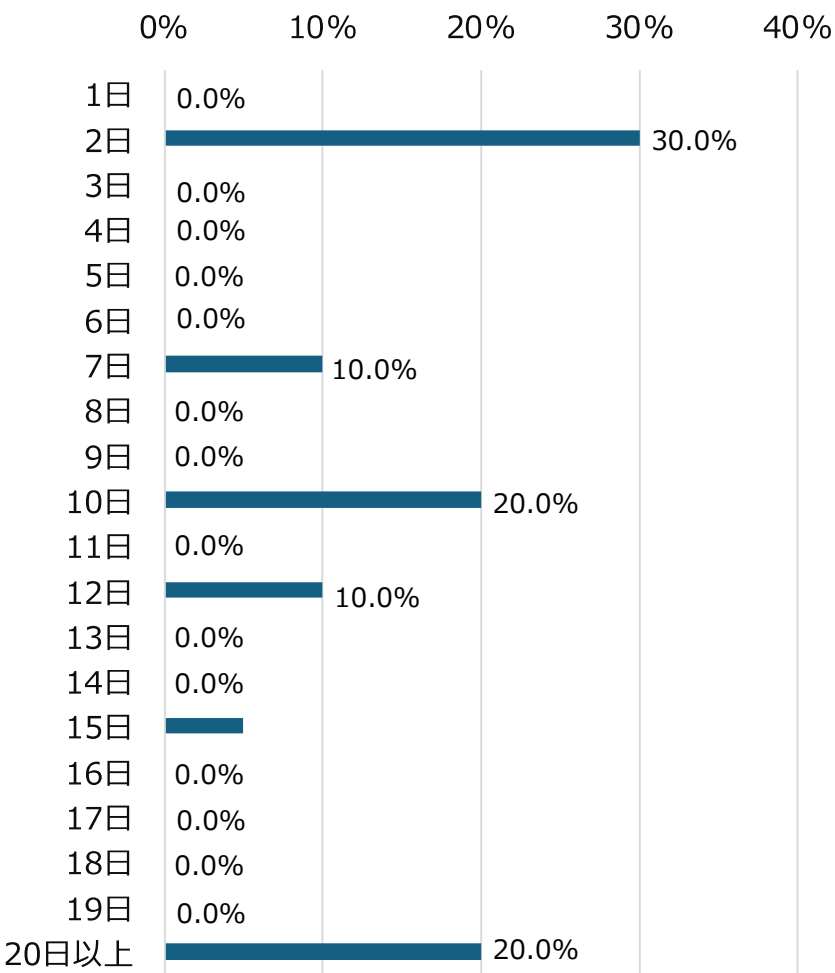
2. 冠婚葬祭

	回答数	割合
1日	1	5.0%
2日	1	5.0%
3日	3	13.6%
4日	0	0.0%
5日	4	22.7%
6日	0	0.0%
7日	2	9.1%
8日	0	0.0%
9日	0	0.0%
10日	8	36.4%
11日	0	0.0%
12日	1	4.5%
13日	0	0.0%
14日	0	0.0%
15日	1	5.0%
16日	0	0.0%
17日	0	0.0%
18日	0	0.0%
19日	0	0.0%
20日以上	1	4.5%
計	22	100.0%



3. 不定期の就労

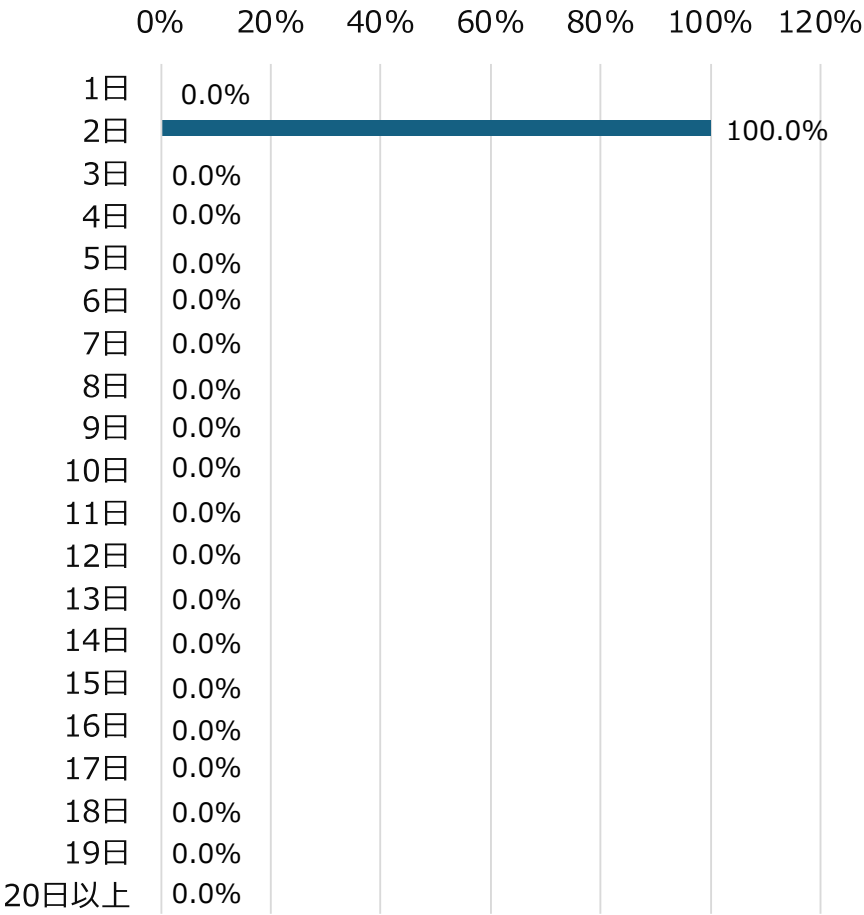
	回答数	割合
1日	0	0.0%
2日	3	30.0%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	0	0.0%
6日	0	0.0%
7日	1	10.0%
8日	0	0.0%
9日	0	0.0%
10日	2	20.0%
11日	0	0.0%
12日	1	10.0%
13日	0	0.0%
14日	0	0.0%
15日	1	5.0%
16日	0	0.0%
17日	0	0.0%
18日	0	0.0%
19日	0	0.0%
20日以上	2	20.0%
計	10	100.0%



各選択肢において、利用する日数

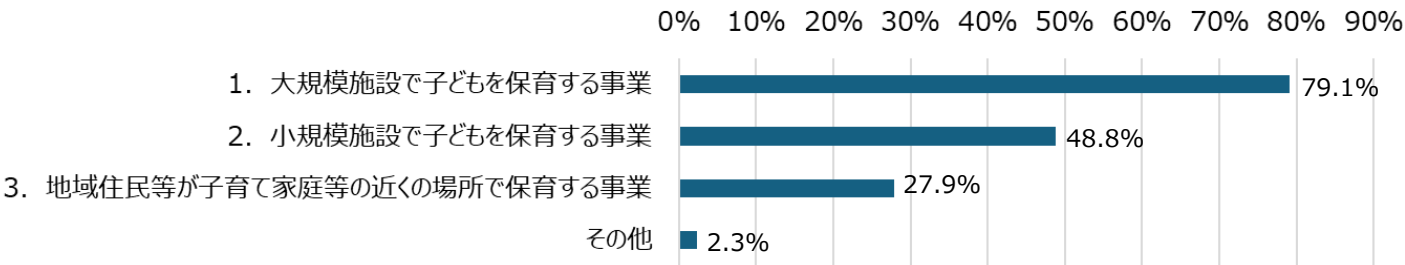
4. その他

	回答数	割合
1日	0	0.0%
2日	1	100.0%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	0	0.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
8日	0	0.0%
9日	0	0.0%
10日	0	0.0%
11日	0	0.0%
12日	0	0.0%
13日	0	0.0%
14日	0	0.0%
15日	0	0.0%
16日	0	0.0%
17日	0	0.0%
18日	0	0.0%
19日	0	0.0%
20日以上	0	0.0%
計	1	100.0%



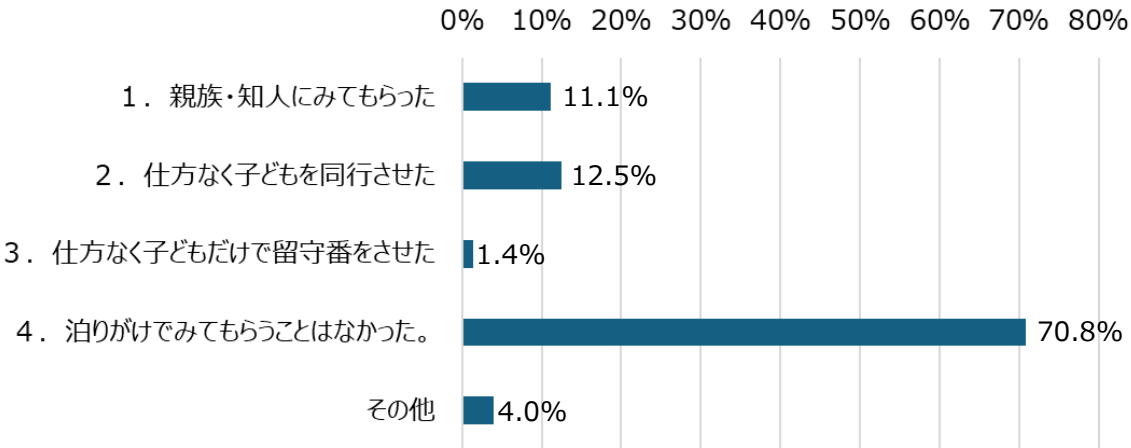
問21(1)	どの事業形態が望ましいと思うか
複数回答	

	回答数	割合
1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：認定こども園等）	34	79.1%
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）	21	48.8%
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリーサポート・センター等）	12	27.9%
その他	1	2.3%



問22	この1年間で、保護者の用事により子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはあったか
単数回答	

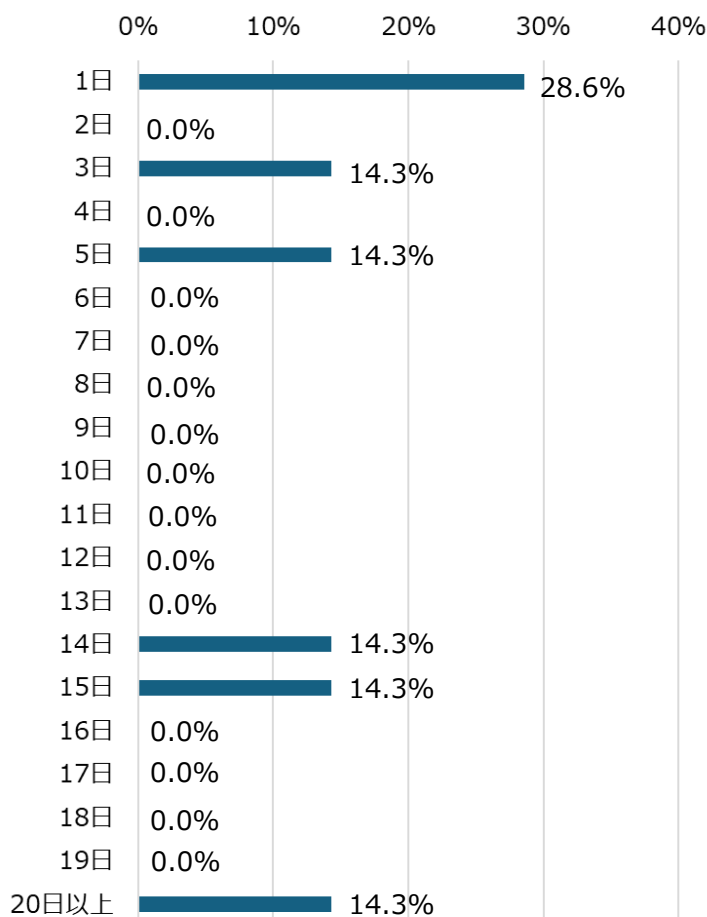
	回答数	割合
1. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	8	11.1%
2. 仕方なく子どもを同行させた	9	12.5%
3. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	1.4%
4. 泊りがけでみてもらうことはなかった。	53	70.8%
その他	3	4.0%
計	72	100.0%



各選択肢において、1年間あたりの利用日数

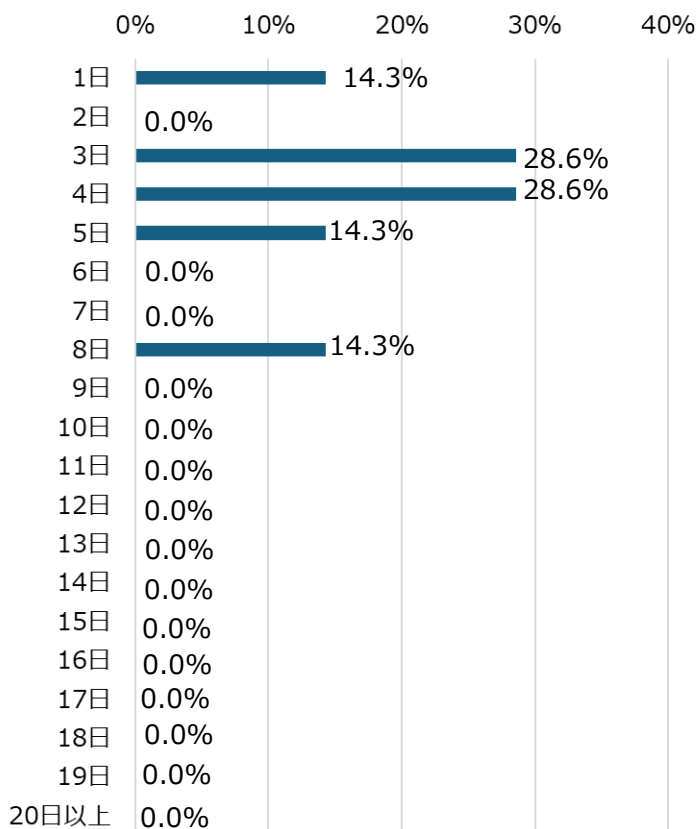
1. 親族・知人にみてもらった

	回答数	割合
1. 1日	2	28.6%
2. 2日	0	0.0%
3. 3日	1	14.3%
4. 4日	0	0.0%
5. 5日	1	14.3%
6. 6日	0	0.0%
7. 7日	0	0.0%
8. 8日	0	0.0%
9. 9日	0	0.0%
10. 10日	0	0.0%
11. 11日	0	0.0%
12. 12日	0	0.0%
13. 13日	0	0.0%
14. 14日	1	14.3%
15. 15日	1	14.3%
16. 16日	0	0.0%
17. 17日	0	0.0%
18. 18日	0	0.0%
19. 19日	0	0.0%
20. 20日以上	1	14.3%
計	7	100.0%



2. 仕方なく子どもを同行させた

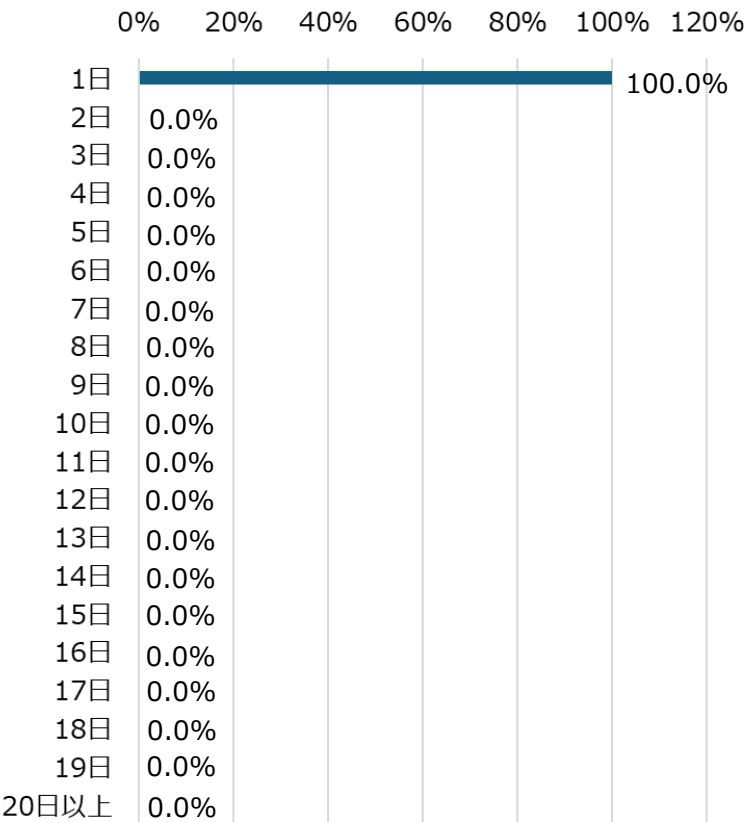
	回答数	割合
1. 1日	1	14.3%
2. 2日	0	0.0%
3. 3日	2	28.6%
4. 4日	2	28.6%
5. 5日	1	14.3%
6. 6日	0	0.0%
7. 7日	0	0.0%
8. 8日	1	14.3%
9. 9日	0	0.0%
10. 10日	0	0.0%
11. 11日	0	0.0%
12. 12日	0	0.0%
13. 13日	0	0.0%
14. 14日	0	0.0%
15. 15日	0	0.0%
16. 16日	0	0.0%
17. 17日	0	0.0%
18. 18日	0	0.0%
19. 19日	0	0.0%
20. 20日以上	0	0.0%
計	7	100.0%



各選択肢において、1年間あたりの利用日数

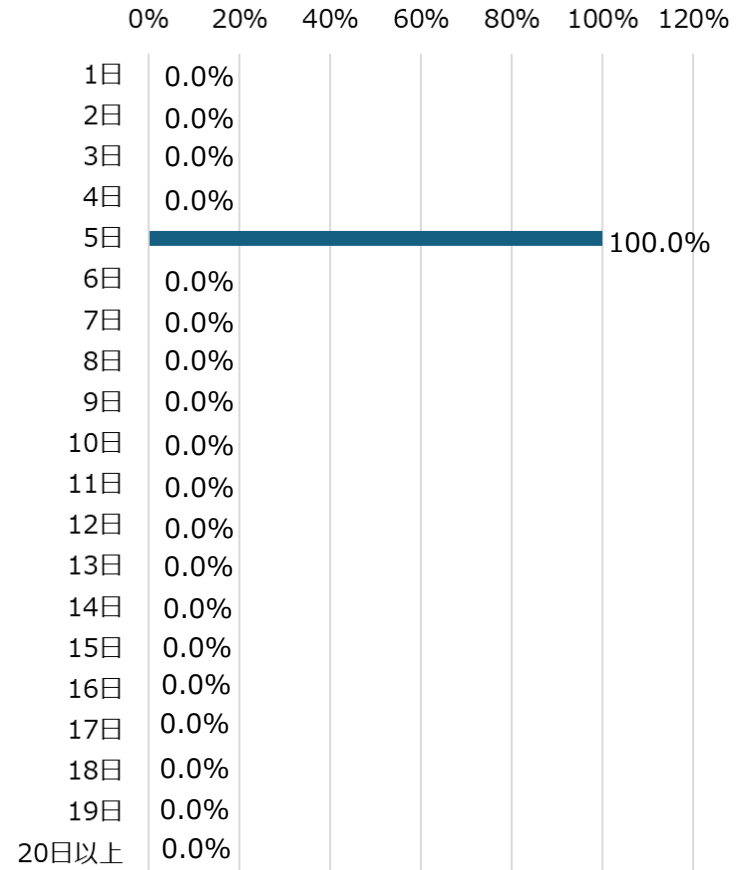
3. 仕方なく子どもだけで留守番させた

	回答数	割合
1. 1日	1	100.0%
2. 2日	0	0.0%
3. 3日	0	0.0%
4. 4日	0	0.0%
5. 5日	0	0.0%
6. 6日	0	0.0%
7. 7日	0	0.0%
8. 8日	0	0.0%
9. 9日	0	0.0%
10. 10日	0	0.0%
11. 11日	0	0.0%
12. 12日	0	0.0%
13. 13日	0	0.0%
14. 14日	0	0.0%
15. 15日	0	0.0%
16. 16日	0	0.0%
17. 17日	0	0.0%
18. 18日	0	0.0%
19. 19日	0	0.0%
20. 20日以上	0	0.0%
計	1	100.0%



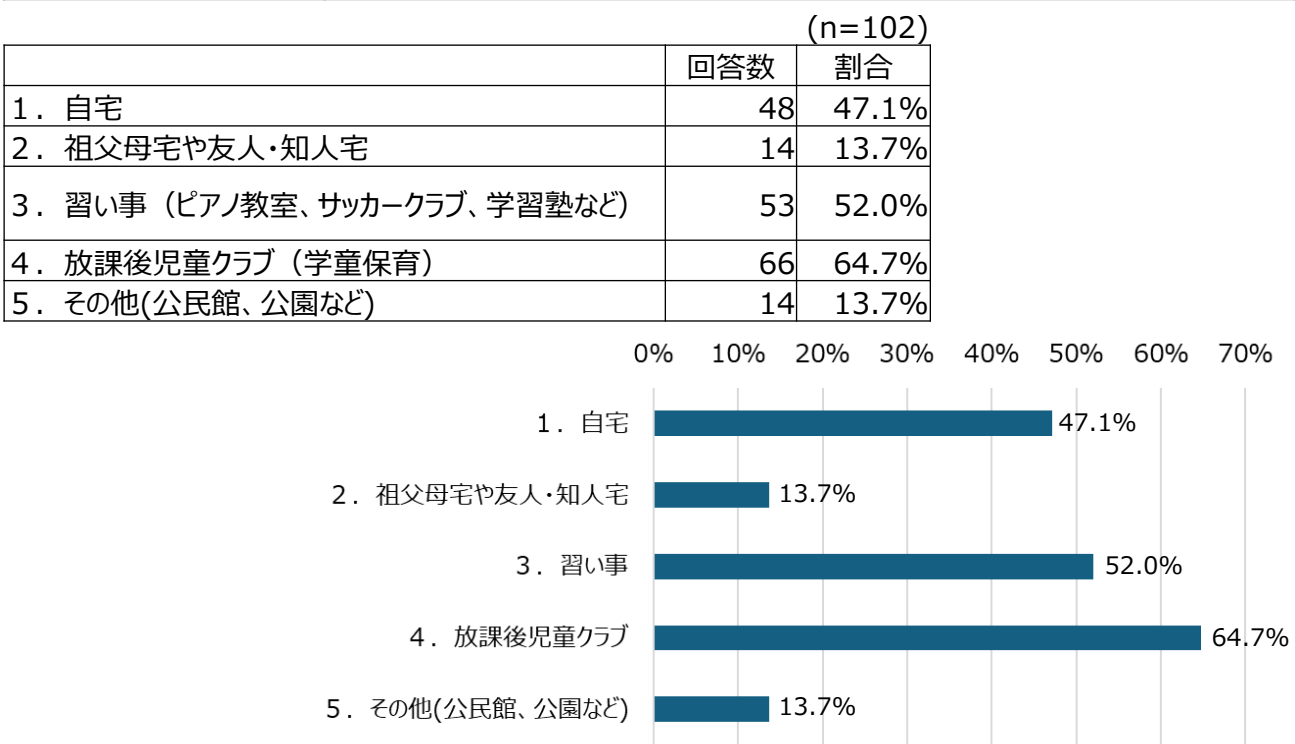
4. 泊りがけでみてもらうことはなかった

	回答数	割合
1. 1日	0	0.0%
2. 2日	0	0.0%
3. 3日	0	0.0%
4. 4日	0	0.0%
5. 5日	1	100.0%
6. 6日	0	0.0%
7. 7日	0	0.0%
8. 8日	0	0.0%
9. 9日	0	0.0%
10. 10日	0	0.0%
11. 11日	0	0.0%
12. 12日	0	0.0%
13. 13日	0	0.0%
14. 14日	0	0.0%
15. 15日	0	0.0%
16. 16日	0	0.0%
17. 17日	0	0.0%
18. 18日	0	0.0%
19. 19日	0	0.0%
20. 20日以上	0	0.0%
計	1	100.0%

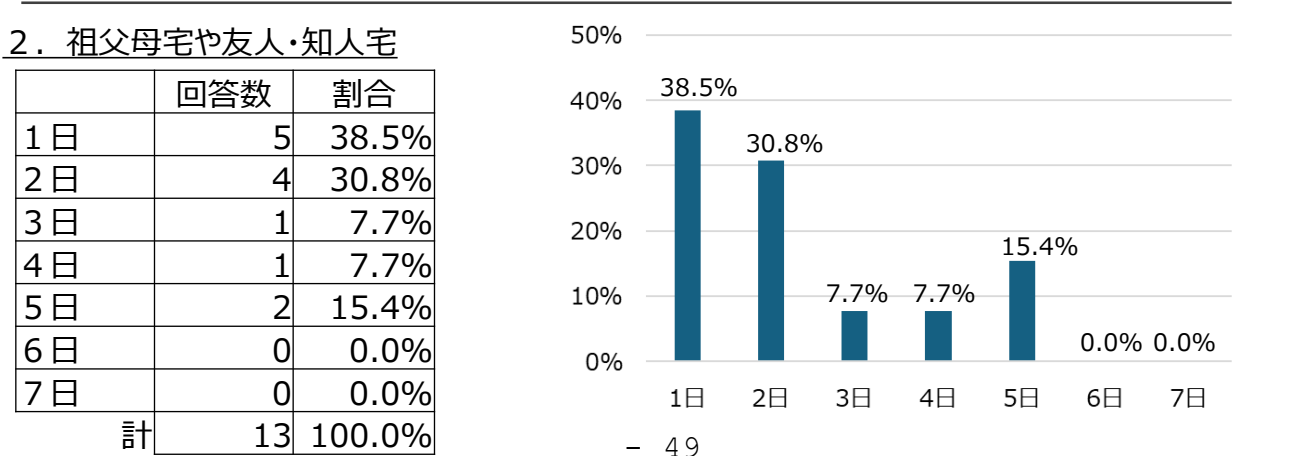
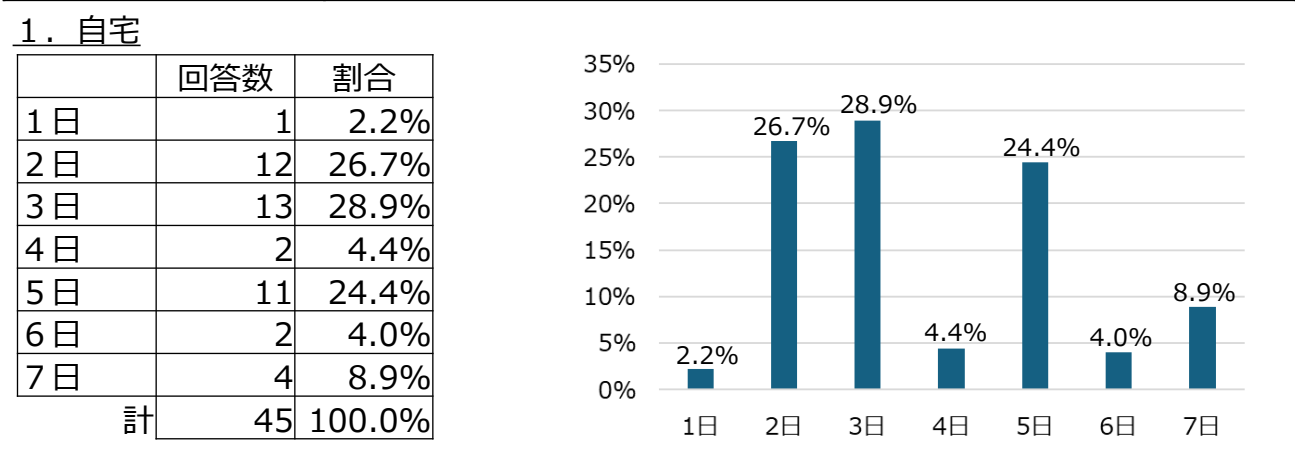


10 小学校就学後の放課後の過ごし方

問23	小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思うか
複数回答	

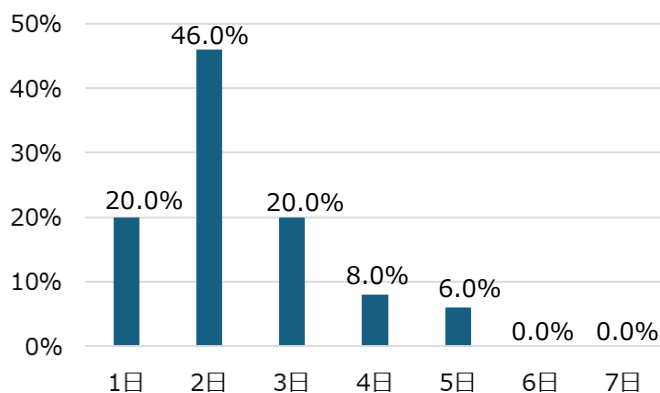


問23(1)	各選択肢の、週当たりの希望利用日数
単数回答	



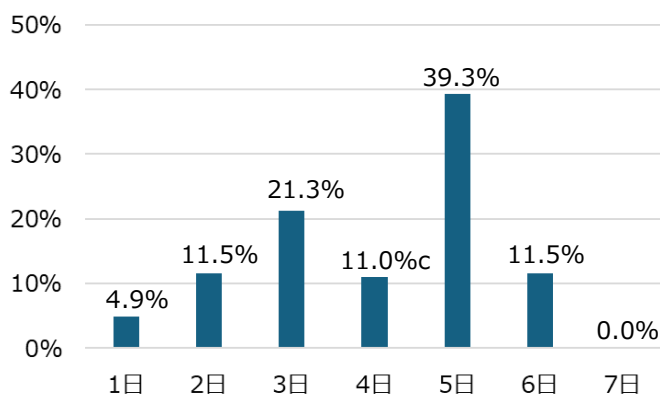
3. 習い事

	回答数	割合
1日	10	20.0%
2日	23	46.0%
3日	10	20.0%
4日	4	8.0%
5日	3	6.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
計	50	100.0%



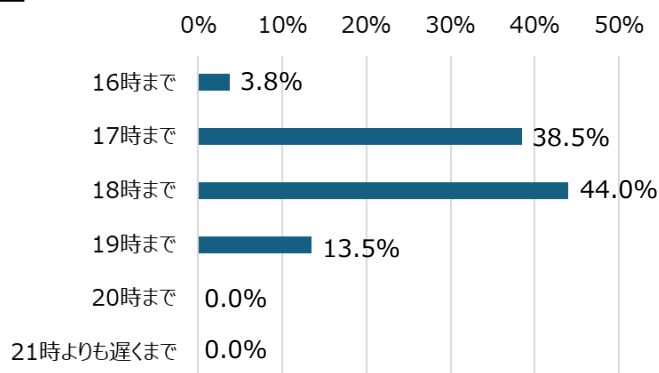
4. 放課後児童クラブ

	回答数	割合
1日	3	4.9%
2日	7	11.5%
3日	13	21.3%
4日	7	11.0%
5日	24	39.3%
6日	7	11.5%
7日	0	0.0%
計	61	100.0%



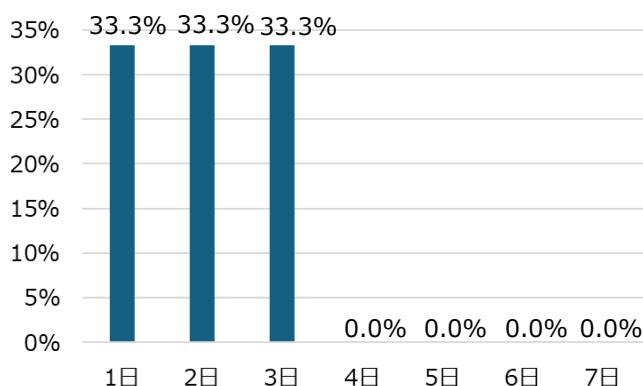
→放課後児童クラブを、何時まで利用したいか

	回答数	割合
1. 16時まで	2	3.8%
2. 17時まで	20	38.5%
3. 18時まで	23	44.0%
4. 19時まで	7	13.5%
5. 20時まで	0	0.0%
6. 21時よりも遅くまで	0	0.0%
計	52	100.0%

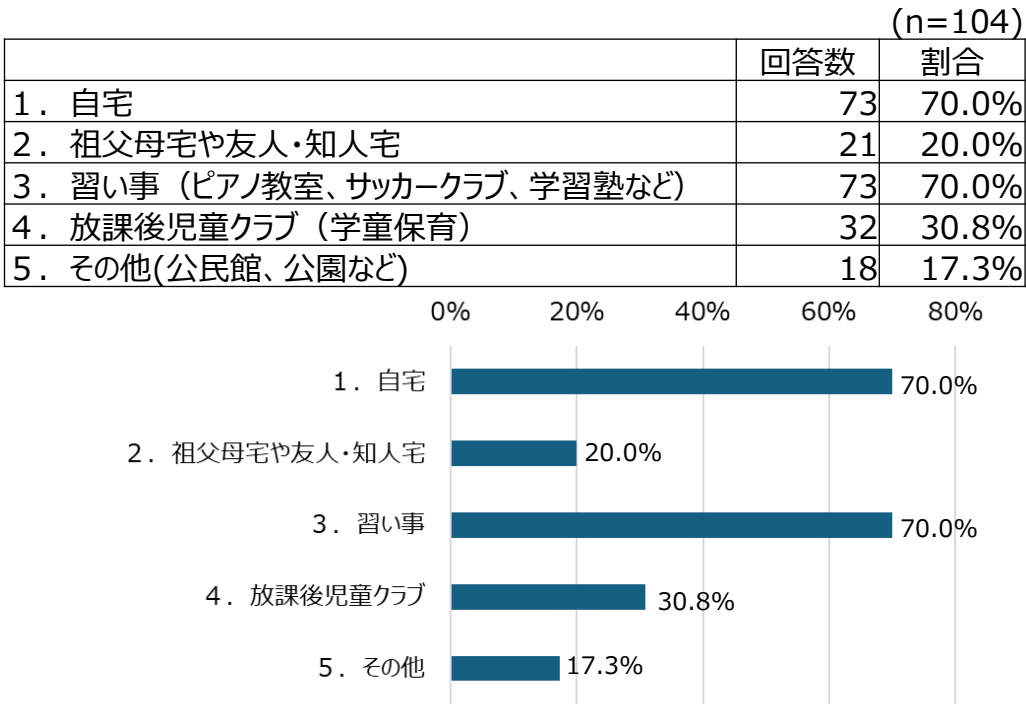


5. その他

	回答数	割合
1日	1	33.3%
2日	1	33.3%
3日	1	33.3%
4日	0	0.0%
5日	0	0.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
計	3	100.0%



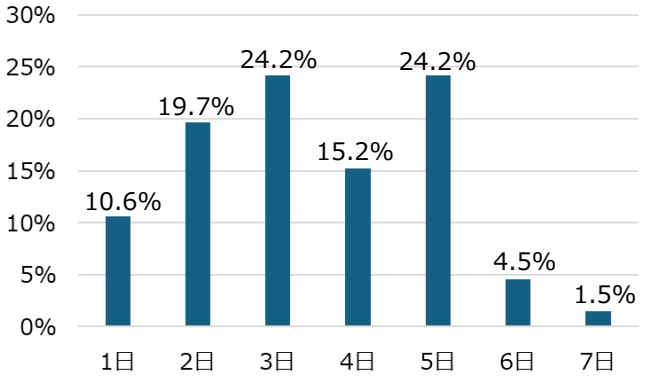
問24	小学校高学年（4～6年生）のうちは、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思うか
複数回答	



問24(1)	各選択肢の、週当たりの希望利用日数
単数回答	

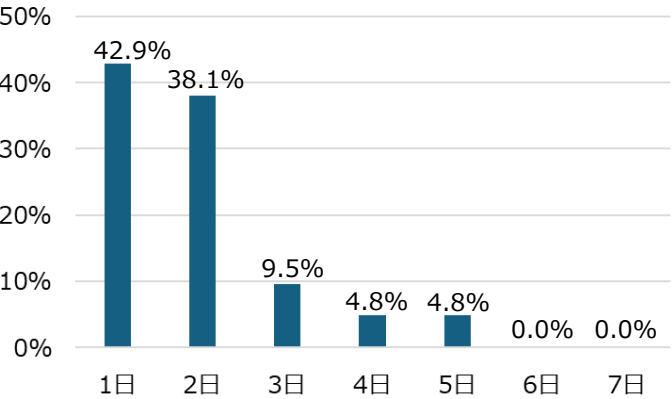
1. 自宅

	回答数	割合
1. 1日	7	10.6%
2. 2日	13	19.7%
3. 3日	16	24.2%
4. 4日	10	15.2%
5. 5日	16	24.2%
6. 6日	3	4.5%
7. 7日	1	1.5%
計	66	100.0%



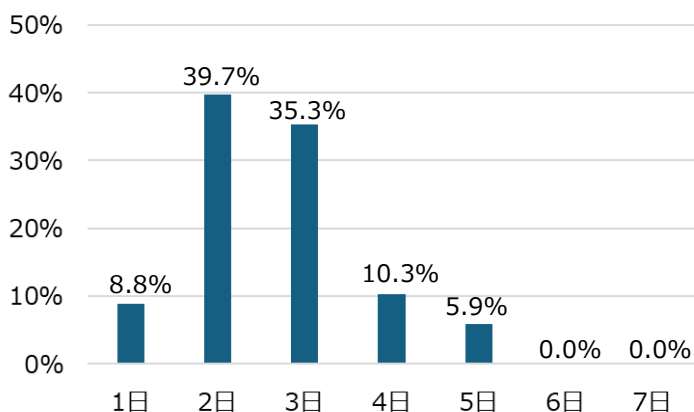
2. 祖父母宅や友人・知人宅

	回答数	割合
1. 1日	9	42.9%
2. 2日	8	38.1%
3. 3日	2	9.5%
4. 4日	1	4.8%
5. 5日	1	4.8%
6. 6日	0	0.0%
7. 7日	0	0.0%
計	21	100.0%



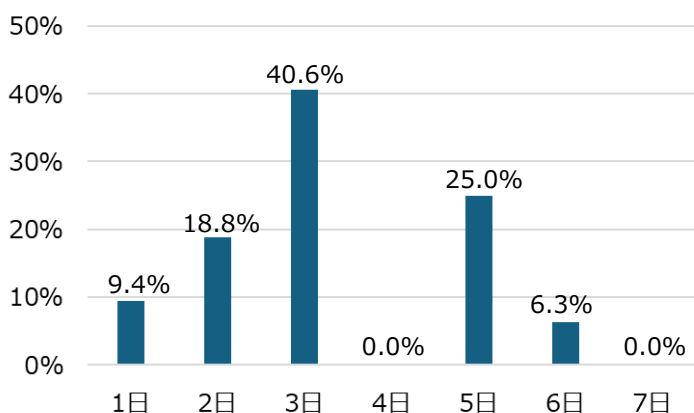
3. 習い事

	回答数	割合
1. 1日	6	8.8%
2. 2日	27	39.7%
3. 3日	24	35.3%
4. 4日	7	10.3%
5. 5日	4	5.9%
6. 6日	0	0.0%
7. 7日	0	0.0%
計	68	100.0%



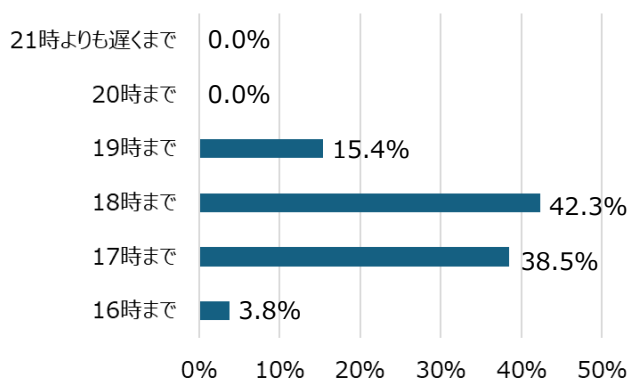
4. 放課後児童クラブ

	回答数	割合
1. 1日	3	9.4%
2. 2日	6	18.8%
3. 3日	13	40.6%
4. 4日	0	0.0%
5. 5日	8	25.0%
6. 6日	2	6.3%
7. 7日	0	0.0%
計	32	100.0%



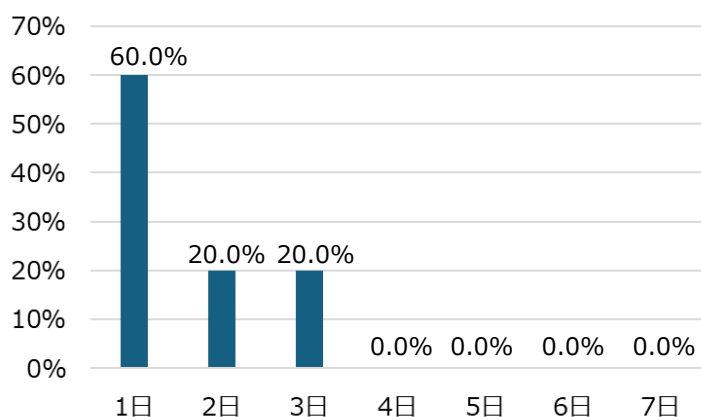
→放課後児童クラブを、何時まで利用したいか

	回答数	割合
1. 16時まで	1	3.8%
2. 17時まで	10	38.5%
3. 18時まで	11	42.3%
4. 19時まで	4	15.4%
5. 20時まで	0	0.0%
6. 21時よりも遅くまで	0	0.0%
計	26	100.0%



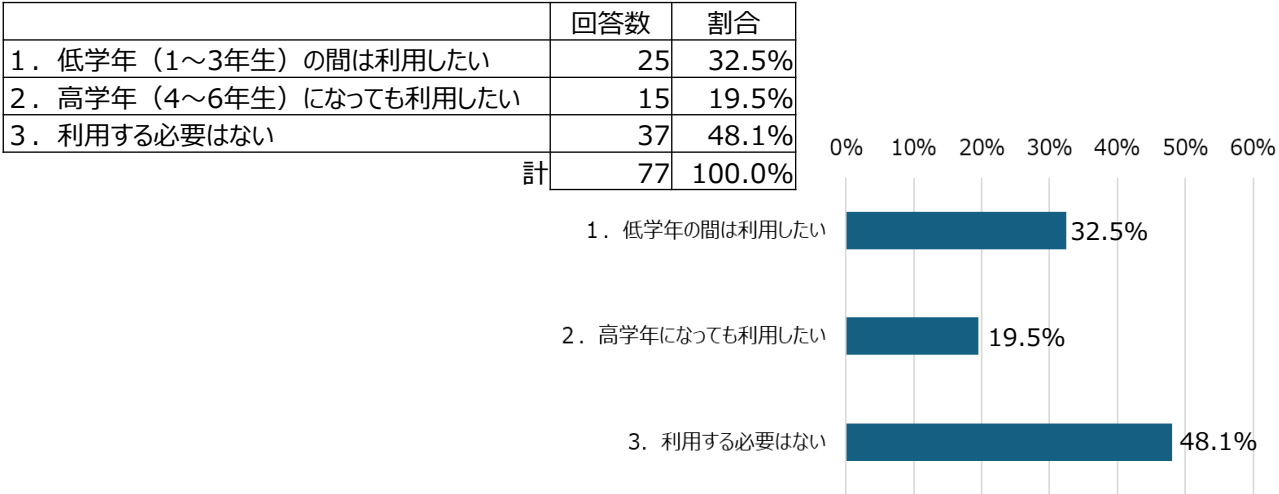
5. その他

	回答数	割合
1. 1日	3	60.0%
2. 2日	1	20.0%
3. 3日	1	20.0%
4. 4日	0	0.0%
5. 5日	0	0.0%
6. 6日	0	0.0%
7. 7日	0	0.0%
計	5	100.0%



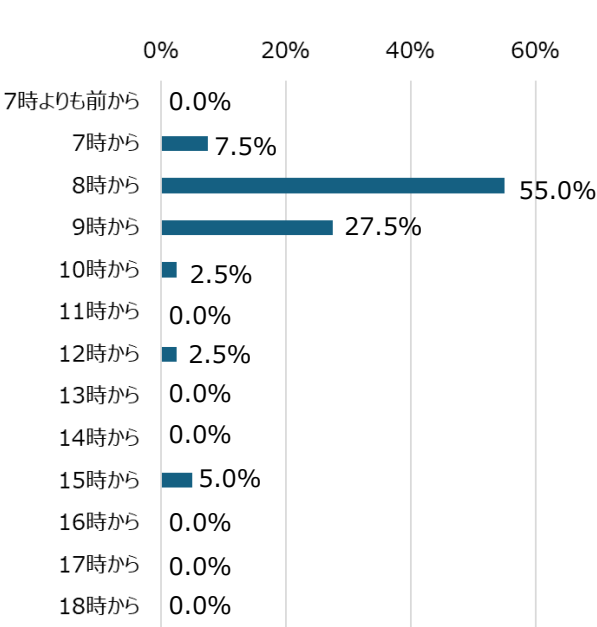
問25	土曜日・日曜日・祝日に放課後児童クラブの利用希望はあるか
単数回答	

1. 土曜日

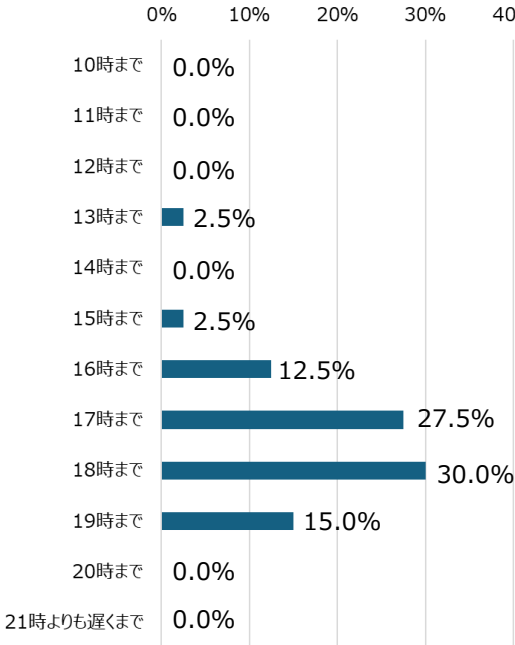


→利用希望の時間帯

	回答数	割合
1. 7時よりも前から	0	0.0%
2. 7時から	3	7.5%
3. 8時から	22	55.0%
4. 9時から	11	27.5%
5. 10時から	1	2.5%
6. 11時から	0	0.0%
7. 12時から	1	2.5%
8. 13時から	0	0.0%
9. 14時から	0	0.0%
10. 15時から	2	5.0%
11. 16時から	0	0.0%
12. 17時から	0	0.0%
13. 18時から	0	0.0%
計	40	100%

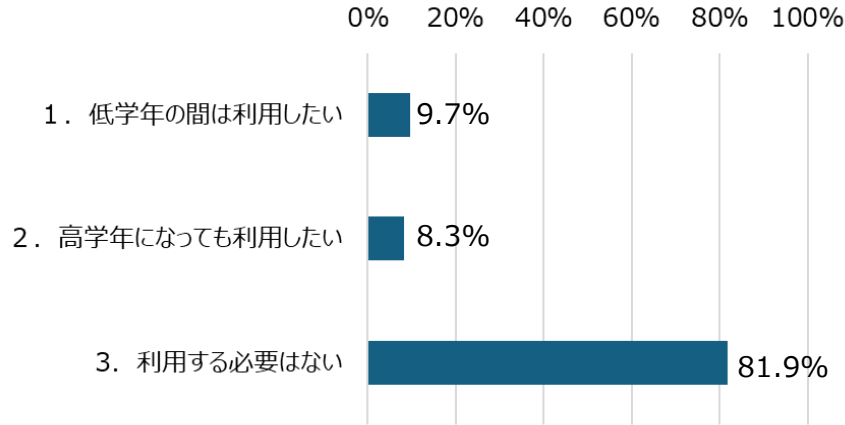


	回答数	割合
1. 10時まで	0	0.0%
2. 11時まで	0	0.0%
3. 12時まで	0	0.0%
4. 13時まで	1	2.5%
5. 14時まで	0	0.0%
6. 15時まで	1	2.5%
7. 16時まで	5	12.5%
8. 17時まで	15	27.5%
9. 18時まで	12	30.0%
10. 19時まで	6	15.0%
11. 20時まで	0	0.0%
12. 21時よりも遅くまで	0	0.0%
計	40	100.0%



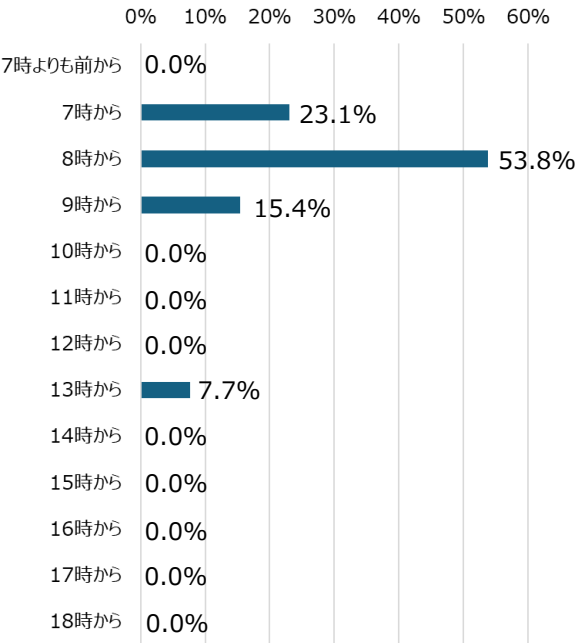
2. 日曜日・祝日

	回答数	割合
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	7	9.7%
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	6	8.3%
3. 利用する必要はない	59	81.9%
計	72	100.0%

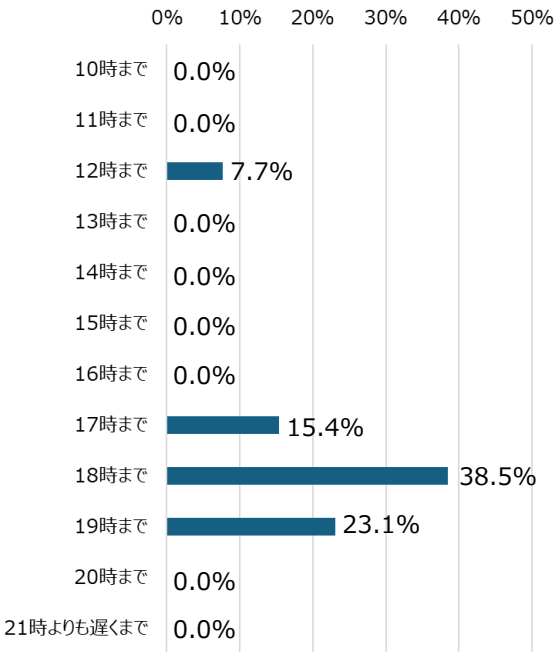


→利用希望の時間帯

	回答数	割合
1. 7時よりも前から	0	0.0%
2. 7時から	3	23.1%
3. 8時から	7	53.8%
4. 9時から	2	15.4%
5. 10時から	0	0.0%
6. 11時から	0	0.0%
7. 12時から	0	0.0%
8. 13時から	1	7.7%
9. 14時から	0	0.0%
10. 15時から	0	0.0%
11. 16時から	0	0.0%
12. 17時から	0	0.0%
13. 18時から	0	0.0%
計	13	100.0%

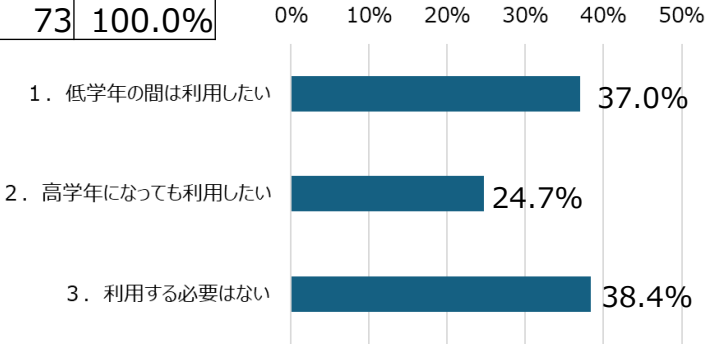


	回答数	割合
1. 10時まで	0	0.0%
2. 11時まで	0	0.0%
3. 12時まで	1	7.7%
4. 13時まで	0	0.0%
5. 14時まで	0	0.0%
6. 15時まで	0	0.0%
7. 16時まで	0	0.0%
8. 17時まで	2	15.4%
9. 18時まで	5	38.5%
10. 19時まで	3	23.1%
11. 20時まで	0	0.0%
12. 21時よりも遅くまで	0	0.0%
計	13	100.0%



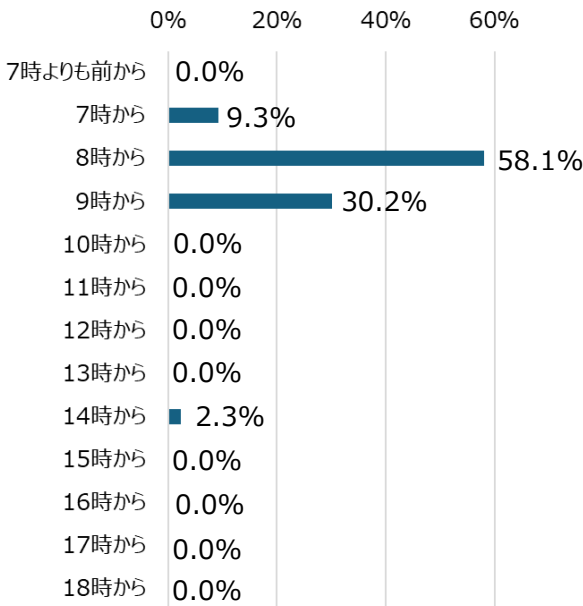
問26	夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はあるか
単数回答	

	回答数	割合
1. 低学年の間は利用したい	27	37.0%
2. 高学年になっても利用したい	18	24.7%
3. 利用する必要はない	28	38.4%
計	73	100.0%

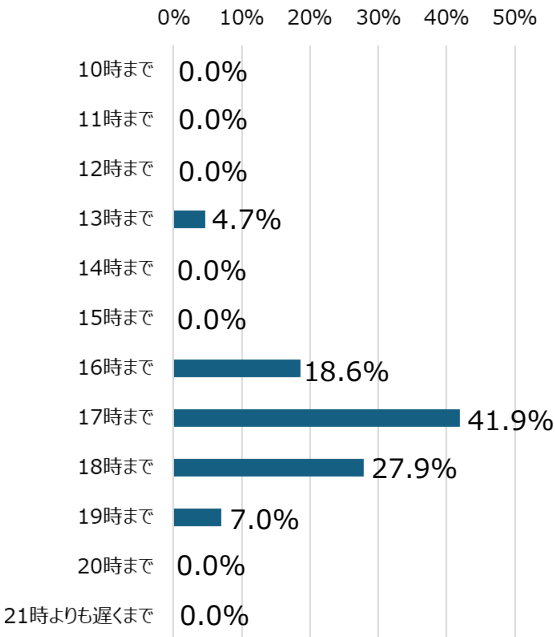


→利用希望の時間帯

	回答数	割合
1. 7時よりも前から	0	0.0%
2. 7時から	4	9.3%
3. 8時から	25	58.1%
4. 9時から	13	30.2%
5. 10時から	0	0.0%
6. 11時から	0	0.0%
7. 12時から	0	0.0%
8. 13時から	0	0.0%
9. 14時から	1	2.3%
10. 15時から	0	0.0%
11. 16時から	0	0.0%
12. 17時から	0	0.0%
13. 18時から	0	0.0%
計	43	100.0%



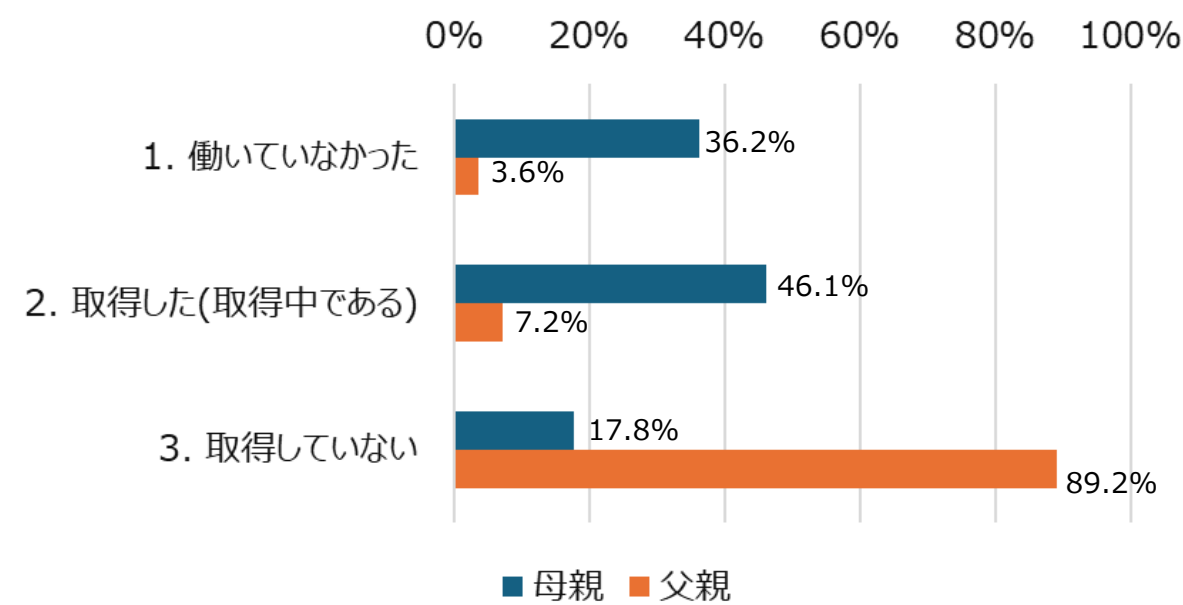
	回答数	割合
1. 10時まで	0	0.0%
2. 11時まで	0	0.0%
3. 12時まで	0	0.0%
4. 13時まで	2	4.7%
5. 14時まで	0	0.0%
6. 15時まで	0	0.0%
7. 16時まで	8	18.6%
8. 17時まで	18	41.9%
9. 18時まで	12	27.9%
10. 19時まで	3	7.0%
11. 20時まで	0	0.0%
12. 21時よりも遅くまで	0	0.0%
計	43	100.0%



1 1 育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度について

問27	子どもが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得したか
単数回答	

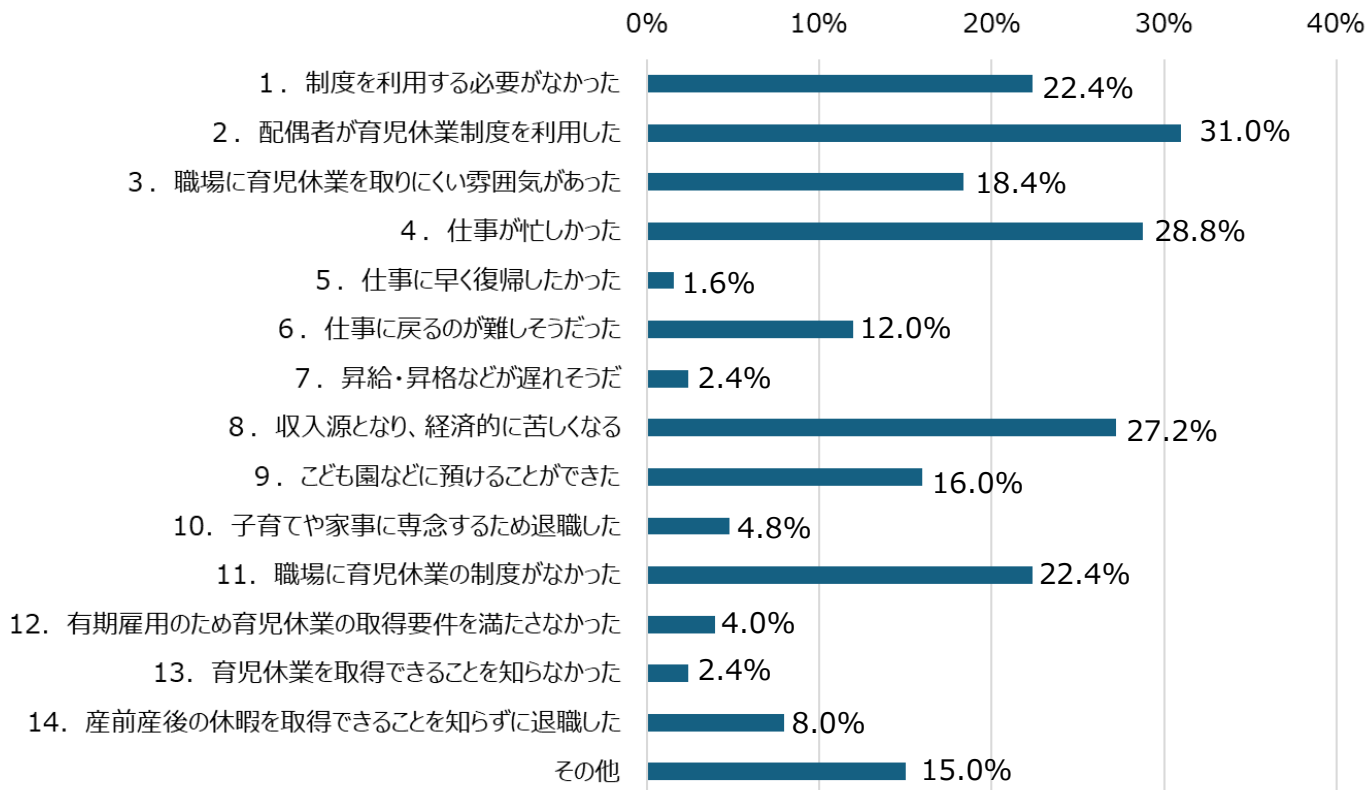
	母親		父親	
	回答数	割合	回答数	割合
1. 働いていなかった	55	36.2%	5	3.6%
2. 取得した(取得中である)	70	46.1%	10	7.2%
3. 取得していない	27	17.8%	124	89.2%
計	152	100.0%	139	100.0%



「３．取得していない」を選択した回答者の、育児休業を取得しなかった理由

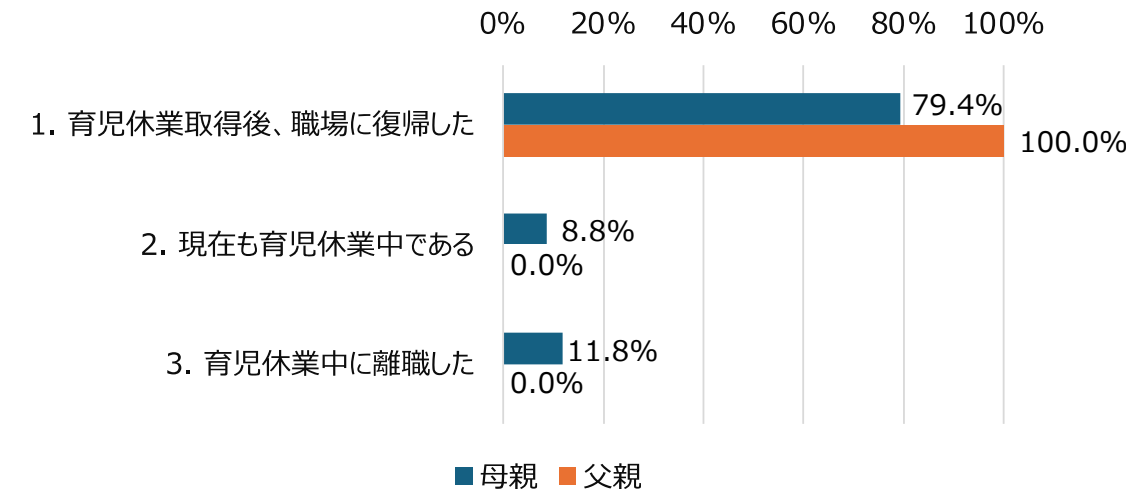
(n=125)

	回答数	割合
１．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	28	22.4%
２．配偶者が育児休業制度を利用した	39	31.0%
３．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	23	18.4%
４．仕事が忙しかった	36	28.8%
５．(産休後に)仕事に早く復帰したかった	2	1.6%
６．仕事に戻るのが難しそうだった	15	12.0%
７．昇給・昇格などが遅れそうだ	3	2.4%
８．収入源となり、経済的に苦しくなる	34	27.2%
９．こども園などに預けることができた	20	16.0%
10．子育てや家事に専念するため退職した	6	4.8%
11．職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	28	22.4%
12．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	5	4.0%
13．育児休業を取得できることを知らなかった	3	2.4%
14．産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らずに退職した	1	8.0%
その他	19	15.0%



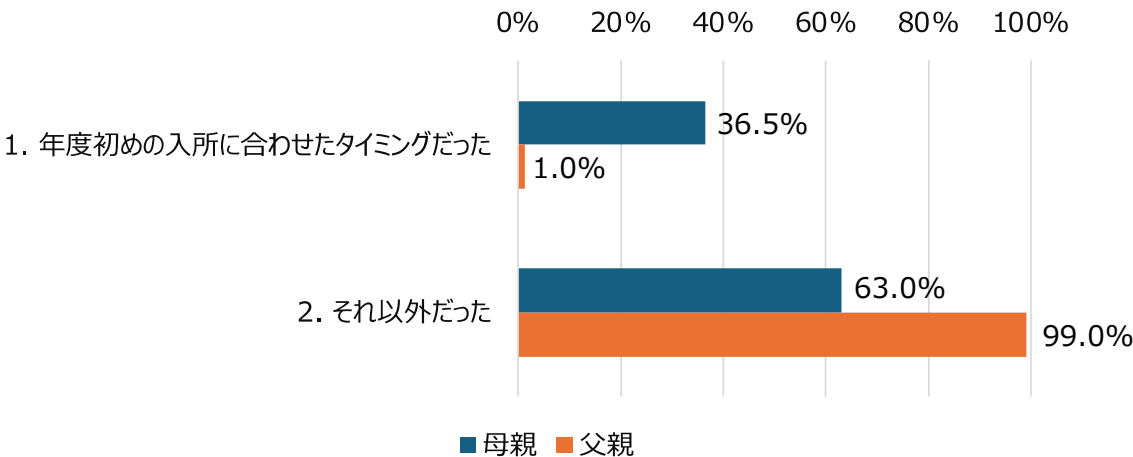
問27(1)	育児休業取得後、職場に復帰したか
単数回答	

	母親		父親	
	回答数	割合	回答数	割合
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	54	79.4%	7	100.0%
2. 現在も育児休業中である	6	8.8%	0	0.0%
3. 育児休業中に離職した	8	11.8%	0	0.0%
計	68	100.0%	7	100.0%



問27(2)	育児休業に復帰したのは、年度初めのこども園の入園に合わせたタイミングだったか、それ以外であったか
単数回答	

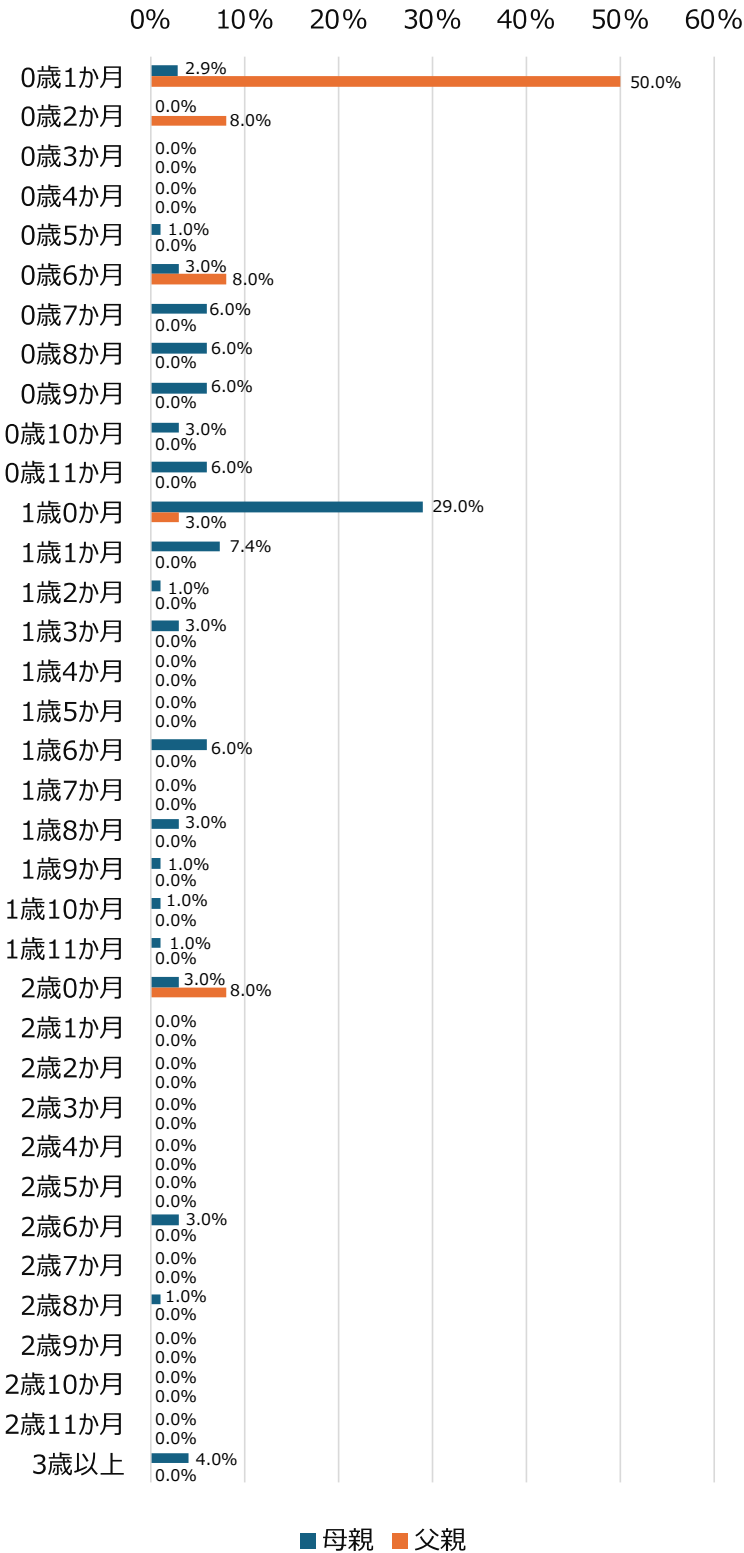
	母親		父親	
	回答数	割合	回答数	割合
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	19	36.5%	1	1.0%
2. それ以外だった	33	63.0%	7	99.0%
計	52	100.0%	8	100.0%



問27(3)	①実際に職場復帰したのは子どもが何歳何か月の時か
複数回答	

①実際に職場復帰した時期

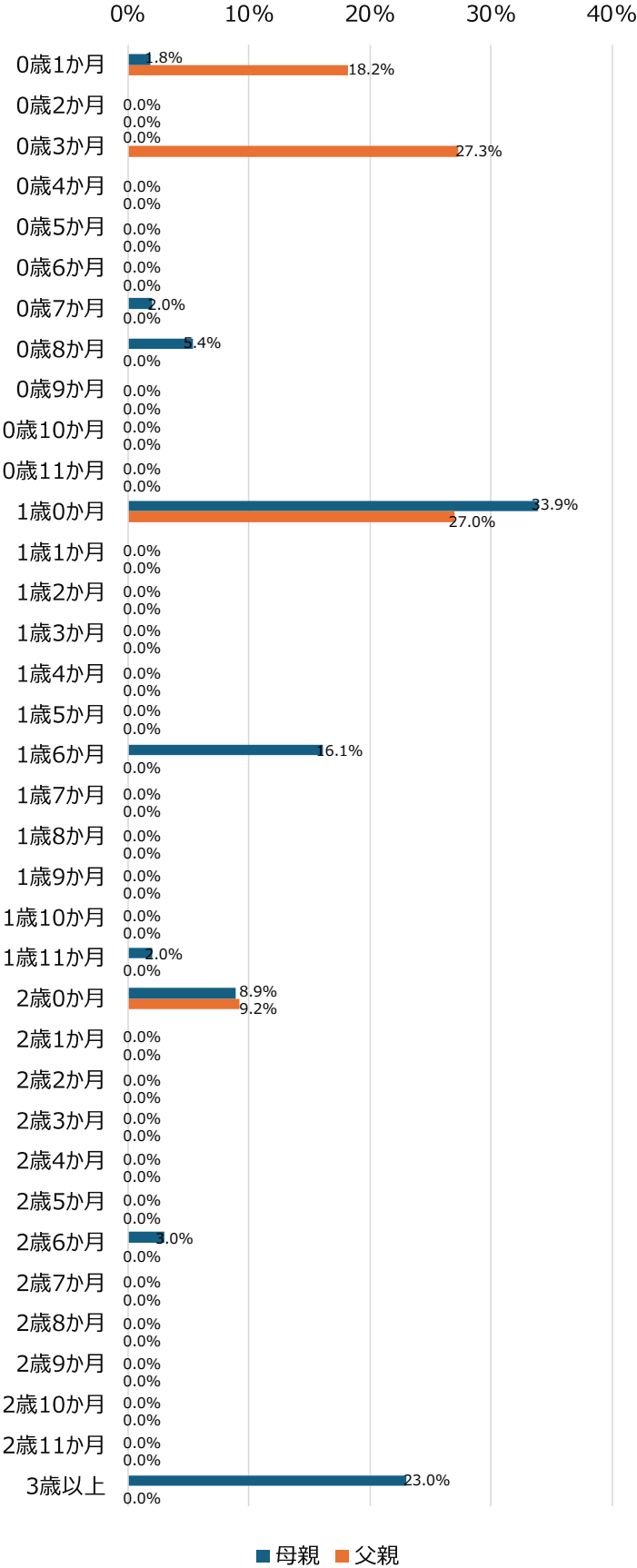
	母親		父親	
	回答数	割合	回答数	割合
0歳1か月	2	2.9%	6	50.0%
0歳2か月	0	0.0%	1	8.0%
0歳3か月	0	0.0%	0	0.0%
0歳4か月	0	0.0%	0	0.0%
0歳5か月	1	1.0%	0	0.0%
0歳6か月	2	3.0%	1	8.0%
0歳7か月	4	6.0%	0	0.0%
0歳8か月	4	6.0%	0	0.0%
0歳9か月	4	6.0%	0	0.0%
0歳10か月	2	3.0%	0	0.0%
0歳11か月	4	6.0%	0	0.0%
1歳0か月	20	29.0%	3	3.0%
1歳1か月	5	7.4%	0	0.0%
1歳2か月	1	1.0%	0	0.0%
1歳3か月	2	3.0%	0	0.0%
1歳4か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳5か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳6か月	4	6.0%	0	0.0%
1歳7か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳8か月	2	3.0%	0	0.0%
1歳9か月	1	1.0%	0	0.0%
1歳10か月	1	1.0%	0	0.0%
1歳11か月	1	1.0%	0	0.0%
2歳0か月	2	3.0%	1	8.0%
2歳1か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳2か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳3か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳4か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳5か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳6か月	2	3.0%	0	0.0%
2歳7か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳8か月	1	1.0%	0	0.0%
2歳9か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳10か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳11か月	0	0.0%	0	0.0%
3歳以上	3	4.0%	0	0.0%
計	68	100.0%	12	100.0%



問27(3)	②何歳何か月までにとりたかったか
複数回答	

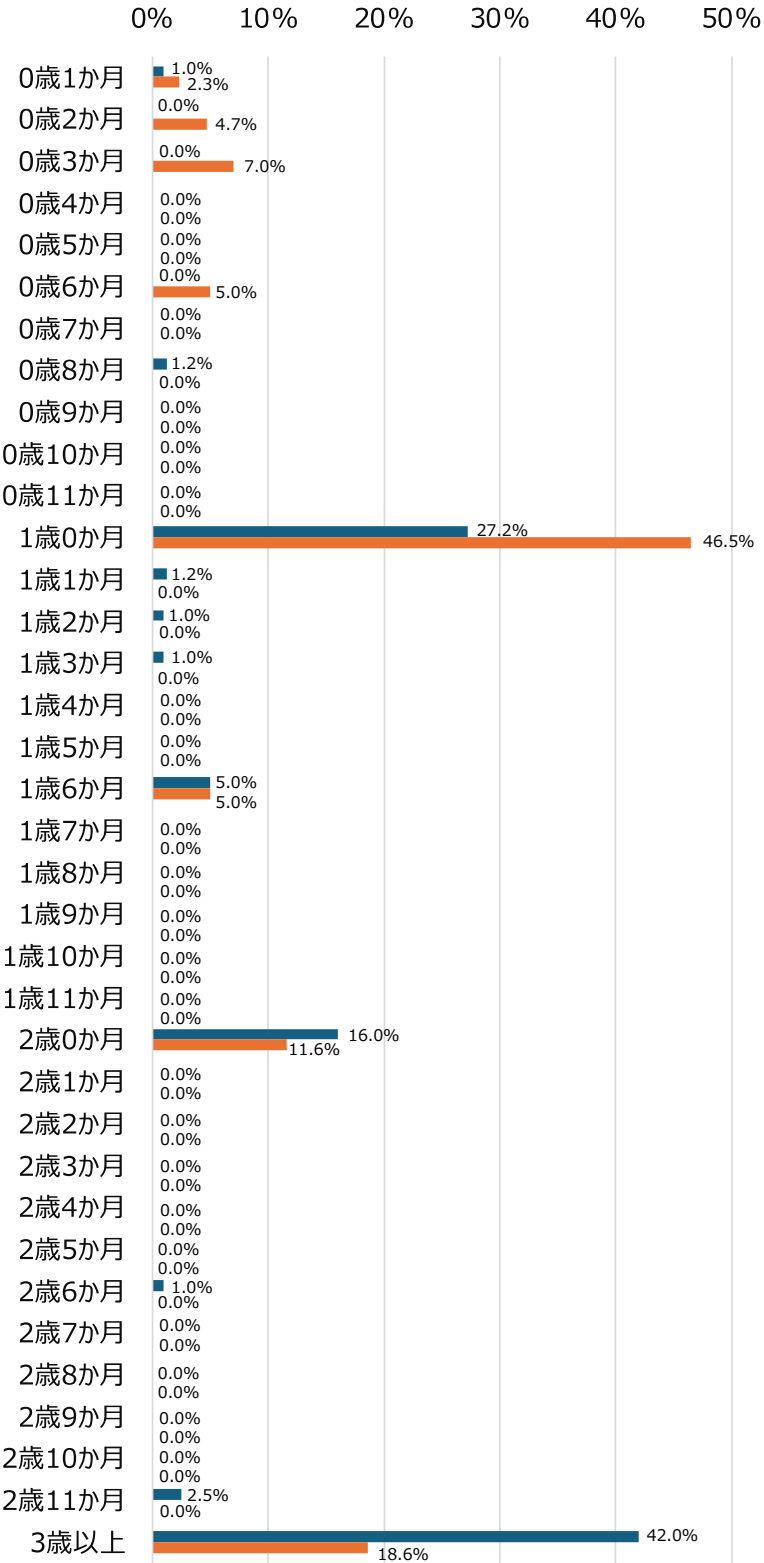
②希望取得時期

	母親		父親	
	回答数	割合	回答数	割合
0歳1か月	1	1.8%	2	18.2%
0歳2か月	0	0.0%	0	0.0%
0歳3か月	0	0.0%	3	27.3%
0歳4か月	0	0.0%	0	0.0%
0歳5か月	0	0.0%	0	0.0%
0歳6か月	0	0.0%	0	0.0%
0歳7か月	1	2.0%	0	0.0%
0歳8か月	3	5.4%	0	0.0%
0歳9か月	0	0.0%	0	0.0%
0歳10か月	0	0.0%	0	0.0%
0歳11か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳0か月	19	33.9%	3	27.0%
1歳1か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳2か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳3か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳4か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳5か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳6か月	9	16.1%	0	0.0%
1歳7か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳8か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳9か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳10か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳11か月	1	2.0%	0	0.0%
2歳0か月	5	8.9%	1	9.2%
2歳1か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳2か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳3か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳4か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳5か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳6か月	2	3.0%	0	0.0%
2歳7か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳8か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳9か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳10か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳11か月	0	0.0%	0	0.0%
3歳以上	13	23.0%	0	0.0%
計	56	100.0%	11	100.0%



問27(4)	育児休暇を3歳までに取得できる制度があった場合、希望としては子どもが何歳のときまでにとりたかったか
複数回答	

	母親		父親	
	回答数	割合	回答数	割合
0歳1か月	1	1.0%	1	2.3%
0歳2か月	0	0.0%	2	4.7%
0歳3か月	0	0.0%	3	7.0%
0歳4か月	0	0.0%	0	0.0%
0歳5か月	0	0.0%	0	0.0%
0歳6か月	0	0.0%	2	5.0%
0歳7か月	0	0.0%	0	0.0%
0歳8か月	1	1.2%	0	0.0%
0歳9か月	0	0.0%	0	0.0%
0歳10か月	0	0.0%	0	0.0%
0歳11か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳0か月	22	27.2%	20	46.5%
1歳1か月	1	1.2%	0	0.0%
1歳2か月	1	1.0%	0	0.0%
1歳3か月	1	1.0%	0	0.0%
1歳4か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳5か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳6か月	4	5.0%	2	5.0%
1歳7か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳8か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳9か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳10か月	0	0.0%	0	0.0%
1歳11か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳0か月	13	16.0%	5	11.6%
2歳1か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳2か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳3か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳4か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳5か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳6か月	1	1.0%	0	0.0%
2歳7か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳8か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳9か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳10か月	0	0.0%	0	0.0%
2歳11か月	2	2.5%	0	0.0%
3歳以上	34	42.0%	8	18.6%
計	81	100.0%	43	100.0%



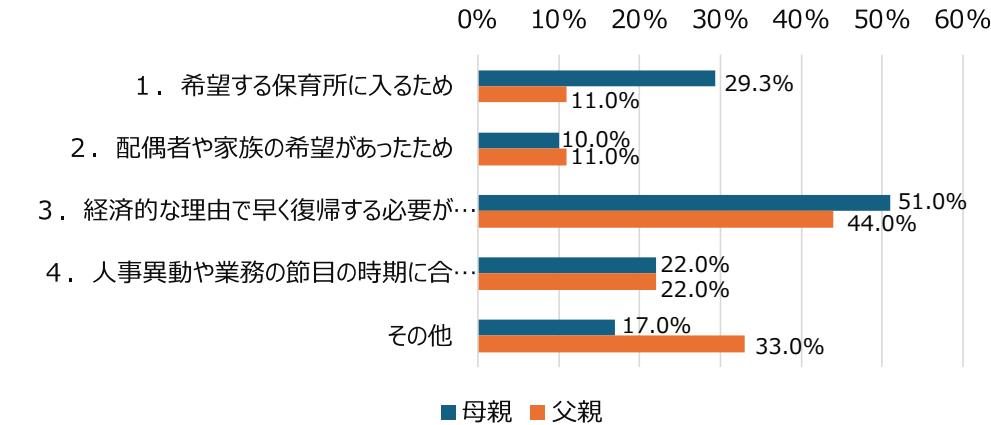
■ 母親 ■ 父親

問27(5)	希望の時期に職場復帰しなかった理由
複数回答	

②希望より [早く] 復帰した理由

(n=16)

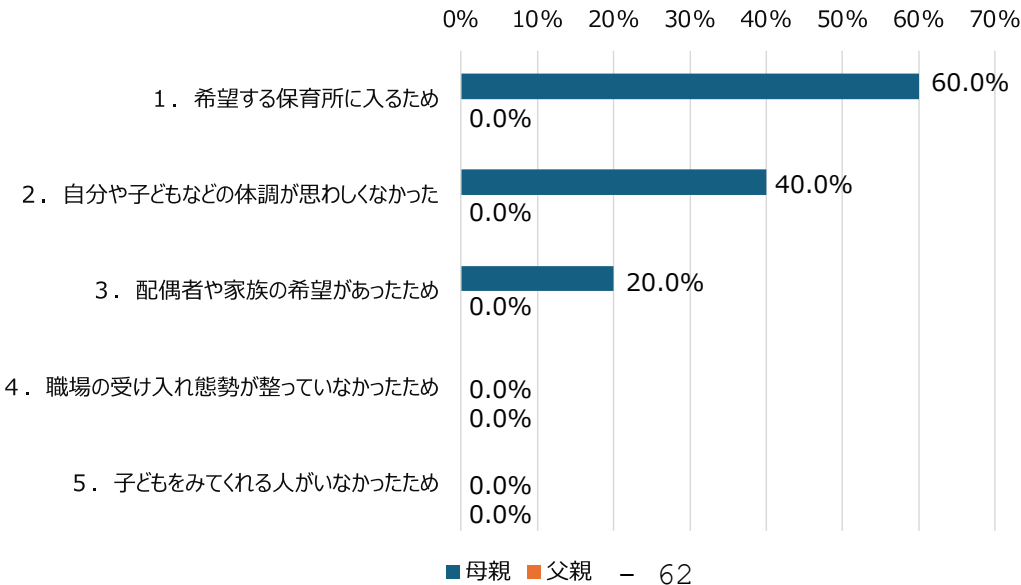
	母親		父親	
	回答数	割合	回答数	割合
1. 希望する保育所に入るため	12	29.3%	1	11.0%
2. 配偶者や家族の希望があったため	4	10.0%	1	11.0%
3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある	21	51.0%	4	44.0%
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	9	22.0%	2	22.0%
その他	7	17.0%	3	33.0%
計	41	100.0%	9	100.0%



②希望より [遅く] 復帰した理由

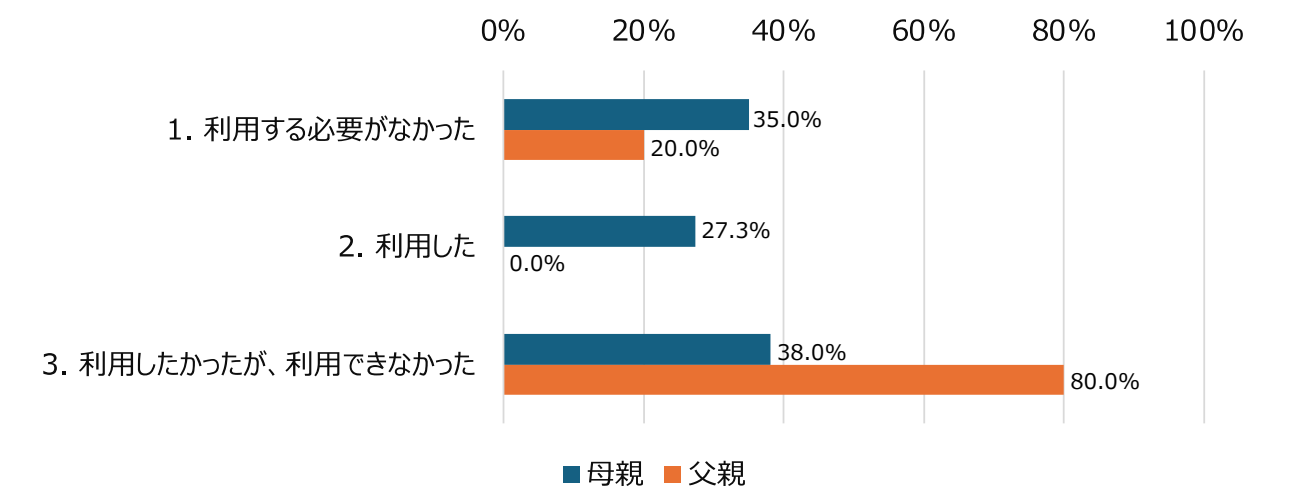
(n=5)

	母親		父親	
	回答数	割合	回答数	割合
1. 希望する保育所に入るため	3	60.0%	0	0.0%
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかった	2	40.0%	0	0.0%
3. 配偶者や家族の希望があったため	1	20.0%	0	0.0%
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0.0%	0	0.0%
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	0	0.0%	0	0.0%
計	6	100.0%	0	0.0%



問27(6)	育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用したか
単数回答	

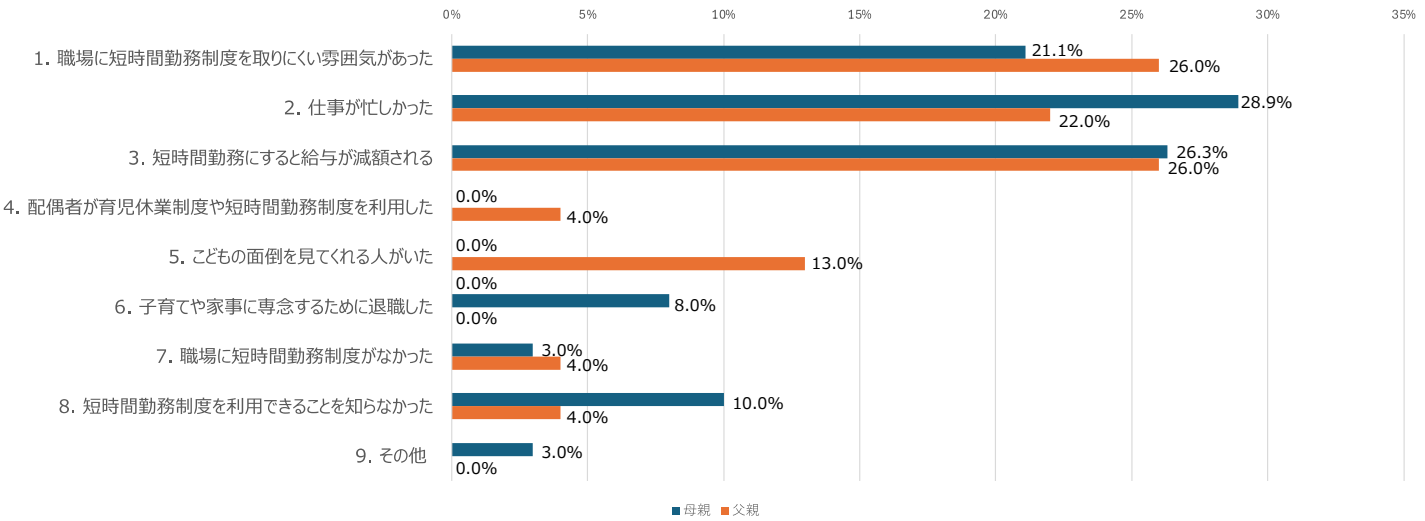
	母親		父親	
	回答数	割合	回答数	割合
1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）	19	35.0%	1	20.0%
2. 利用した	15	27.3%	0	0.0%
3. 利用したかったが、利用できなかった	21	38.0%	4	80.0%
計	55	100.0%	5	100.0%



問27(7)	短時間勤務制度を利用しなかった理由
複数回答	

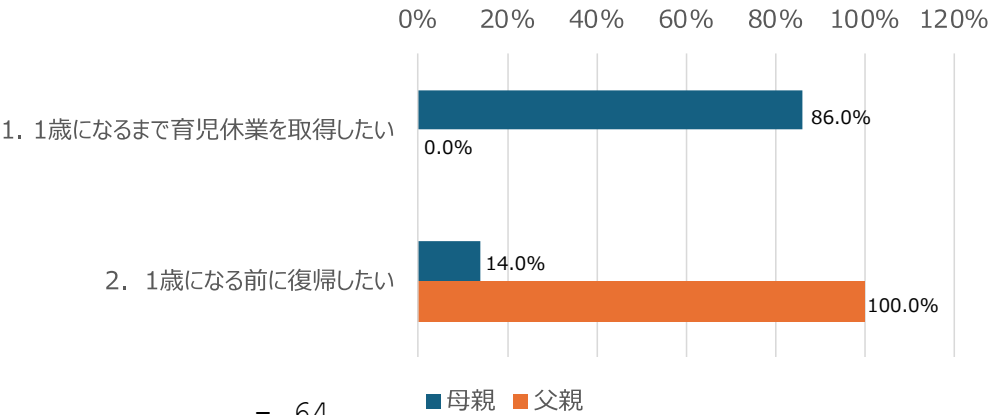
(n=29)

	母親		父親	
	回答数	割合	回答数	割合
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	8	21.1%	6	26.0%
2. 仕事が忙しかった	11	28.9%	5	22.0%
3. 短時間勤務にすると給与が減額される	10	26.3%	6	26.0%
4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%	1	4.0%
5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、こどもの面倒を見てくれる人がいた	0	0.0%	3	13.0%
6. 子育てや家事に専念するために退職した	3	8.0%	0	0.0%
7. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	1	3.0%	1	4.0%
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	4	10.0%	1	4.0%
9. その他	1	3.0%	0	0.0%
計	38	100.0%	23	100.0%



問27(8)	子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳までに育児休業を取得するか
単数回答	

	母親		父親	
	回答数	割合	回答数	割合
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	6	86.0%	0	0.0%
2. 1歳になる前に復帰したい	1	14.0%	1	100.0%
計	7	100.0%	1	100.0%

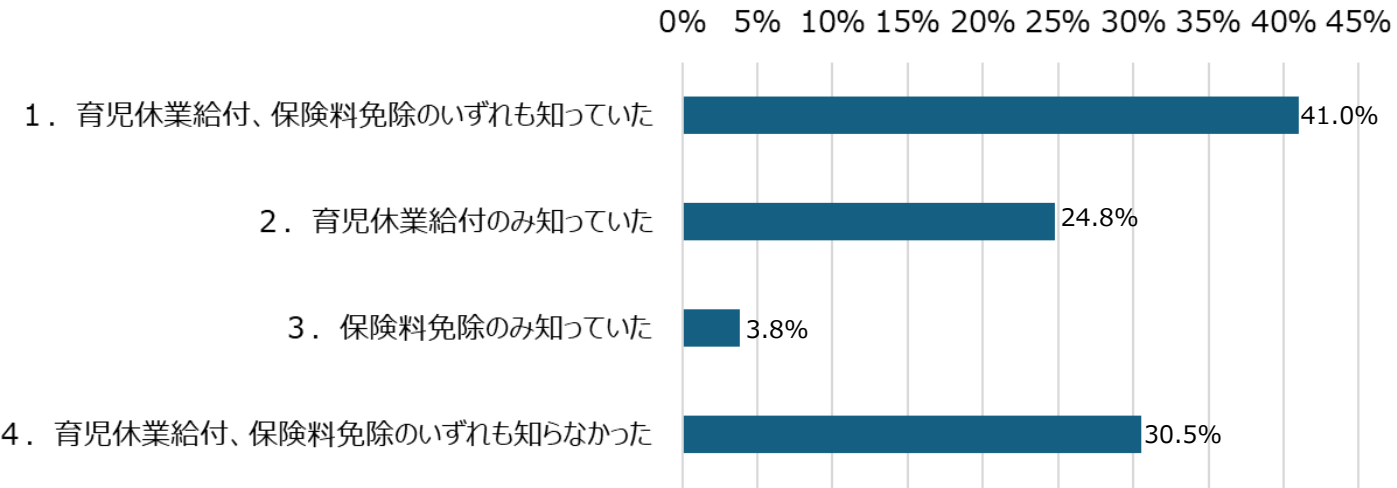


問27(9)	育児休業給付・保険料免除について知っていたか
単数回答	

【育児休業給付】
 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は、1歳6か月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み

【保険料免除】
 子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み

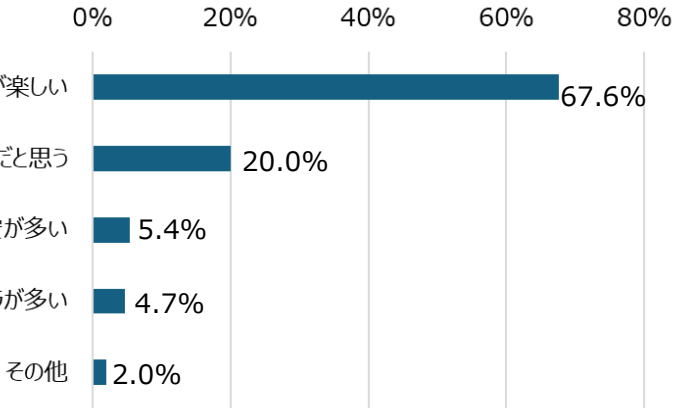
	回答数	割合
1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	43	41.0%
2. 育児休業給付のみ知っていた	26	24.8%
3. 保険料免除のみ知っていた	4	3.8%
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	32	30.5%
計	105	100.0%



12 子育て環境の満足度について

問28	子育てについてどのように感じているか
単数回答	

	回答数	割合
1. 大変だが楽しい	100	67.6%
2. こんなものだと思う	30	20.0%
3. 不安が多い	8	5.4%
4. イライラが多い	7	4.7%
その他	2	2.0%
計	148	100.0%

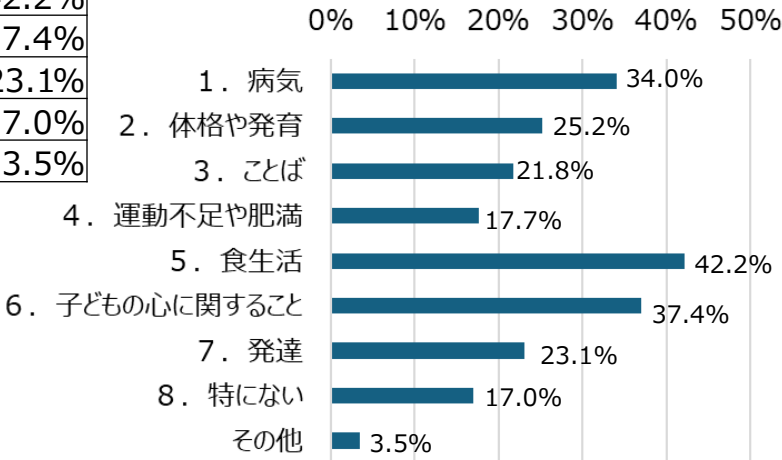


問29	子育てに関する不安
複数回答	

問29(1)	子どもの病気や健康、発音等のこと
複数回答	

(n=147)

	回答数	割合
1. 病気	50	34.0%
2. 体格や発育	37	25.2%
3. ことば	32	21.8%
4. 運動不足や肥満	26	17.7%
5. 食生活	62	42.2%
6. 子どもの心に関すること	55	37.4%
7. 発達	34	23.1%
8. 特にない	25	17.0%
その他	5	3.5%

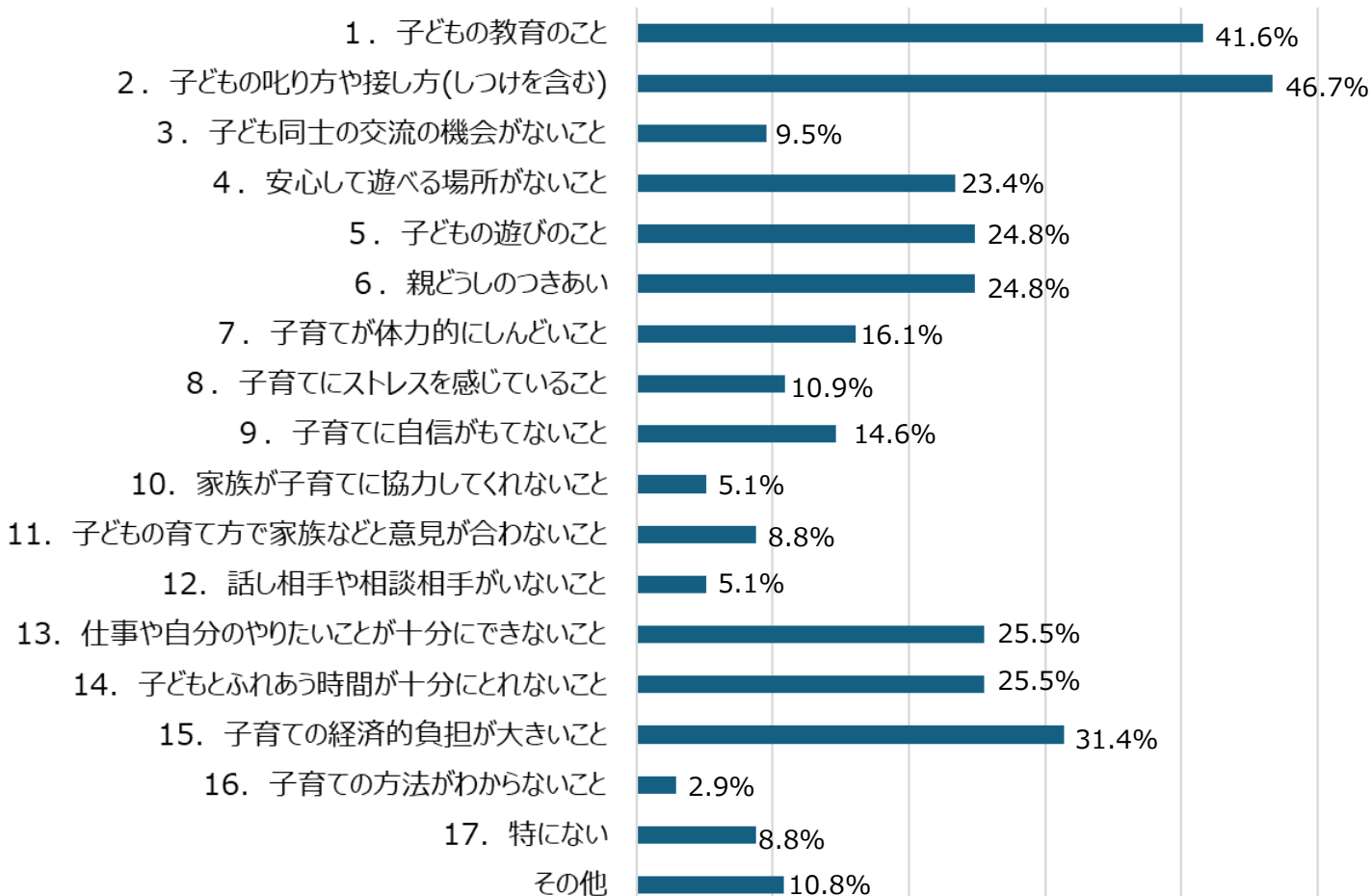


問29(2)	子どもの病気や健康、発音等以外のこと
複数回答	

(n=137)

	回答数	割合
1. 子どもの教育のこと	57	41.6%
2. 子どもの叱り方や接し方(しつけを含む)	64	46.7%
3. 子ども同士の交流の機会がないこと	13	9.5%
4. 安心して遊べる場所がないこと	32	23.4%
5. 子どもの遊びのこと	34	24.8%
6. 親どうしのつきあい	24	24.8%
7. 子育てが体力的にしんどいこと	22	16.1%
8. 子育てにストレスを感じていること	15	10.9%
9. 子育てに自信がもてないこと	20	14.6%
10. 家族が子育てに協力してくれないこと	7	5.1%
11. 子どもの育て方で家族などと意見が合わないこと	12	8.8%
12. 話し相手や相談相手がいらないこと	7	5.1%
13. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	35	25.5%
14. 子どもとふれあう時間が十分にとれないこと	35	25.5%
15. 子育ての経済的負担が大きいこと	43	31.4%
16. 子育ての方法がわからないこと	4	2.9%
17. 特にない	12	8.8%
その他	14	10.8%

0% 10% 20% 30% 40% 50%



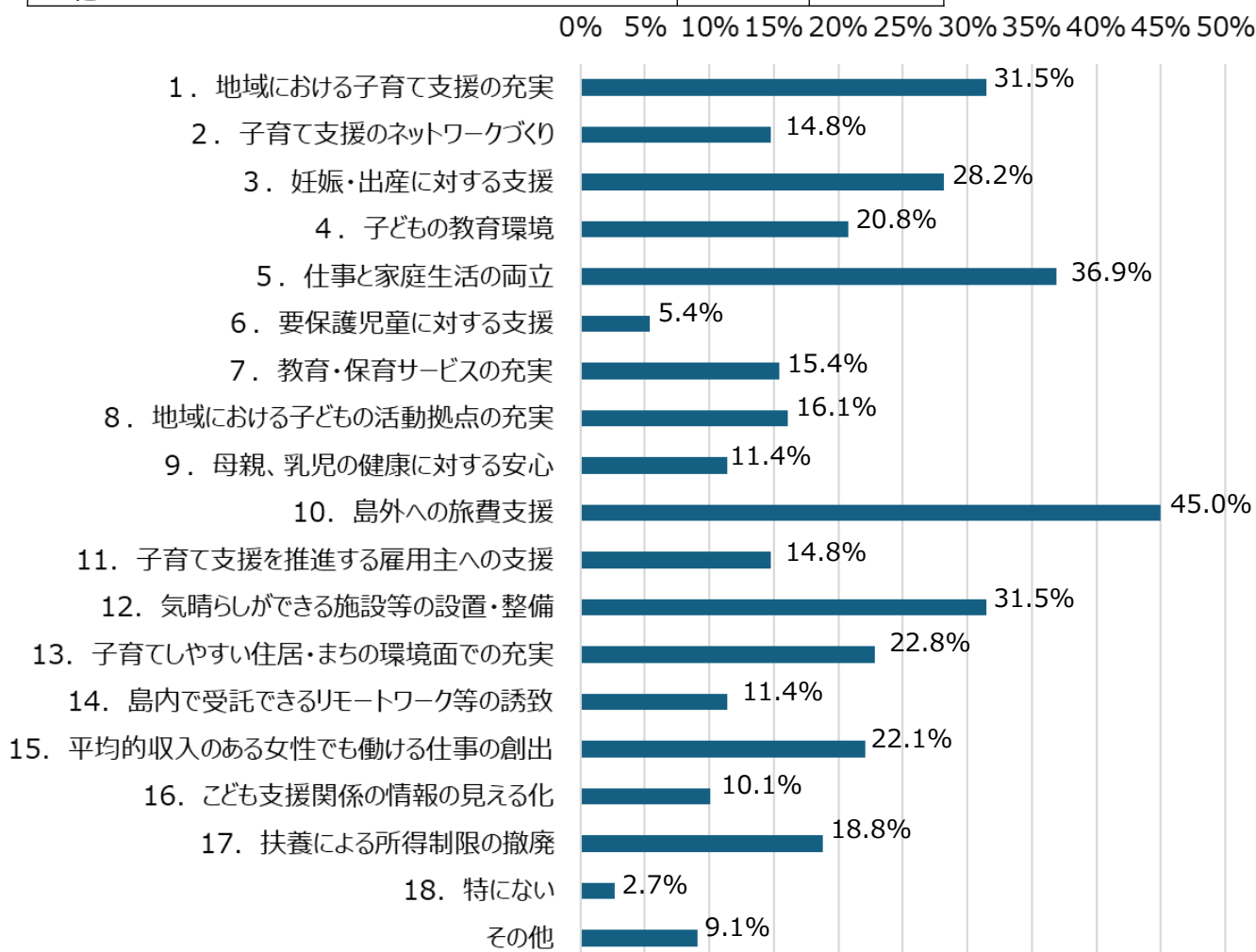
問30

複数回答

子育てにの不安や負担を解消するために、どのようなことが必要だと思うか

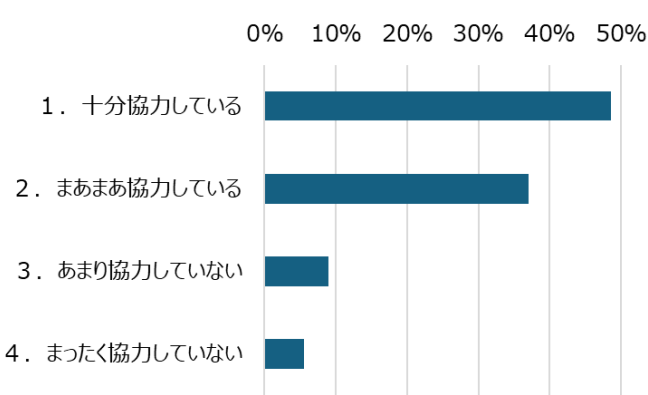
(n=149)

	回答数	割合
1. 地域における子育て支援の充実	47	31.5%
2. 子育て支援のネットワークづくり	22	14.8%
3. 妊娠・出産に対する支援	42	28.2%
4. 子どもの教育環境	31	20.8%
5. 仕事と家庭生活の両立	55	36.9%
6. 要保護児童に対する支援	8	5.4%
7. 教育・保育サービスの充実	23	15.4%
8. 地域における子どもの活動拠点の充実	24	16.1%
9. 母親、乳児の健康に対する安心	17	11.4%
10. 島外への旅費支援	67	45.0%
11. 子育て支援を推進する雇用主への支援	22	14.8%
12. 気晴らしができる施設等の設置・整備	47	31.5%
13. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	34	22.8%
14. 島内で受託できるリモートワーク等の誘致	17	11.4%
15. 平均的収入のある女性でも働ける仕事の創出	33	22.1%
16. こども支援関係の情報の見える化	15	10.1%
17. 扶養による所得制限の撤廃	28	18.8%
18. 特にない	4	2.7%
その他	13	9.1%



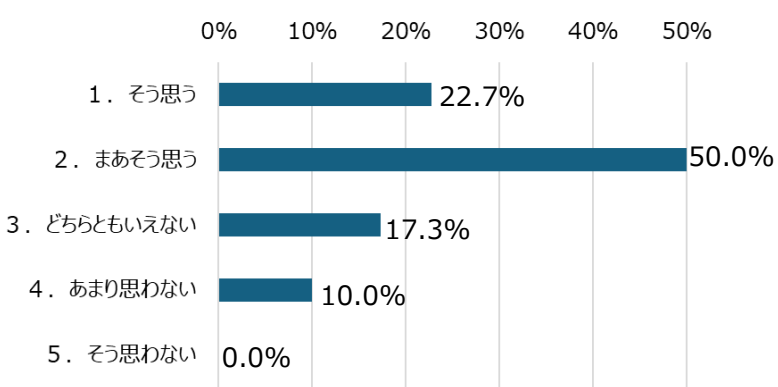
問31	家族で協力して子育てをしているか
単数回答	

	回答数	割合
1. 十分協力している	71	48.6%
2. まあまあ協力している	54	37.0%
3. あまり協力していない	13	8.9%
4. まったく協力していない	8	5.5%
計	146	100.0%



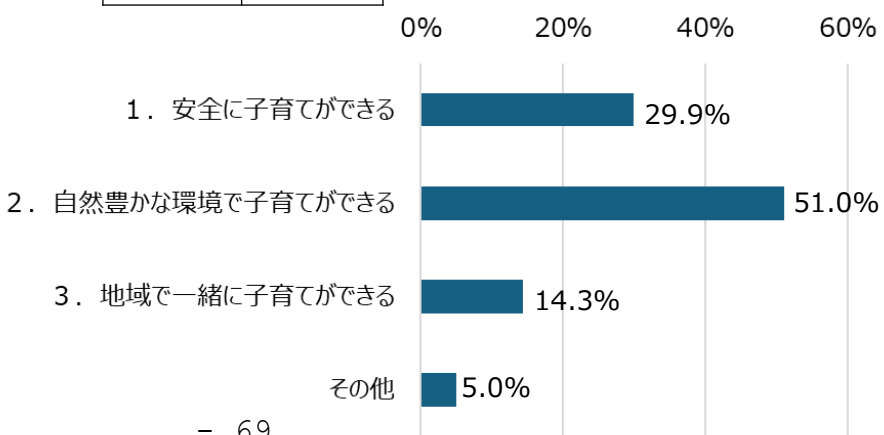
問32	本町は子育てしやすいと思うか
単数回答	

	回答数	割合
1. そう思う	34	22.7%
2. まあそう思う	75	50.0%
3. どちらともいえない	26	17.3%
4. あまり思わない	15	10.0%
5. そう思わない	0	0.0%
計	150	100.0%



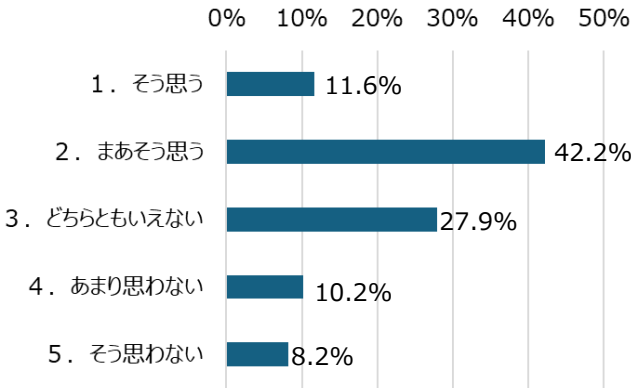
問33	本町で子育てをするメリットは何か
単数回答	

	回答数	割合
1. 安全に子育てができる	44	29.9%
2. 自然豊かな環境で子育てができる	75	51.0%
3. 地域で一緒に子育てができる	21	14.3%
その他	7	5.0%
計	147	100.0%



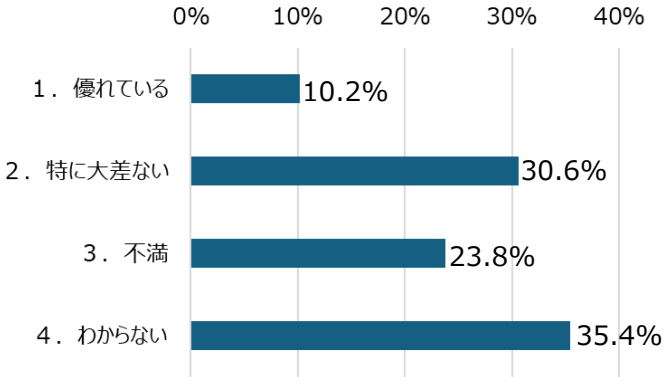
問34	本町は子育てに力を入れていると思うか
単数回答	

	回答数	割合
1. そう思う	17	11.6%
2. まあそう思う	62	42.2%
3. どちらともいえない	41	27.9%
4. あまり思わない	15	10.2%
5. そう思わない	12	8.2%
計	147	100.0%



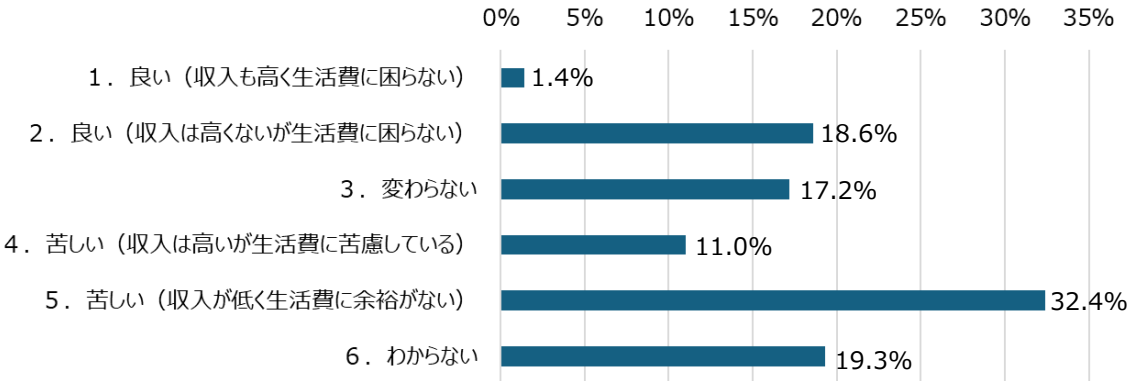
問35	本町の子育て支援施策は他市町村と比べてどう思うか
単数回答	

	回答数	割合
1. 優れている	15	10.2%
2. 特に大差ない	45	30.6%
3. 不満	35	23.8%
4. わからない	52	35.4%
計	147	100.0%



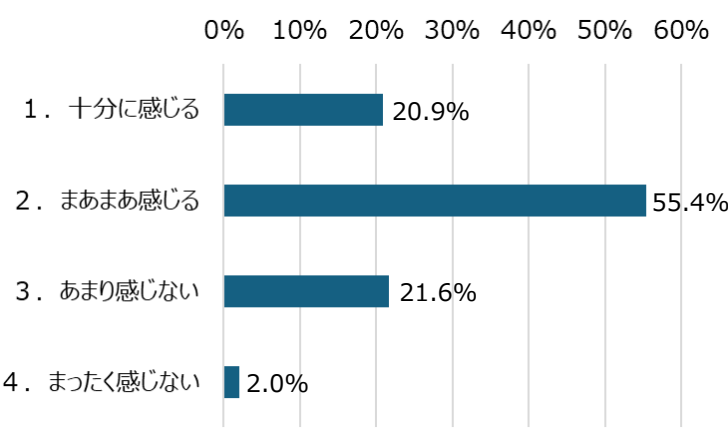
問36	本町の子育てにおける経済的生活環境は他市町村と比べてどう思うか
単数回答	

	回答数	割合
1. 良い（収入も高く生活費に困らない）	2	1.4%
2. 良い（収入は高くないが生活費に困らない）	27	18.6%
3. 変わらない	25	17.2%
4. 苦しい（収入は高いが生活費に苦慮している）	16	11.0%
5. 苦しい（収入が低く生活費に余裕がない）	47	32.4%
6. わからない	28	19.3%
計	145	100.0%



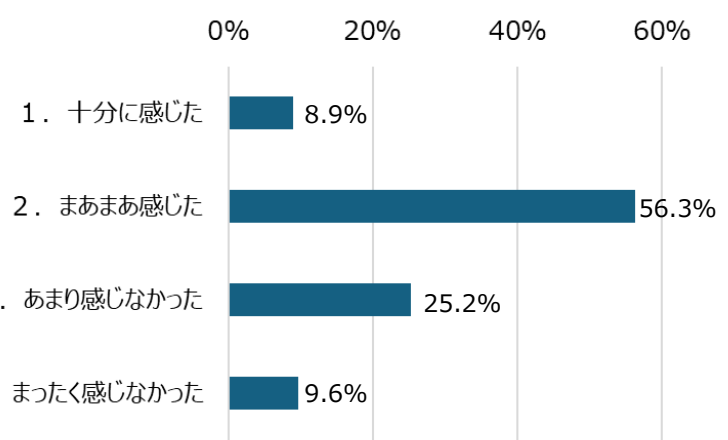
問37	子育てが地域の人に支えられていると思うか
単数回答	

	回答数	割合
1. 十分に感じる	31	20.9%
2. まあまあ感じる	82	55.4%
3. あまり感じない	32	21.6%
4. まったく感じない	3	2.0%
計	148	100.0%



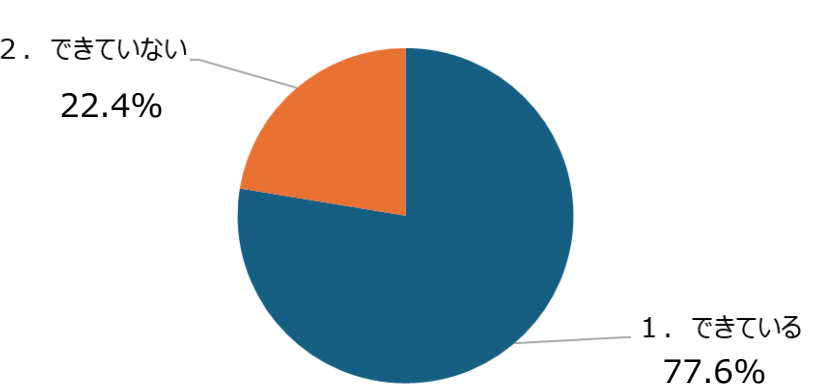
問38	妊娠期から出産までの子育て支援・施策について、満足感・充実感を感じられたか
単数回答	

	回答数	割合
1. 十分に感じた	12	8.9%
2. まあまあ感じた	76	56.3%
3. あまり感じなかった	34	25.2%
4. まったく感じなかった	13	9.6%
計	135	100.0%

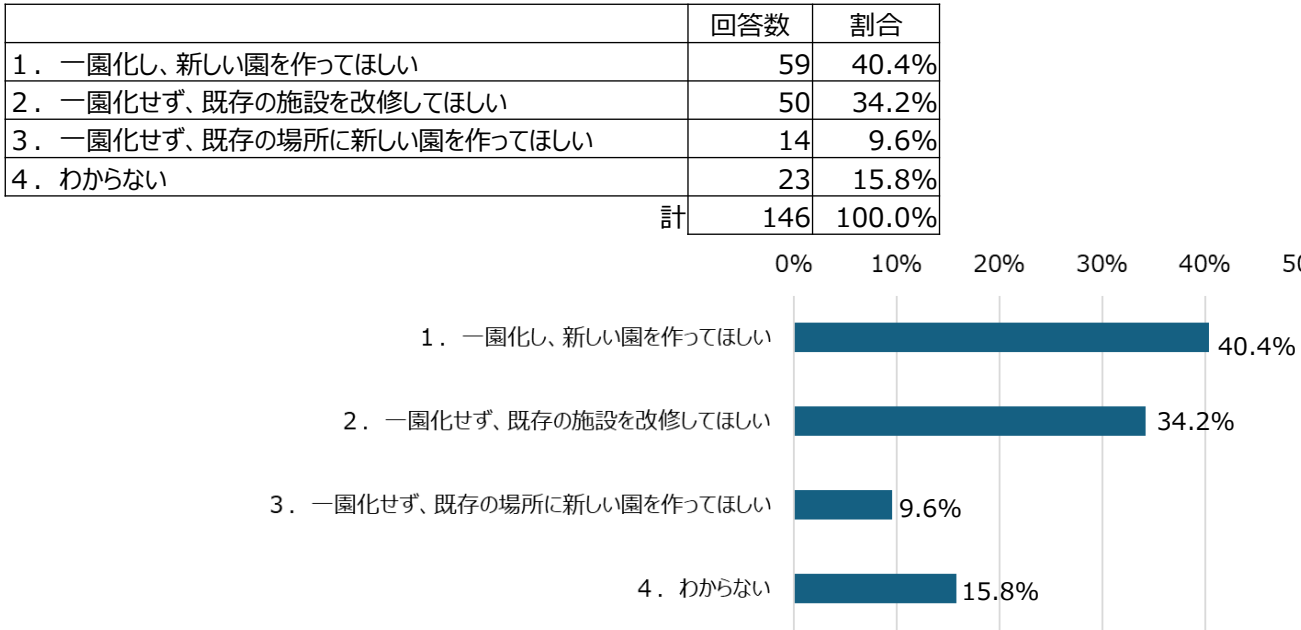


問39	希望した時期や時間に教育・保育サービスを利用できているか
単数回答	

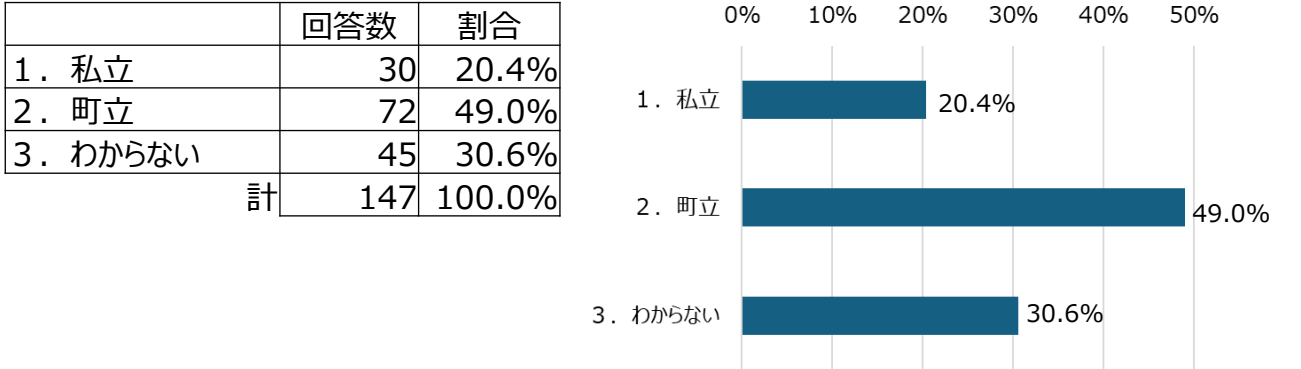
	回答数	割合
1. できている	114	77.6%
2. できていない	33	22.4%
計	147	100.0%



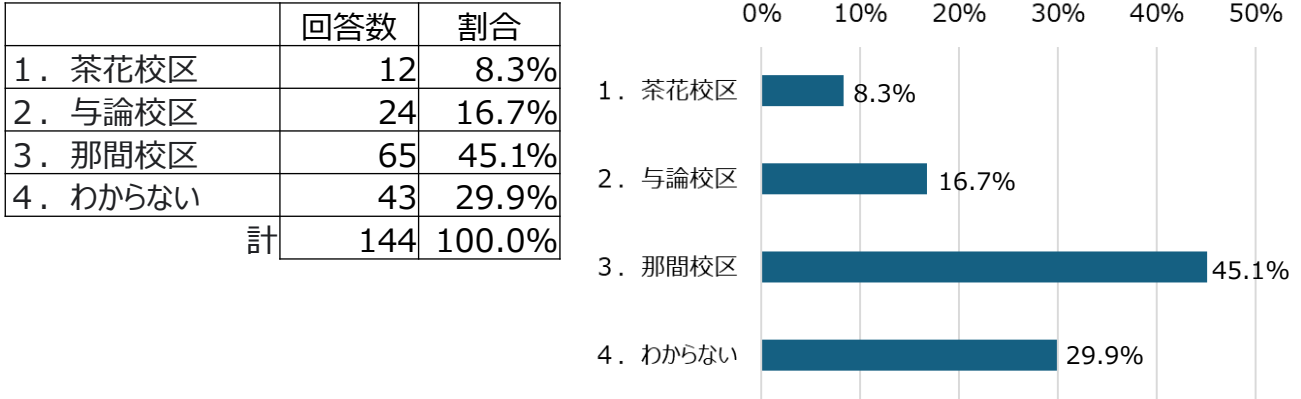
問40	町立こども園を更新するにあたり一か所にまとめて一園化する場合と、既存の場所に建て替える場合どちらが好ましいと思うか
単数回答	



問41	町立こども園が茶花地区以外に一園化された場合、私立・町立どちらを利用したいか
単数回答	



問42	町立こども園が一園化された場合、不便だと思う地区（校区）
単数回答	



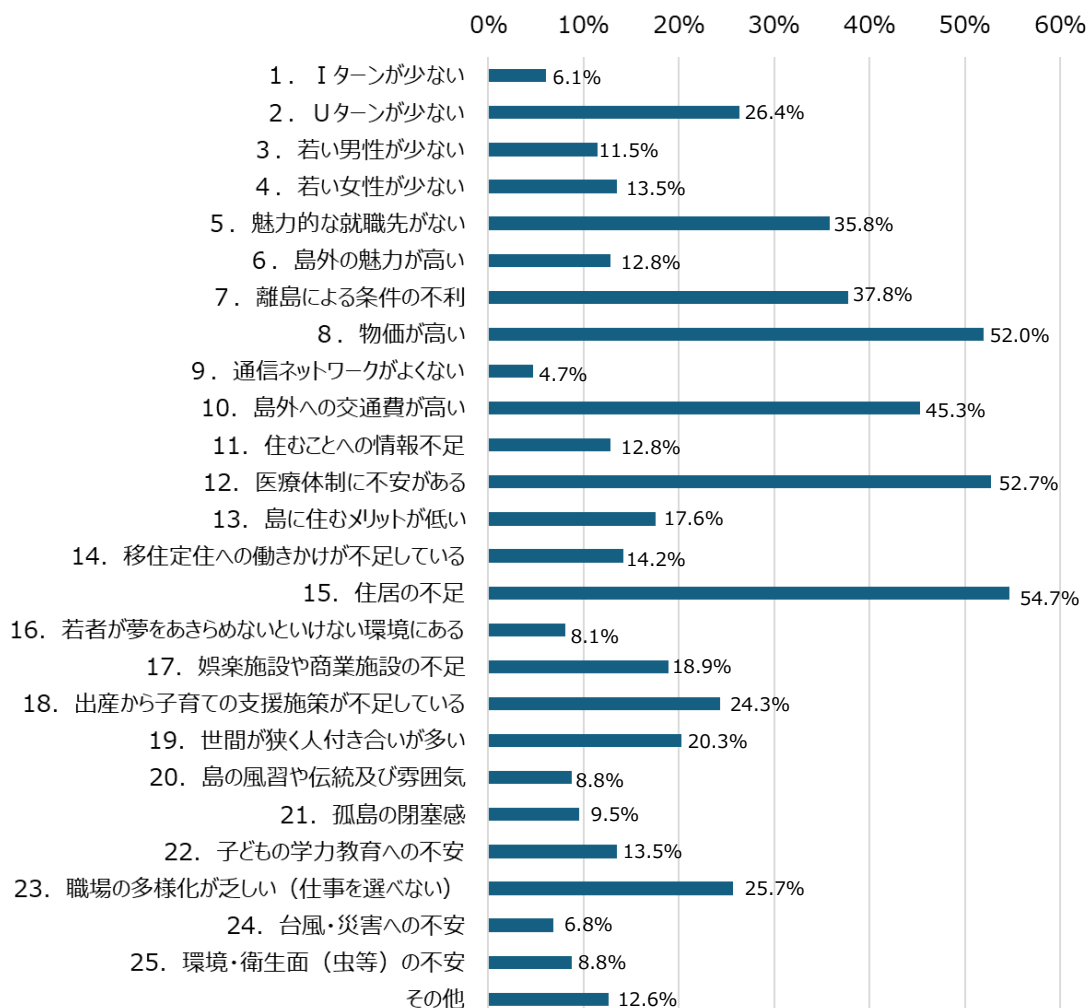
問43

複数回答

少子化の要因は何だと思うか

(n=148)

	回答数	割合
1. Iターンが少ない	9	6.1%
2. Uターンが少ない	39	26.4%
3. 若い男性が少ない	17	11.5%
4. 若い女性が少ない	20	13.5%
5. 魅力的な就職先がない	53	35.8%
6. 島外の魅力が高い	19	12.8%
7. 離島による条件の不利	56	37.8%
8. 物価が高い	77	52.0%
9. 通信ネットワークがよくない	7	4.7%
10. 島外への交通費が高い	67	45.3%
11. 住むことへの情報不足	19	12.8%
12. 医療体制に不安がある	78	52.7%
13. 島に住むメリットが低い	26	17.6%
14. 移住定住への働きかけが不足している	21	14.2%
15. 住居の不足	81	54.7%
16. 若者が夢をあきらめないといけない環境にある	12	8.1%
17. 娯楽施設や商業施設の不足	28	18.9%
18. 出産から子育てでの支援施策が不足している	36	24.3%
19. 世間が狭く人付き合いが多い	30	20.3%
20. 島の風習や伝統及び雰囲気	13	8.8%
21. 孤島の閉塞感	14	9.5%
22. 子どもの学力教育への不安	20	13.5%
23. 職場の多様化が乏しい（仕事を選べない）	38	25.7%
24. 台風・災害への不安	10	6.8%
25. 環境・衛生面（虫等）の不安	13	8.8%
その他	18	12.6%

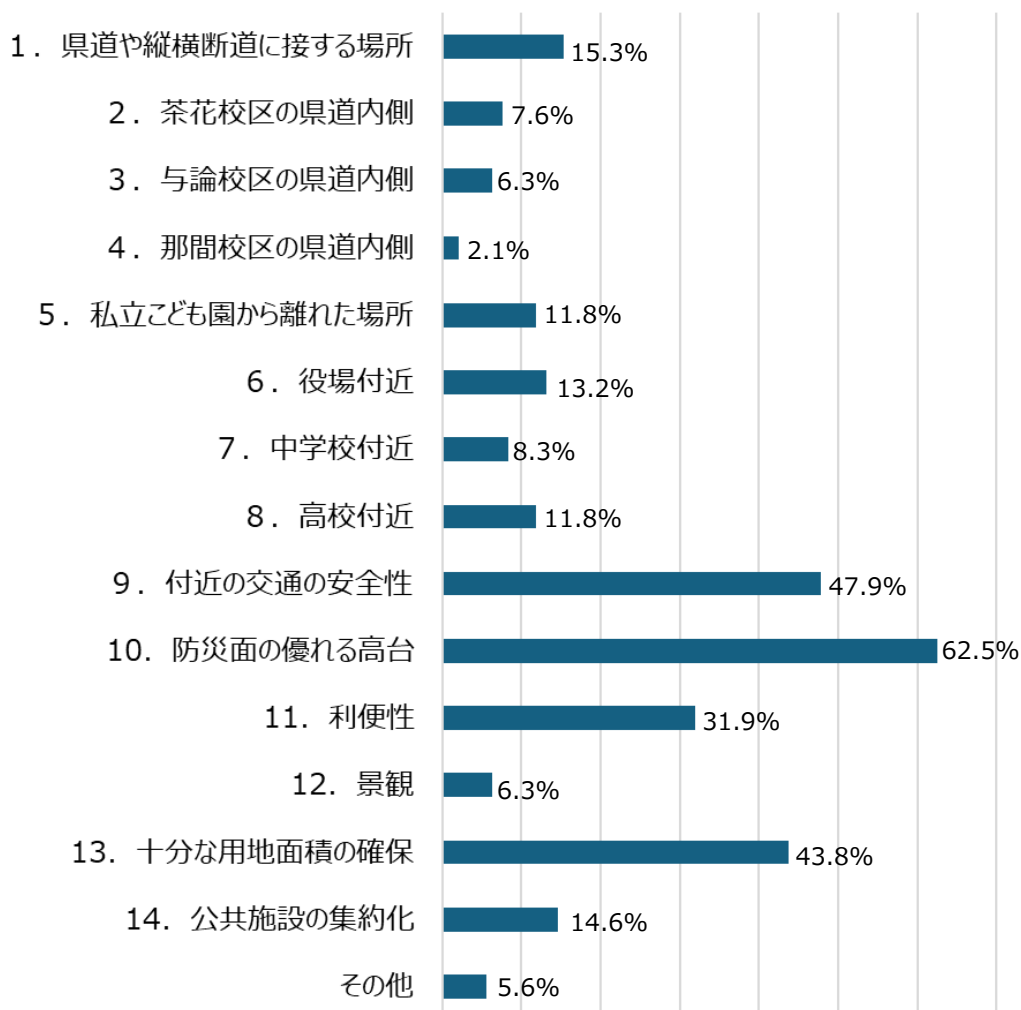


問44	町立こども園を一園化する場合に検討する場所や条件について重要だと思うことは何か
複数回答	

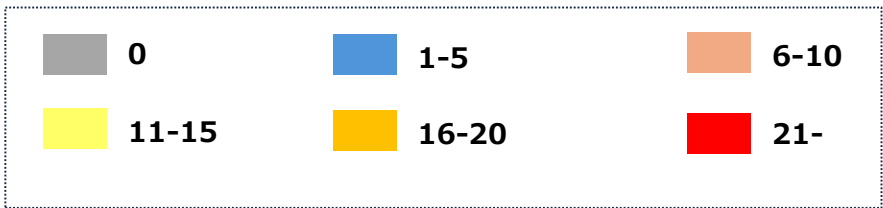
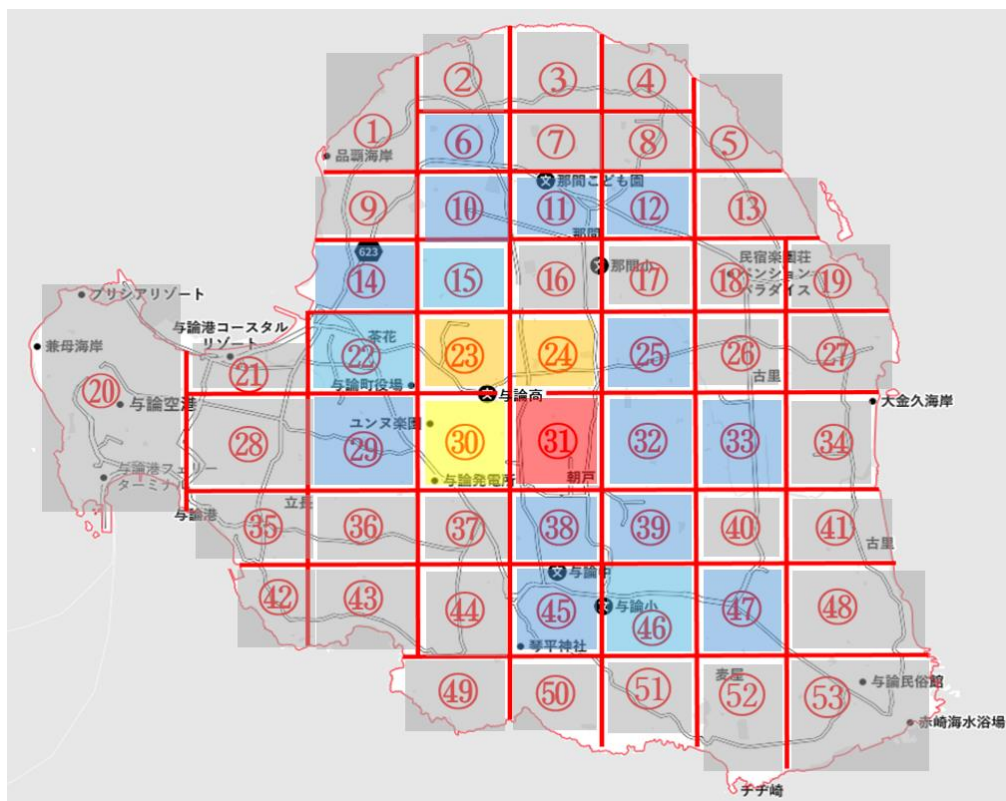
(n=144)

	回答数	割合
1. 県道や縦横断道に接する場所	22	15.3%
2. 茶花校区の県道内側	11	7.6%
3. 与論校区の県道内側	9	6.3%
4. 那間校区の県道内側	3	2.1%
5. 私立こども園から離れた場所	17	11.8%
6. 役場付近	19	13.2%
7. 中学校付近	12	8.3%
8. 高校付近	17	11.8%
9. 付近の交通の安全性	69	47.9%
10. 防災面の優れる高台	90	62.5%
11. 利便性	46	31.9%
12. 景観	9	6.3%
13. 十分な用地面積の確保	63	43.8%
14. 公共施設の集約化	21	14.6%
その他	8	5.6%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%

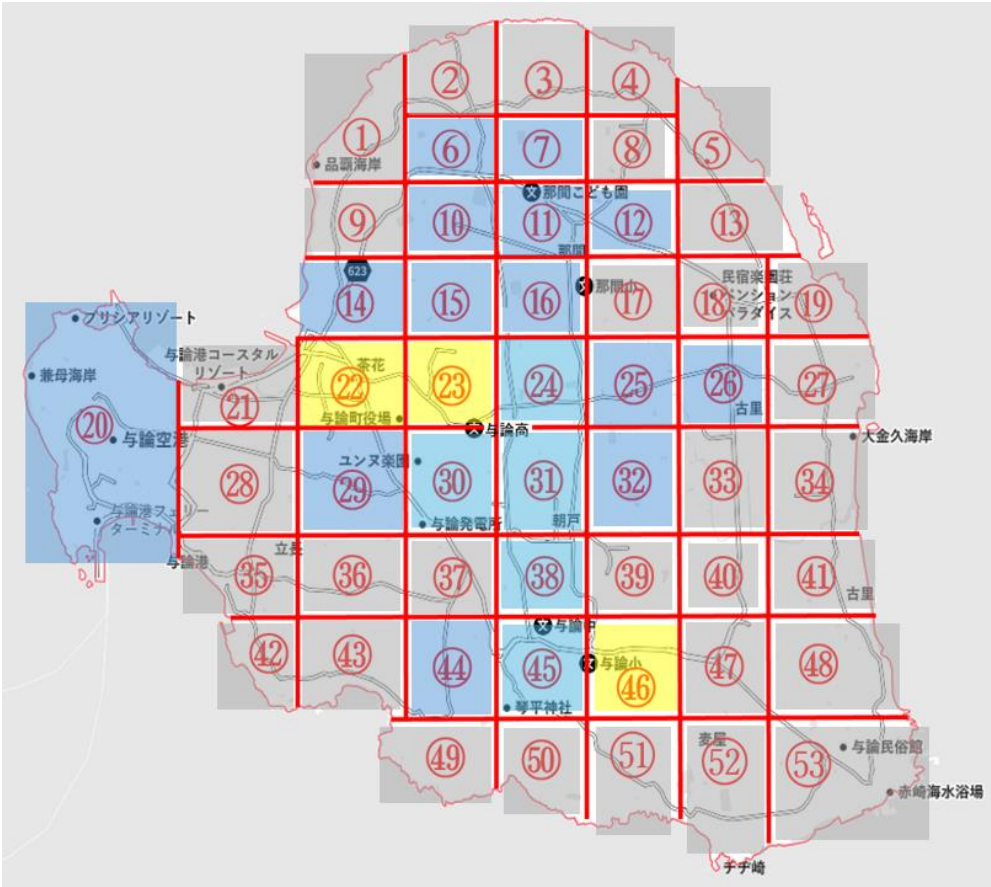


番号	回答数	割合
1	0	0.0%
2	0	0.0%
3	0	0.0%
4	0	0.0%
5	0	0.0%
6	1	1.0%
7	0	0.0%
8	0	0.0%
9	0	0.0%
10	1	1.0%
11	2	2.0%
12	1	0.0%
13	0	0.0%
14	2	2.0%
15	8	7.0%
16	0	0.0%
17	0	0.0%
18	0	0.0%
19	0	0.0%
20	0	0.0%
21	0	0.0%
22	8	7.0%
23	20	16.0%
24	19	16.0%
25	1	0.0%
26	0	0.0%
27	0	0.0%
28	0	0.0%
29	2	0.0%
30	11	9.0%
31	21	17.0%
32	3	2.0%
33	1	0.0%
34	0	0.0%
35	0	0.0%
36	0	0.0%
37	0	0.0%
38	4	3.0%
39	4	3.0%
40	0	0.0%
41	0	0.0%
42	0	0.0%
43	0	0.0%
44	0	0.0%
45	5	4.0%
46	7	6.0%
47	1	0.0%
48	0	0.0%
49	0	0.0%
50	0	0.0%
51	0	0.0%
52	0	0.0%
53	0	0.0%
計	122	100.0%

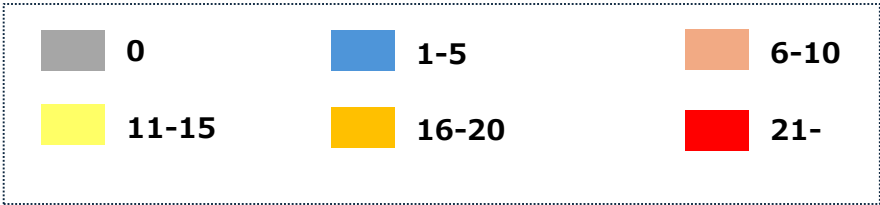


家庭にとって利便性が良く建てられたら良いと思う場所

計	100	100.0%
---	-----	--------



回答数



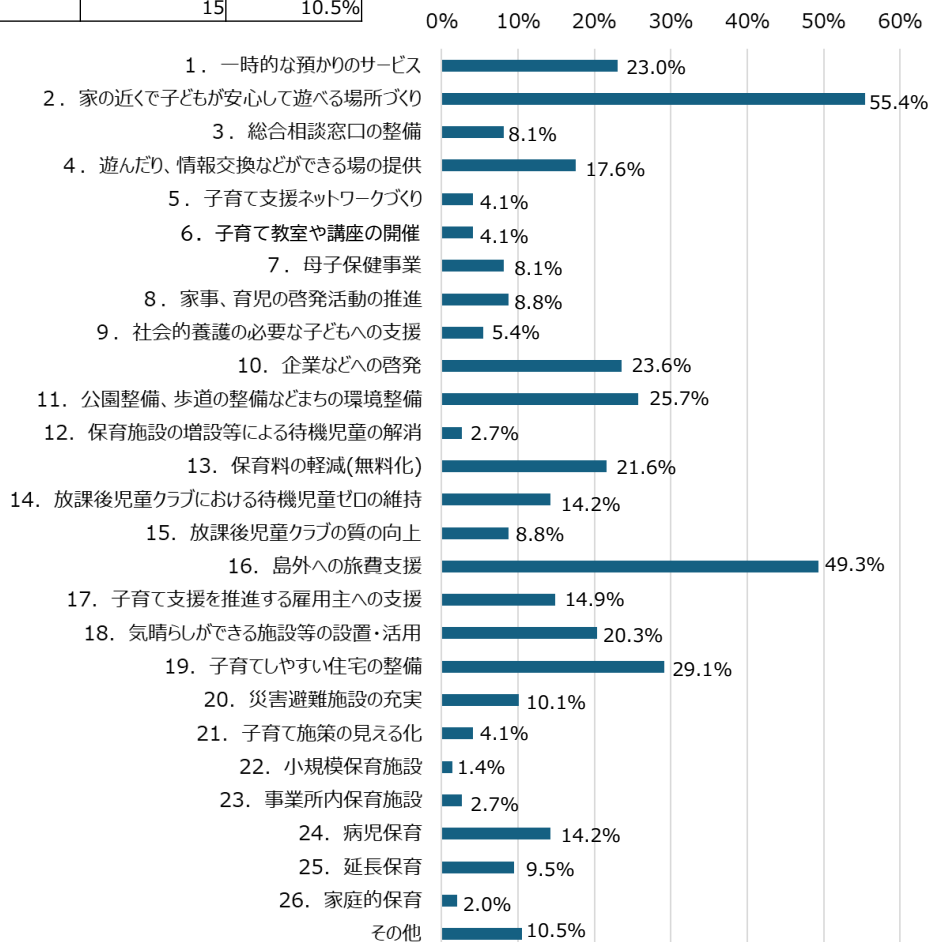
問46

複数回答

子育て支援として充実してほしいと思うもの

(n=148)

	回答数	割合
1. 一時的な預かりのサービス	34	23.0%
2. 家の近くで子どもが安心して遊べる場所づくり	82	55.4%
3. 総合相談窓口の整備	12	8.1%
4. 遊んだり、情報交換などができる場の提供	26	17.6%
5. 子育て支援ネットワークづくり	6	4.1%
6. 子育て教室や講座の開催	6	4.1%
7. 母子保健事業	12	8.1%
8. 家事、育児の啓発活動の推進	13	8.8%
9. 社会的養護の必要な子どもへの支援	8	5.4%
10. 企業などへの啓発	35	23.6%
11. 公園整備、歩道の整備などまちの環境整備	38	25.7%
12. 保育施設の増設等による待機児童の解消	15	2.7%
13. 保育料の軽減(無料化)	32	21.6%
14. 放課後児童クラブにおける待機児童ゼロの維持	21	14.2%
15. 放課後児童クラブの質の向上	13	8.8%
16. 島外への旅費支援	73	49.3%
17. 子育て支援を推進する雇用主への支援	22	14.9%
18. 気晴らしができる施設等の設置・活用	30	20.3%
19. 子育てしやすい住宅の整備	43	29.1%
20. 災害避難施設の充実	15	10.1%
21. 子育て施策の見える化	6	4.1%
22. 小規模保育施設	2	1.4%
23. 事業所内保育施設	4	2.7%
24. 病児保育	21	14.2%
25. 延長保育	14	9.5%
26. 家庭的保育	3	2.0%
その他	15	10.5%



Ⅲ 自由記述

問9	子育て(教育)をする上で、周囲(身近な人・行政担当者など)からどのようなサポートがあれば良いと考えるか
記述式回答	

- 相談しやすいところ
- 1人っ子かつ小学4年生以降学童に行けなくなるので、長期休みが心配。経済的負担が少なく、安心していけるような場所があってほしい。
- 子供が全員言うことを聞くような恐れられている先生がほしい。難しい本を無理やりにでも読んでもらいたい。
- 金銭的なサポート
- 学校の先生以外からの進路や学習アドバイス等
- 緊急時に見てもらえる施設。子供だけで留守番の時にご飯を作ってもらえるサポート
- 自分から相談しに行く人はあまりいないと思うので、多少強制的でも相談させるようなサポートがあると話すかも
- 宗教色のない学童。茶花小学校内にあるといい。誰でも頼みやすいベビーシッター。
- 緊急時に安心して預けられる託児所
- 地域が育てるサポート。公民館を利用した多世代によるサポート。
- 0歳の時期は些細な心配や不安が募りやすい。週に1～2回ほど定期的に集まって相談できるような場がほしい。
- 共働きで身内が与論にいないので、急用などで子供を預けられる場所があればありがたいと思う。
- 学校が休みの時など学校近くに児童館など子供たちが気軽に集まれる施設があればよいと思う。
- 放課後学習教室など
- 島に異動できた先生、警察官等は、なかなか家族以外の方からサポートを受けにくいので、サポート窓口等の案内が異動時にあってほしい。
- 母親や父親の体調不良時に受けられるサポートがあると嬉しい。(買い物や家事など)
- 気軽に子供同伴で行けて、楽しめる場所(屋内・外)公園等の充実 こども園以外で少しの時間だけでも子を見てくれるところがあるといい(スポーツで体を動かしたいとき)
- 緊急時の預け先やお手伝い 食事デリバリー 日用品デリバリー
- まだこども園などに預けていない家庭へのイベント開催などの通知があると親同士・子供同士の交流ができていいと思います。
- 与論でも子育てサポート？、出産したあとに受けられるサービスをもっとふやしてほしい (SNSなどでは家事代行や産後ケアを見かけるので) 小さい島なので人数的にも難しいかもだが。
- 知らない制度や催しなどを教えてもらえると助かる。
- 同じような悩みを持つ子育て世代が語り合う場や専門性の高い方からアドバイスをいただける場の提供。
- 学校から帰ってきてからの勉強のサポート

- こども園などのお迎えをしてくれると嬉しい。助かる（たまに）
- 共働きなので、どちらも仕事が入っているときに子供を見てもらいたい。海の仕事をするので日曜のイベント等、月～土以外にも臨時で預かってくれるところがあると嬉しい。
- 気軽に相談できる祖父母が身近にいるのが一番いい。病気の時や成長していくうえで不安なことや心配なことを聞いてもらえるだけで安心する。
- 島外へ行くときの交通面の旅費のサポート援助
- 身近な人には顔を覚えてもらい、防犯の観点から挨拶を交互に行えればと思う。
- 夏休みなどの長期休暇の時に子供を預けれる場所 去年はヨロンSCの夏休み何日間かあったけど今年は何もなく、毎日仕事なので子供のことをみれない、遊びにも連れていけない、YouTube・ゲーム三昧になってしまっているため
- 医療費が無料になれば助かる/短時間ベビーシッターのような人、団体を支援して実現できるようにしてほしい←病児保育もあると嬉しい
- 特に産後1か月後の家事や子育て（ご飯を作ってくれる・届けてくれる/数時間子どもを見てくれるなど）の支援・発達、発育についてや、子供へのかかわり方を学べる機会
- 役場に行きづらい。児童手当など稼ぎがある夫に入るが見直してほしい。夫は育児ノータッチ（別居中）なのに私の口座に移したくても移せないで困る。結局は使われてしまう。子供のためにためておきたくても園から出ているお金と（だから渡さなくていい考え）これから将来の子供たちがかわいそう。
- 支援センターの数を増やし、子供を一時的に預けられる場所が充実してほしいと思う。また、室内での遊び場が少なく、真夏や雨の日の過ごし方が限られるので増やしてほしい。
- 暑くて外出するのが困難なので、児童館等があれば助かる
- 与論に残れの一点張りではなく、色々な意見を尊重してほしい
- 子供が病気の時に有休を使うがあつという間になくなってしまう。子供に関する休みが取れる制度・日数を増やしてほしい。
- お母さんが仕事をしなくても良い社会/小学校にあがるまでは、家にいても生活ができるような支援または短時間労働/生活が大変な世帯には、農家がつくりすぎた野菜を届けるなどの支援が必要だと思う
- 島外から来たばかりで、どんなサポートがあるのかよくわかっていないのが、とても不安です。
- 子育て世帯に金銭的サポートが一番ありがたい。
- 金銭的支援
- スポーツクラブやスポーツ少年団、イベント等に係る子供の送迎/部活動への旅費補助/宿題のサポート
- 以前のように各小学校に地域の方にご協力いただいて放課後指導員を2－3名お願いして、学校後から、スポ少まで1，2時間の間、帰宅して再登校せずにそのまま活動にはいれるような取り組みを再開してほしい。スポ少前に宿題をしてもらえると、帰宅後家族の時間はとれるし、一度帰宅して無事学校に戻れたのか親も心配することなく定時まで仕事にも復帰しやすいと思う。
- 地域の行事に参加する際、未就学児をみってくれる場所がほしい

- 健診はめったにないので、そのタイミングで相談できないこともあるので、行政担当者主催のイベントの一部で「相談もできますよ」的なコーナーがあると足を運びやすい。赤ちゃん向けの足型イベントなどがあつたと思うが、そういったイベント希望。1歳までは親子向けの参加型イベントの開催があつたかと思いますが、2.3歳以降は、そのようなイベントがないので定期的に開催してほしい。3歳くらいになると1歳のころとは違う悩みも出てくる。
- 子供が病気の時に有休を使うがあつという間になくなってしまう。子供に関する休みが取れる制度・日数を増やして
- 飲食店の子供用のイス、皿などの充実 おむつ台、授乳室などの充実 買い物時のカートの充実
- 日ごろから父、母以外の子育てにかかわってくる親戚はいません。親族以外で父母が子どもを見ることができないとき、緊急でも預かってもらえる支援の輪があるとありがたいです。この島は親族間のトラブルが多く生きにくい、子育てしにくさを感じます。
- 子育て経験者からのアドバイス。お茶会など。
- 自分以外に子供を一時的にみてもらえる環境
- 祖父母や知人に子供を預けられない時に、一時的に預けられる格安な場所があると便利かも
- 風邪等の子ども預かり。与論町の子育て支援を徳之島のレベルに引き上げてほしい。
- 挨拶運動やラジオ体操は朝こそ忙しく負担に感じる
- 子どもと参加できる体験できる場所やこども園が休みの時に通えるような居場所があつたら助かります。
- 医療費無料
- 親子で遊べる室内の遊び場の提供
- 同じ悩みや心配を持った親に繋いでもらえるサポートがあると良い
- 屋内での自由なプレイパークみたいな所があつて欲しいです
- ・学童の情報がまとまっているもの。・子どもが参加できるイベントがまとまっているもの。・習い事やスポーツクラブの情報がまとまっているもの。
- 意味のない宿題を減らす、遊具を増やす、図書館を集まりやすい環境(カフェや夜間、相談場所、子供の居場所)にする、子供会は一つにして別組織にする
- 住みやすい場所、お金
- 当日利用可能の病児保育
- 今以上のことは望んでいません。継続をお願いしたい。
- 私が知らないだけで既にありましたら申し訳ありません！我が家のように祖父母やきょうだいの手伝いがいる家族は不要ですが、たびんちゅや、先生のお子さんなど、時間単位でベビーシッターのようなものがあれば、とても助かるだろうなあと考えています。こちらから、お子さんみましますと申し上げても遠慮されるので、行政や民間でもそういうのがあればいいなと思いました。
- 少しでもあずかるとなると、子連れでは行きにくい用事をしたり、家事をすませたり、息抜きをしたりできる。それによってこどもとの時間を大切にできる。
- 食事作りなどの家事ヘルプ

- 日頃の声掛けや見守り
- 託児等、進路相談、情報交換、経験者のアドバイスなど
- 保育園以外にもっと気軽に子供を預けられたり遊べる場所が欲しいです

問35	子育て支援政策の参考にしてほしい自治体
記述式回答	

都道府県	自治体名
鹿児島県	鹿児島市/南さつま市/霧島市/薩摩川内市/中種子町/天城町/伊仙町/徳之島町
宮崎県	宮崎市
大分県	大分県庁
島根県	邑南町
兵庫県	明石市
大阪府	泉大津市
滋賀県	大津市
愛知県	愛知県庁
東京都	東京都庁
千葉県	いすみ市
埼玉県	さいたま市
山形県	山形市（児童遊戯施設べにっこひろば）
北海道	士幌町

問47	教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見
記述式回答	

- 子供向けの英語・英会話の教室を図書館の2階といった気軽に行ける場所でやってほしい。
- 保育園を一園化するなら、小学校も統合してほしい。
- 部活や少年団の活動で、他島に行く時の助成金が欲しい。また、島にも遠征に来てもらえるように、宿泊施設を設置したり、外から来た留学生を受け入れる寮ができると良いと思う。金銭的な面で、出産を諦める人が出ないように、子育てに関わる物への手厚い保障が欲しい。
- 子どもの人数は減っているのに、保育・子育てに関する組織は以前同様の規模で回しているので、子育て世代が忙しく、本来の「子供と向き合う時間」が削られている。地域のイベントも大事だけど、現状に合わせて見直すべき。働き方改革DXは重要。
- ・学びごとへの補助・援助(塾など学習できる場所を増やす) ・幼少期から大学卒まで本土並みの経済的支援 ・保護者の収入により進学できない学生がいらないような取り組み
- 妊娠、出産時の支援はありがたかったが、小学校入学後の働く母親への支援が少なく、働きにくいとすることがある(学童保育の補助・町の委託施設は宗教色が強いなど)。預けられないことによって収入面の負担もある。夏は気温が高く外で遊んできなさいと気軽に言えないので、季節問わず遊べる場所があるとありがたい。連休や長期休みも多いので食事の用意も大変。
- このアンケート内容は父親・母親で回答内容が大きく変わりそうだなと感じたので。父母それぞれ回答できるとベストだと感じました。与論ではまだ「子育ては女性がやるもの」という考えがすごく多い(シニアでは男女ともほぼ100%、若者でも一部男性)ので、どうすればそういったマインドを捨てさせることができるかが難しい課題だと思います。
- 児童館など小さな子は親と、小学生は放課後などに自由に遊びに行くことのできる場所があるとよい。・公園も少ないのでもっと子供が遊べる場所があるといいと思う。ゆいランドは日影がなさすぎるので、もっと屋根のある場所を作ったらよいと思う。
- 3年前に島外から移住してきて、最初の感想が「安心安全で子育てしやすい」でした。地域の方々のまなざしのおかげで、母子家庭でも安心して暮らせます。
- 島の子供たちが家族で過ごす時間が少なすぎる。親が休みの日は園ではなく家庭で過ごす。週6日、朝から夕方まで園で過ごす。どんなになれた場所でも疲れる。体調不良、親と過ごすべき時間に離れすぎ、子の自尊心の低さ、自死の多さ、不登校、発達不安、...など幼少期の過ごし方に問題を感じる。子供が大きくなったら習い事。リラックスして自分と向き合う時間がない。賃金の低さもあるが、週6子供は園に、という当たり前の意識に改革。愛されているという安心を子供に。日々の暮らしを子供に見せられる環境を。親という環境を強く望む。
- 与論町役場の手厚いサポートに助けられている
- ①島内で出産できるようにしてほしい。出産のために島外に行くのは、金銭的にも何的にもかなりの負担。②与論病院は待ち時間が長く、子供と行くと半日以上時間がとられてしまう。パナウルは、待ち時間が短い、他の選択肢として病院を増やしてほしい。③沖縄への利便性が悪い。離島割を使っても交通費が高く、運行時間、便数とも改善の余地があるように感じる。(現状では、日帰りができないのも不便) ④道路に歩道がほとんどない。交通量の多いところは、歩道を設置してほしい。
- 一番いっしょにいないといけない乳幼児の時期に家庭で育てられない社会環境は異常である。子育てにお金がかかりすぎるため、フルタイムで働き、さらに残業しなければいけない。グローバル金融主義→お互い様・おかげ様の社会に戻すべき。これからの生きる力は起業し社会貢献する教育環境づくり。イエスマンや指示待ちが多い。

- 安心して出産、子育てをするためには、相談しやすい人と場所が必要。また、病児保育も必要な場面はあると思うが、体調不良の子供を預けるのは不安な思いをさせてしまって後悔している。親と子供が繋がりながら、安心して預けられる環境と周囲の協力体制が充実して欲しい。
- 自営業のため子育てにかかる経済的・時間的負担が多く、二人目への妊娠に前向きに考えることが難しい。仕事を休んだら休んだ収入が減るため育児休暇等の補助が自営業者にこそ必要だと感じる。与論島独自にこういった自営業への育児サポートがあれば移住促進にもなるのではないかなと思う。保育士の給与や待遇を挙げて保育者の人数を増やし待機児童を解消してほしい。ただし保育者の質が落ちないように研修制度などは今以上に充実させてほしい。里帰り出産が困難で沖縄等で出産する場合の妊婦以外の家族への旅費や食事、宿泊費などもサポートしてほしい。島での子育ての魅力はたくさんあるが、島外へのPR不足だと感じる
- ①雨の日や、暑い日でも子供を連れて遊べる施設が欲しい。②医療体制の充実も大事だが、健康に対する教育も必要だと感じる。食べた物で体ができていくこと。風邪＝病院ではなく、家でも手当てできる事がある、など。親の知識、意識を上げる事も重要。③島外への遠征費の負担、軽減。
- 高1の息子が将来やりたいこと、職業が見つからず心配。離島で限られた職業しかないからでは・・・と後悔することがある。収入も十分でないのでオープンキャンパスにも参加させられない。離島のハンデを感じる事が多くなった。幼少期の子育て支援も大事だがキャリア教育や受験進学支援も充実させてほしい。
- プチ移住（子育て）未就学児専用おためし
- 自然いっぱいの中で子育てできることは親だけではなく、子供たちにとってもとても良いです。今町立のこども園にお世話になっていますが、ハレルヤこども園に預けている所のみハレルヤの病児保育を利用できると聞いています。共働きでどうしても仕事を長期で休まないといけない状況になるので、町立こども園に預けている家庭でも利用できる病児保育施設ができるととてもありがたいです。
- 時短で働きたいが、そうすると税金を払うだけで生活は潤わない。もっと仕事を選べるといいなと思う。住環境を整えて子育て世代が住みやすくしてほしい。移住もしやすく。住むところがなければ人口は増えない。日陰のある公園。雨の日でも遊べる屋内施設。（ボーンレンドみたいなやつ）
- 与論では高校を卒業すると島外に出ることになるのでお金がかかり周りの先輩方の話を聞いても交通費が高額なため子供たちを帰省させることができないと聞くので子供たちが就職するまでは助成を考えてほしい。また親の収入関係で自分が進学したい学校を望めないことがないように支援をしてほしい。町内では公園が不足しているように感じる。以前はアスレチック的な遊具もあったため子供たちの運動能力も向上できたと思うが、学校も管理が難しいのか使えない遊具が多くなった。
- 放課後学習教室の再開
- 給食費無償化を実現してほしい
- 年長になり、3園の交流会があって各園に来援する取り組みは素晴らしいと思う。一園化も便利ですが、それぞれの園での個性もあるので、現状のままもありなのではないかなと思う。保育士不足等の解決のためにもっと雇用面にも力を入れてもらいたいかなと。
- 子供が問題なく与論高校まで行け、島立ちできるような子なら与論はよいところと思うのかもしれないけれど、そうでないと困ることが多く島外に出ることをどうしても検討せざるを得ないのが残念です。
- 小、中、高の発達障害（軽度～）の子の学校での支援や学校に登校できない子供たちの居場所づくりや、学校に登校できるけど教室には入れない子の居場所づくりなどに力を入れてほしい。教育、保育などの先生方やスタッフの方の負担軽減などに前向きに力を入れていただけると子供たちにより教育や保育につながるのではないかと思います。（ITや補助員動員や作業の効率化、削減など）
- ・保育教諭の質(保育教諭の人材確保) ・雨天時でも遊べる屋内施設(アスレチックなどある程度の学年でも楽しめるような場所、行きたくなる公園) ・地域の人を巻き込んで与論ならではの遊び教室みたいなものを随時やってほしい(海遊び、魚のさばき方、地域探索など繰り返し遊べる料金設定で) ・所得が上がってほしい ・公園や町内のトイレに子供用トイレやおむつ交換台の設置希望

- 気軽に遊べる安全な施設が欲しい。遊べる場所が少ないので、休日など気軽に連れていける施設があると嬉しい。アスレチックなど昔はあったと聞いた。また出来たらいいと思う。
- 旅費の全額負担（妊娠期の島外への検診や出産時の旅費） 出産時の宿泊代全額負担 産婦人科医の常勤体制 子育て世代への支援金、給付金の充実
- ・乳幼児期はおむつ代がとてめにかかるので、兵庫県明石市のような毎月おむつ1袋プレゼントなどの支援があると助かります。・室内遊具などある場所があると雨の日などに行くところがなかったり、夏の暑い日(エアコン付き希望)子供を遊ばせることができるとうれしい・老人クラブの方々など時間がある方に子供の勉強サポートなどあると交流などもでき一石二鳥ではないかと思う。
- 与論でも補助金がもらえたり、よくなっていることが増えてきてとてもうれしい。ありがとうございます。もっとわがママを言えば、きりがないが。暑い日、雨の日にあそべる室内遊び場やカフェ・フードコートのような場所があると本当にうれしい。毎週末、どこいこうかと悩むので。オキナワや帰省して室内のひろばなどに行くと、とても快適なので与論にもあればいつも思っている。子育て支援センターも以前のパナウル診療所のような広い場所を使ってほしい。思い切り走ったり開放感がありよかった。ハレルヤこども園も素敵だが、一室だとなんとなくいきづらいつらい感じがする。
- ・子供が検診等で要検査になると専門医のいる島外の病院へ行くことになると思うが、検査を初回で行ってくれる病院がないので最低2回は行く必要があります。そういった場合の移動費の支援補助があると大変助かると思いました。インバウンド需要で宿も取りづらいので宿泊費の補助もあるとさらに助かると思います。
- 赤崎公園やゆいランドなど、新しくきれいな公園を作ってもらったのでたくさん公園に遊びに行きたいのですが、日陰もなく、また遊具も暑さで火傷しそうな程熱を持っている状態なので、なかなか連れていけません。せめて、日陰を作ってくださいか、屋内施設があればありがたいです。（サビチラ館や屋内運動場は空調管理ができないので、体温調節がまだできない幼児が遊ぶにはむずかしいです）
- 与論はわらびんちやーを大切にすあたたかい島だと感じる。こども園の先生方も一地域住民であり、とても近くに感じる。子供たちも与論でのびのびと成長していることに親としてとてもうれしく思う。感謝しております。共働きする中での子育ては時に苦しいこともある。両親がバタバタと心に余裕がなく働かざるを得ない時期は子供たちも何かを感じ体調を崩しがちである。病気になると仕事をやすんで看護する権利があるので職場の理解があり夫婦で交互に休んだり病児保育を利用したりするがやはり心苦しさもある。（町立こども園を利用する保護者は病児保育が利用できないので大変かと思う）病気にならないために栄養のある食事を準備するように心がけているが、仕事をした後に家事・育児はしんどい時もある。子育て世代・単身世代も夕飯（おかず）のテイクアウトができる店があると助かると思う。また子供の病気の前兆に鼻づまりがある。町内に耳鼻科があれば悪化する前に手が打てるのと思う。（与論病院は不定期のためなかなかタイミングよく利用できない現状）また、家事代行サービスがあれば利用したいとすることがある。
- 幼少期に親子のかかわりが多いことが必要にもかかわらず、こども園に育児をまかせている傾向があるように感じる。職場の時短はもちろんだが、こども園も役場とおなじように週5日にして土日親子の時間をとってほしい。それが難しい場合のために児童クラブ、シッター等のサービスはニーズにあわせて設立していけばいいと思う。親への教育の場が必要。一人で育児をしていると感じる保護者がいる環境になってはいけないと思う。
- 令和5年度に出産した。こども2人をおいて沖縄で待機→出産と何度経験しても負担が大きすぎると感じている。離島だからある程度の不便さはあるかもしれないが、出生率の低さを納得できてしまう。金銭的負担も大きすぎる。子育てに力をいれると聞いているが今後に期待したい。
- 島内在住の子育て世代としてまず休日に子供たちを連れて出かけたと思う施設が少ない。ないに等しい。屋内、屋外問わず子供たちだけで遊べて親同士で遠めで遊ぶ子供をみながらゆっくりと時間が過ごせたらお互い情報の共有、子育てに悩む親の不安の解消ができると思う。島外から魅力に見える島づくりよりも先に島内に住む人から見て、もっと魅力を感じる島づくりを希望したい。沖縄に行かないと楽しめない。

- 与論町では妊娠から二歳児の子育て期間を過ごしています。自分の経験や周りの様子から与論町は小学生からの期間を過ごすのにとってもいい環境だと思います。妊娠から乳幼児期は親戚・知人のいない私にとってとても孤独でした。(コロナ禍の影響もあり)内地(地元)でその期間を過ごしていたら親戚・知人はもちろんですがイオン等の赤ちゃんの負担にならない屋内施設で気晴らしができていたと思いました。あと自分は出産祝い金の対象にならず与論にきたことを後悔しました。また、与論は父親の育児参加が低いように感じます。飲み会の多さ、育休取得率の低さ、産前産後妊婦や新生児期間の育児をしない・父親の母に任せているなどの要因が考えられます。(TVのインタビューで産前産後羽を伸ばしたとの発言にドン引きしました)今後ぜひ父親の育児参加を増やすための取り組みをお願いします。与論の子供たちに現状のロールモデルはふさわしくないのでは。自然豊かで温かい人々に囲まれ、もっとここで子育てしたいと思うような街になることを期待します。
- もっともっと子供の医療に対して対策してほしい。急な目、耳、鼻の病気や発熱。与論では対応(即時)ができません。治療が遅れてしまっている。与論島に住めないと感じるのは子供達の安心が確立されていないところが私の”島で子育てできない。したくない。”と思う要因です。どうか少しでも解決できますようよろしくお願いします。
- 幼稚園までの保育については現状大きな不満はないが、小学生からの教育について不安がある。数年前に3小学校存続について議論されていたが、これから子供を通わせる親へ意見を聞いてほしい。自分の子は那間校区で同級生は30人未満。3つに分ける意味が感じられなくなっている今、本気で統合を考えてほしい。実際、複式学級も現実味を帯びていると感じるので、もし自分の子たちがそうであれば別の学校へ通わせざるを得ない(教育のために)と思っている。今後の小中高の教育が今いちばん不安です。
- 4月に与論に転勤してきたものですが病院自体が少ないことに不安になりました。耳鼻科(息子がアレルギー持ち)や眼科など常に常駐しておらず、小児科は午前中の診療のみ。もう少し病院関係の施設が増えて、いつでも受診できるような環境が今後増えてくれることに期待したい。飛行機代が高すぎて帰省できない。年1,2回離島割り以外に補助が出るとありがたい。
- 昔と気候が変わってきていて夏休みなど日中外遊びができないので、児童館が子供たち自身で行ける場所にあるといい。小〜高まで利用できる場所が欲しいです。また、進学のために生まれた時からお金を気にしなくてはいけなく、家族との旅行などする余裕もあまりない。島から沖縄、鹿児島に行くまでの交通費が高すぎるので離島割をもっと頑張してほしい。
- 島の子育ては安心感があると思うが、世論的に、「貧しくたって、こどもができれば生む！」と思う人と、「ほしいけどできない」人はどれくらいいるのだろうか。いろんな経験を発信していくことで、これからの人たちの参考になると思います。
- 島内出産の環境を整えることが大切だと強く感じます。また、子育て世代用の住居づくり魅力です。Uターンも増えると思う。アンケート作成ありがとうございます。考えることができて感謝です。
- 平日はこども園を利用しているが、土日祝は家で遊ぶという選択肢しかないのでストレスに感じることもある。土日でも遊び場を開放したり、室内での遊具を増やしてもらえると親子でふれあえる機会ができて助かる。また、キャラクターもののショーなどが年に1回でもあると子供たちが喜ぶと思う。
- こども園の利用日数について、週6で通う子供たちが多く感じます。特に0〜2歳児クラスではできればお父さんお母さんどちらかが休みの日には一緒にお家で過ごしてもよいかなと思います。(役場とこども園が連携して土曜日預かる子を把握したり)どうしても忙しい、仕事がある場合はしょうがないですが、子供たちも週末に向かって疲れが出てきます。でも週6で利用する子供が多いというのはやっぱりお父さんお母さんが忙しいのかなと。仕事時間や休める日が増えたらいいなと。あと病院ですが、小児科はパナウルがあるけど、セカンドオピニオンなどを考えると与論病院も利用したいですが、平日の午前中だけで診察が終わってしまうので、なかなか利用しづらいです。発熱外来になると電話だけで診察が終わってしまうのも親としては心配です。実際、地元に戻ったタイミングで一応小児科に行ったら子供を見てもらったら中耳炎になっていたり、気管支炎になっていたりということがありました。あとは子供たちが遊ぶ場所ですが、夏に遊ぶことを考えると、室内でできればクーラーのついている広い遊び場があったらなと思います。私は平日に休みの日もあるのでこども園に通わせている子供を平日休ませることも多くあります。でも遊びに行く場所がないです。ハレルヤは日曜日開放してくれてますが平日は利用できません。公民館等、少しのおもちゃ(ボールなど)を用意し、クーラーをつけて時間を決めて遊び場として利用できたらなと思います。そしたら親子の遊び場も増え、お家でこどもとゆっくり過ごそうと思える人も増えないかなと思いました。たくさんいろんな意見があると思いますが、子供たちのことを一番考え、少しでも改善できることはできたらとおもいます。

- 町の子育て支援はある程度充実しているものと思うが子育て世代包括支援センターの存在などはあまり知らなかったのでもっと認知させてはよいのではと思う。経済的な支援も大切ではあるが、(小学生以上) 子供一人ひとりについての具体的な相談やアドバイスがもらえる場所があると心強い。また、若い世代が安心して子育てするには、子育てに必要なお金を得られる仕事が必要である。夫婦で協力して子育てするためには夫婦ともに時間的、精神的余裕が必要であると思うので、6歳未満の子がいる家庭に限らず家庭訪問や家事支援などをしてもらえる制度や民間業務があると助かるように思う。
- 親の育った環境や収入などそれぞれ異なると思うが、子供が皆平等に恩恵を受けられるようにしてほしい。教育の充実は必要かと。また、給食費を無料にしてほしい。
- ・与論の長い夏には遊べる場所が少ない。公園の遊具はやけどするくらい熱い雨の日には行けない。室内遊び場が欲しいです。児童館のような施設があればうれしい。ボールプールやままごと滑り台など色んな年(0~6)のこどもが遊べると親は助かると思う。・保育の充実には保育士の充実が必要。保育者希望がなかなか来ないのは魅力を感じないから。人手不足が解消されないのであれば、保育時間を短くするか土曜日は役場同様休みにするべきだと思う。土曜保育を希望する人だけ事前に申し込むなど。保育士全員が倒れたら子供を預けられなくなってしまう。・子供が病気の時は祖父母に預けず、親が見たい。休みやすい職場の充実を。子供の今は今しかない。今に親が寄り添いたい。
- 子供が小さいときはよく病院代がかかったり、仕事を休まざるを得ないときにすぐ周りの方に気を使った。少しでも母親が特に気を遣わずに休みをもらえたり時間に自由がきいたらなと思うことが多かった。(まあ、贅沢ですが) 子供がある程度大きくなると部活の遠征等いろいろお金がかかりはじめ給付金等もあったり、とってもありがたいですが、非課税世帯限定やらで、もらえなかったり(ぎりぎりのラインの世帯は微妙)。子供が多い人はけっこうきついです。仕方がない。こども増やそう増やそうとしても「ぜいたくな生活 = 子供少ない」と結局なので難しいですね。子供に対する(特に多子世帯に) 手当等、充実した将来になってくれたらありがたいです。与論の子供たち(子育て世代) に興味を持って下さりありがとうございます。安心して子供を産み育てられる与論になりますように。
- 生活保護や低所得の子育て世代に、リサイクルの服やおもちゃ、食料等を支給できたら良い/こどもが体調不良になったら、年休有休関係なく休みがもらえるようにしてほしい/お母さんは、あまり働かなくて良い社会になればいいなと思う
- ・公園が少ない・各種助成金に上限をつけないほうが良いと思う →本当に子供の数を増やしたいのであれば、離島のデメリットは絶対に不安を持たせないほうが良い。・役場が手続きしたらもらえるお金をしっかりと説明してほしい(聞かないと対応してくれない)・親子のふれあいの場をもっと増やしてほしい・子育て支援等ただ遊べる場所の提供ではなく、お金を払うなら家でできない体験をたくさんしてほしい。(絵具・クレヨン・砂遊び・粘土・制作・ふれあい遊び等)・産婦人科を充実させると、子供の数も増えると思う。(先生が来れないことがあるとリスク妊婦たちは心配になると思う)
- こどもの習いごと応援事業(格差解消のため、生活困窮世帯向けの支援をしたり、月謝の支払いで使える電子クーポンを設定してほしい)/部活動の遠征費助成の増額/大学進路に向けた助成金(本土であればかからないであろう出費は減らしてほしい)/各種手続きのオンライン化/アンケート結果に対してどのようなアクションを起こしたのかFBほしい
- 利用する私たち親たちの充実や支援も考えていただけるのはありがたいが、子供たちを見てくれている保育士さんたちの働き方を見直してあげてほしい。休憩時間の確保や残業の多さ、有給の取りやすさなど細かいことはわからないが、保育士さんが長く働きたいと思える環境を整えてほしい。保育士さんの心の余裕があれば子供への支援につながり、私たち親も安心して子供を預けることができると思います。与論こども園を利用していますが、離職される方が多いのは残念でならない。

- 小～高とこどもが長きにわたり、お世話になっています。校舎等の老朽化が年々増えており、少子化も進んでいる現状、そして防災面を考えると小・中学校、可能であれば学校というものを町の一番安全とされる場所に1か所にまとめて建設してもいいのではないかと思います。先生の教育支援や交流も時短になりますし、学校で管理する設備や備品も共有にすれば、無駄なく親への負担も少なくなります。私自身の母校には給食センターも併設されていました。今、給食センターの件が再検討されているので、学校併設ならば、地盤調査も一度で済むのではないかと思います。いろいろ教育や子育て支援でたくさんの知恵や意見が出て都度支援があるのはありがたいのだが、「お金で補助すること」「サービスを周知すること」「リモートなどwebを活用してサポートを受けれる」など、費用を削減できることも都度変わっていくと思うので、見直しつつ、町民から情報を探していくというより、行政からどんどん情報を出していくほうへ変わってほしい。（サービスを知っている人しか、サポートを受けられないという自身の経験もあるので）
- 住宅を増やしたり、移住者向けに就職先を紹介したりして、積極的に移住者を受け入れる（＝人口の増加を図る）ことで、出生数の増加にもつながるのではないかと。
- やはり昭和の時代のころのように、両親のどちらか一人が家で待てるような生活が子どもたちにとっては良いのではないかと思います。共働きがよくない気がします。社会がそうなってしまった。しかし両親ともに働かなくてはやっていけない生活。収入面をもっとカバーしてほしいものです。小学校教育はとても感謝しています。赴任してきてくださった先生方、与論の子供たちのために全力で向き合ってください、ありがたい思い出いっぱいです。
- 保護者に対してのサービスはありがたいのですが、子供の育ちをもっと充実させたいなと感じます。仕事に追われる一方で子育てを満足にできない罪悪感や自己嫌悪でいっぱいになります。子供の病気の時くらい治るまで付き合いたいのですが、人手不足・資格の必要な職場では休めても一日二日です。専業主婦になりたいと(子供が小さいうちは)と思いますが、夫の収入だけでは家族を養うのは厳しい現実です。せめて三歳までは時短で働いて支援金などの補助があればよいのと思っています。
- ・子育て支援を推進する雇用主や事業者への支援はとっても重要。・夏の暑さの割に、日除けとなる施設がなさすぎて困っている。例えば夏はプール・B&Gの利用証を無料で配布などしてもよいのでは？・医療費の無償化はとてもありがたいが、もっと早く実施していればよかったと思う。今後は窓口での支払いも不要にしてほしい。利用した分だけあとから返金ではなく、そもそも支払い0円。年間30人をもっと増やしていけるようぜひお願いします。
- 保育士不足が町立こども園が2園になっても解消されない。そのため現場では、異年齢の子どもたちを同じ部屋で見たり、以前は惻隱の子どもが1つ上の学年で1年過ごしたりしなければならなくなっていた。特に未満児は月齢によって発達の差が大きい。安全面的にも、教育面的にもよくない。十分な保育ができず、心のゆとりが持てない（保育士としては）→子供に還元できない。新任の先生などへ、丁寧に指導できずにつらい思いをさせてしまう（人材が育たない、やめる理由になってしまう）。「子供は宝」と聞きますが、子供たちに近くで長く関わっている現場の大人に対しての手当てや配慮の不足を感じます。園の環境など、いろいろな面でもっと良い方向へむかえるよう、一園にする際は、現場の声をしっかり聴いてから動いていただけたらと思います。子どもたちへもっと、質の高い保育（ただ預かるだけでなく）や、様々な経験をさせてあげたいと願っています。幼少期の経験がその後の成長に大きく影響してくると思っています。意見を聞いてもらってありがたいです。よろしくお願いいたします。
- 小1の壁にぶち当たりました。（ハレルヤの学童に行っていました。）子供が学童になじめず、行きたがりませんでした。子供の日々の苦痛・精神状態を考えると、無理に通わせることができませんでした。そのため働いていた職場をやめパートに転職せざるをえませんでした。収入もだいぶ減りました。親も安心して働くことができ、子供も楽しく学童に通うことができるように、各学校に学童があれば帰りも一人で家に帰宅できるので理想だなと思います。現在ある学童に行かず、子供一人で親の帰宅まで留守番している家庭は多くあります。子供が安全に過ごすためにも学童にも力を入れてほしいと考えます。こども園のありがたさを痛感。夏休みなどの長期休みにはとても悩まされます。
- 子どもが生まれた頃、夫婦ともに自営業なため、多忙で体力も限界を感じこども園の入所を希望しましたが、自営業なら家でこどもが見られる（そのように言われた）ため、利用料も高く、入園をあきらめました。3歳まで自宅で見ながら仕事をこなしました。自営業なので休むことなく働き（休む間の支援がないため）過ごしましたが、3歳を過ぎ子供を入園させると専業主婦の方が1歳頃から預けていたり、勤めの方は育児もあり生活の心配もなく休みもでき、子供を早くから預けることができるのだと知りました。島の子育てへの取り組み（国もそうかもしれませんが）は勤めている人、専業主婦の方への支援づくりだと思います。一生懸命働いていたり、過ごしている人たちを助けてくれる仕組みや支援を考え、行動してほしいです。

- 与論は島外出身者の私たちにも気軽に声かけ、名前をおぼえていただき、温かい島だと感じています。しかし、財源不足のためか、子育ての施設が少ないと思います。教育についても、保育所系列しかなく、幼稚園での教育（小学校に近い形での授業）がなく、のびのびとすると反面、メリハリがないように感じたのが正直なところ。町立の子供園に関しては、先生方はとても良い方たちばかりですが、ここも財源不足のためか、園庭も狭く楽器も遊具も少ないと思います。またシャワーにおいても（よく汗をかくので毎日シャワーがありますが）裸にホースでシャワーをしており、目隠しする場所やシャワー所が必要だと思います。子供といえども、性被害が多い最近なので、人前で裸で着替えが当たり前はよくないと感じました。目的を明確にしたカリキュラムを実施していただくと助かります。また、役場の方も子育ての制度について理解されて（把握）されている方が少ないように感じます。町で歩き、知り合いの方が気さくに声掛けてくださる島は本当に貴重だと思いますが、よい面は残していき、鹿児島県の方にも財源協力してもらえると本当に子育てのしやすい島になると思います。
- こども園も小学校も1つに統一すれば、先生が足りない問題も解決できるのでは。運動会とかに停める駐車場がないのが問題。休日に遊ぶ場所が赤崎公園しかなくてつまらない。高校まで安心して通わせられる経済的補助があるといいなと思う。
- 移住者が島内で1番立場が弱く、行政サービスが受けにくいイメージがある。特定の事業者に業務委託すると利用する人が偏る。
- 与論町で子育て支援を謳うなら、お酒との関わり方・風習を見直さなければ、このアンケートにあった各種事業をしても効果半減だと思います。与論の酒文化は健康を害するし、何より母親の育児不安・負担を強いている最大の原因のひとつと考えます。役場職員の飲み会を見てて思います。
- 出産時に島外に行く場合、上の子どもをサポートしてもらえる仕組みがあると助かる。こども園の延長や食事の支援など
- 医療費の無料化と、公園が2箇所、休みの日は皆2箇所に集まる。コースタルなど別の場所にもっと作って欲しい。
- 子育て支援センターに先生が午前だけでもいてくださるのが嬉しいし、遊びに行ってお話できること相談できるのがあるがたい。与論校区に住んでいるが、上の子の送迎が8時頃でその後またセンターが開く10時過ぎに行ったらまた15時過ぎに上の子の迎えとなると子どもの送迎だけで3往復が大変。与論校区にも遊び場ができるか、園に送迎バスがあれば助かるなと思います。
- 航空機利用・住居費・医療費・保育料などの金銭的な援助や子どもの遊びや交流のための施設が充実すれば、誰でも住みたくなると思います。それから、学校が古くて不安なので、改築したり、予算がないなら統合して送迎システムを整えるなどできたらいいなと思います。与論の方は穏やかで優しい方も多いので、これらが整ってアピールできれば子育て世帯も住みたくなるとは思います。
- 子育て支援の場やサービスや制度を充実しても、そこに行く事が出来ない、繋がれない、上手くアクセスできない親子が一番困ってるかなと思います。すでにされてると思いますが、アウトリーチの取り組みがもっと充実すると良いなと思います。子育て中の親、当事者の声を拾って下さる、この調査は大変意味のある事だと思います。合わせて、どこかでこどもの声も拾っていただけたらなと希望します。
- 耳鼻科にかかる事が出来なかったです。まだ小さい子はよく体調を崩す事があり、医療費負担があり助かってはいませんが、18歳までは医療費の無償化や学費もしくは給食費の無償化があればいいと思います。最近は猛暑が続く、公園などで遊ぶにも熱中症にならない様に気を付けていますが、遊具が熱されていて危険を感じます。室内で幼児などでも遊べるプレイパークなどがあれば嬉しいです。
- 私はIターン世帯ですが、与論島の子育てや教育環境は島民全体が子どもファーストを実践していて、すばらしいと思います。どんな場所であっても、子育てに不安はつきものです。課題に向き合いつつも、今ある魅力を見える化して子育て世帯に発信し、IターンやUターンの促進がなされることを期待します。与論島の子育て環境の充実を体現しているのは、まさに子どもたち自身ですが、その子どもたちのすばらしさを発信できる機会がもっと増えれば、「こんなすばらしい子どもたちを育てた与論島ってどんなところ？」と興味をもっていただき、「与論島で子育てしたい」となれば最高ですね！
- 若者に選ばれる島。かえってくる島。

- 働く施設の受け入れ体制の充実。(人手の足りない施設を徹底し、働きやすくするには？改善し受け入れしやすいようにする等)
- 児童館など子供だけでも遊べる施設の建設
- 全然関係ないのですが、年齢を選択する欄に9歳の枠がないです。子供は9歳です。
- 町民の誰もが自由に出入りでき、何でも相談できる窓口が必要かと。そこから支援先を紹介していく。子育てだけに注目せず福祉全般で捉え、お困り事の相談窓口があれば生活しやすくなるのでは？
- いつも与論のためにありがとうございます！私はゆんぬんちゅなのでなんとながっているのですが、（与論町の財政はきっと厳しいと思うと申し訳なくなりますが）子ども文化センターのような場所が必要ではと以前から思っていたことです。雨の日どこにも行けず家の中で誰かと遊ぶや、ゲームを持っている子はずっとゲームしてお菓子ばかり食べているというのをどうにかできないかと思っていました。使われていない施設を有効活用し、与論じゅうから不要になったおもちゃを無料で集めて、人員だけは、役場の、財政でお世話になるかボランティアを募れば募ってもいい気がします。親御さんが年に1回はボランティア入るというのもいい試みとも思います。茶花地区、与論地区、那間地区のいい拠点の公民館を使うのもいい気がします。財政をなるべく使わず、高齢の方の手を借りたり、なんとかできないかなあと思ったりしています。その時は、保護者の私達も頑張りますので、ぜひどうぞよろしくお願い致します！ありがとうございます！
- 常駐で長時間受診できる小児科、耳鼻科、産婦人科があるととても安心。
- 親戚家族を頼れない移住者目線のサービスに注力してほしい。
- 中学生、高校生など、どんどんお金がかかって来る世代への支援も充実してほしい。
- 子育てにというより、このアンケートにもう少し自由解答欄を多く設けて欲しかった。微妙な質問が多く答えづらかったです、すみません。。
- 現在は住居にも家の周辺環境もよく子供は元気に育っています。小児科の林先生がいてくれることで、気管支炎になりやすい子供も島外に飛ばされずに済み、とても助かっています。この環境が継続されるように対応いただければと思います。
- 第一子が小さい頃、夫の理解や協力もなく、姑の協力もなく、頼れる友人もいない中でのワンオペでの育児が本当に大変でした。藁にも縋る思いで電話したら保健センターでは個人の託児1時間700円を紹介されましたが、当時はすごく貧しく、1時間700円を払って預けることはできませんでした。前時代的な考えの夫の理解もないので外で保育園に預けて働く事もできず、本当に本当に苦しい子育てでした。十数年前と比べて今はどうでしょう？同封の支援メニューを見るとたくさん書いてあるように見えますが、ホームスタートだけのようです。（当時ホームスタートがあったらもう少し気持ちがラクになったかな～と思います！）島は奥さんがたびんちゅの場合も多いので、島の男性や舅姑世代の育児感へのアップデート（母親教室のようなもの）や、ホームサポートのようなサービスの充実があるといいなと思います！